

昭和14年

實業專門校蹴球 第一日

第一回全國實業專門學校蹴球大會
第一日は一日午後一時から本郷中
球場で二回戦二試合を舉行

| | | | | | |
|-----|---|----|---|---|---|
| 名古屋 | 9 | 36 | 0 | 0 | 0 |
| 高商 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 高和 | 6 | 33 | 0 | 1 | 1 |
| 高昭 | 3 | 3 | 0 | 1 | 1 |

全國高校蹴球 第一日

【京都電話】 東京、京都兩帝大主
備第十六回全國高校蹴球大會第一
日は一日午前八時から両帝グラウ
ンドで舉行した、成績次の如し

| | | | | | |
|----|---|-----|---|----|---|
| 二高 | 4 | 22 | 2 | 0 | 2 |
| 成隊 | 2 | 110 | 0 | 10 | 1 |
| 一高 | 1 | 10 | 0 | 0 | 0 |

S 14 / 1 / 2

實專蹴球 第三日

第一回全國實業專門學校蹴球大會
第三日は三日午前十時より本郷
中學に於て二回戦を舉行

| | | | | | |
|-----|----|----|---|---|---|
| 名古屋 | 3 | 21 | 1 | 1 | 2 |
| 高成 | 10 | 82 | 0 | 0 | 0 |
| 高門 | 7 | 34 | 0 | 1 | 1 |
| 高商 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 早大 | 6 | 42 | 0 | 0 | 0 |

第二日成績

| | | | | | |
|----|---|------|---|---|---|
| 早大 | 3 | 21 | 1 | 1 | 2 |
| 高千 | 1 | 0010 | 0 | 0 | 0 |
| 高商 | 1 | 0010 | 0 | 0 | 0 |

全國高校蹴球 第三日

【京都電話】 東京、京都兩帝大主
備第十六回全國高校蹴球大會第三
日(三日)の成績(於両帝公園)

S 14 / 1 / 4

全國實專蹴球 準決勝成績

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|
| 六高 | 3 | 30 | 0 | 0 | 0 |
| 廣島 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 松山 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 八高 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |

S 14 - 1 - 2

第二回戦

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|
| 廣島 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 松江 | 1 | 01 | 0 | 0 | 0 |
| 六高 | 7 | 61 | 1 | 0 | 0 |
| 一高 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |

第一日の成績

| | | | | | |
|----|---|------|---|---|---|
| 廣島 | 4 | 31 | 1 | 1 | 2 |
| 早高 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 成城 | 1 | 0001 | 0 | 0 | 0 |
| 松山 | 0 | 0000 | 0 | 0 | 0 |
| 松本 | 1 | 0010 | 0 | 0 | 0 |
| 四高 | 5 | 23 | 0 | 0 | 0 |

S 14 - 1 - 4

全國實專蹴球 準決勝成績

第一回全國實業專門學校蹴球大會
準決勝は四日午後一時より本郷中
球場で舉行

| | | | | | |
|----|---|------|---|---|---|
| 早大 | 3 | 21 | 1 | 1 | 2 |
| 高千 | 1 | 0010 | 0 | 0 | 0 |
| 高商 | 1 | 0010 | 0 | 0 | 0 |

S 14 / 1 / 5

【京都電話】 東京、京都兩帝大主
備第十六回全國高校蹴球大會第四
日は四日午前十時から京都両帝公
場で行つた

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|
| 廣島 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 松江 | 1 | 00 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|
| 六高 | 1 | 01 | 0 | 0 | 0 |
| 松山 | 4 | 13 | 1 | 0 | 0 |
| 四高 | 3 | 03 | 1 | 1 | 2 |

S 14 / 1 / 5

六分間に五點 普成專優勝

全國專門校蹴球大會

第一回全國專門學校蹴球大會最終
日の早大對普成專の決勝戦は
五日午後二時から東大球場で塚部
(主)西川、本堂(副)三君審
判普成の先制で舉行、折柄の強風
のため兩軍制球に苦心し前半普成
一點のリードで試合は進められた
が後半3-0と開いてから普成は
最後の六分に五點の大得意點を擧
げ8-0で大勝利初の榮冠を獲得
した

が従前に足技に物を言はせよう
とするところは拙い、R且宋は
ひとり四點を擧げてゐるのは大
殊勲でその優れたキックと翻の
よい動きは勝因を一手に引き受
けてゐた感がある

普成專 8-0 早大專

◆早大專門は前半辛くも應戦し
たが後半風下となつてからは全
く自陣に退縮し只一度タイ
ムアップ間近になつて川島がド
リブルシュートしたに過ぎずG
K小川の好調がなかつたならば
更にスコアは開いたであらう
◆普成は優れた足技と好連絡に
攻め立て後半17分宋のフリーキ
ックで第三點を擧げて大勢を決
し39分左側の三角パスで進み金
分得點してから早大專の守備線
を全く潰して記録的得點を擧げ
た、誘引の策をとつてゐたなら
更にその持味を示したであらう

| | | | |
|----|----|----|----|
| 申村 | 15 | 6 | 4 |
| GK | FB | HB | FW |
| 川上 | 谷野 | 井中 | 保島 |
| 小村 | 中嶋 | 田八 | 小川 |

全國高校蹴球 準決勝成績

【京都電話】 東京、京都兩帝大主
備第十六回全國高校蹴球大會準決
勝は五日午前十時より京都両帝公
園球場で舉行

| | | | |
|----|-----|------|----|
| 六高 | 10 | 00 | 00 |
| 四高 | 002 | 0020 | 00 |

S 14 / 1 / 6

新春蹴球の豪華戦

朝日招待二試合豫想

【大坂通信】新春を飾る本社主催第三回朝日招待蹴球大会は、明日八日正午より甲子園南運動場において朝日招待の試合に引續き午後四時四十分から東都の優勝校慶大対關西の第二位校京大戦によつて火蓋を切り更に二時四十分からは全學生界の勳章勳章大對關東第二位校東大戦が行はれる

慶大對京大

大の布く攻撃は積極的
一三官の鋭く縦へ貫く

主観から積極——小畑から逆へのクロ
誤或は積極——小畑から逆へのクロ
ス。パスなど多角的な球道をとれば得点決定力を豊富に持たせてゐるから守備力を誇る京大、ハックスも防戦に堪ないこととならう

だが京大H B線の小倉、唐原の両翼は確實な動きを有ち、又C H安房を中心とする大澤、眞鍋の3 Bは安室の頑張りに加ふるに気合もよく合ひその上意味ではあるが判断のよさと捕球の確實さをもつ岡本がG Kに控へてゐるからさう易々と慶大の思ふ通りに進めることにはあまい

京

大の攻撃は積極的
一三官の鋭く縦へ貫く

大の攻撃は積極的
一三官の鋭く縦へ貫く

關東大對東大

快

足と強力なキックを十分活かして全學生界の制覇を誇る關東大はこの一戦において中村重(和久)岡野、田中、田島、梅野と優秀な攻撃線をして一氣に東大守備陣を粉砕せんと氣負つて居るが東大のH B線

中

村島(關東大)岩動(東大)のG Kの力備は双方角と見て、結局この試合の勝敗は激戦の地の利を持つ關東大に軍配を擡げたいところであるが東大としては玉座的に試合を進め得る強味を持つてゐるから勝敗の懸念は容易に許されない(三浦二郎)

六高優勝す

高校蹴球決勝

【京都通信】全國高校蹴球大会決勝四高對六高戦は六日午後二時より京都國崎公園で舉行六高優勝す
大高 8 4 1 0 0 四高 4 1 0 0 0 四高

| | |
|-----|--------|
| 關東大 | 4 7 23 |
| 關西大 | 17 7 9 |
| 京大 | 17 7 9 |
| 東大 | 17 7 9 |

六日の運動
全普及 6 4 1 0 0 0 AY 0 0
S 14 1 7

⑬ 戦線のマボス



北支に西邑昌

.....手選部球蹴大東.....

の自分を回復して見るに、唯、
苦悶に耐へて来た、そこに一
瞬、有形無形の霧が精神の力
を奪見するのであつて、この霧

生命を水らへて、この山嶽を
する山西省南部〇〇城外に於
て、第二回日の正午を迎へるに
當り、一星霜自然に起る霧を

神の力こそ、自分が過去十五ヶ
年間の運動生活によりて、霧を
られたる運動精神の影を受け
るもの多々あるを感ずる

現下世上はスポーツを職業視
し、或は銀行破若くは銀行化
して外面のみ飾れ、其内面
に存する有尊厳なる運動精神

必勝の信念

一脈相連する精神

を看過してゐる傾向がある、
技術は運動精神に立脚せられ
ならぬものであり、退縮す
べきものであつて、其所で始
めて観る者として悪力を感ぜ
しめ、而して競技者と同じ環
地に在らしめるのである、乃
木將軍の言に「兵ノ體格彼

レ唯唯ヲ以テ戰フ」とある
と相違した場合は精神があ
ればこそ日本の軍隊は強いので
ある、戦場には忠君愛國の
四音が中心となつて、凡てを湧
出するのであるが運動に於ては
「必勝の信念」これである

ニ及スズ、秘密ノ精新彼ニ及
ズ、唯一ツ彼後ニ若カザル
モノアリ、彼十中八九分ヲ據
フルモ残り一二分ニ至リテ城
ヲ能ハズ退却ス。我兵ハ則
チ然ラズ、八九分ハ敵方敵ヲ
破テ奪取ラザレバ止マズ、
勇猛過激、天皇アルヲ知リ一
身ヲ知ラズ、命ヲ忘レ肉ヲ忘



西邑昌一

過ぐる日自分はこんな事を體
験した。詳細は軍機上省略す
るが山西省中西部に於ての戰
闘、果しなき山嶽の波だ。一
時谷間に下り水無き河を行進
するや稜線は測らずも敵の第
一防壁陣地であつた、然し此

敵と飛來する中で作業を續
けてゐる、一名たりとも損じ
てはならぬ、自分は〇〇兵で
ある、職業上唯無我夢中にこ
の中に飛び出し、地物を利用
して陰から陰へと日頃の健闘
を以て戦友のもとに至り應急
崗置の上無事に敵陣を突破し
て我々〇〇隊の任務を遂行し
た事があつた

敵を通過しなければ我等の任
務を遂行する事が出来ない
愈々敵の小銃、機関銃が無遠
味な音を立て始めた、追撃隊
が心臓を絞る様な鳴りを立て
て飛來する、この時傍らの
戦友が積載物を落し散位して

これは日頃の運動により練磨せ
られたる運動精神に依存する
所大なるものあると信ずる、こ
れは戰なる小さい一事實である
が、戦争と運動精神との間には
相通する精神あることを強調す
るもので戦争のみではなく、社
會といふ一つの戦場に於ても運
動精神と關聯する所大なるもの
あるを信ずる

南京で國際蹴球大會

【南京特電十六日發】新中國蹴球
協會では最初の行事として來月十
九日の舊正月前後、第一回國際蹴
球大會を開くこととなり在支の日
獨伊洪佛諸國のチームに呼びかけ
てゐるが既に在日海イタリーチー
ムからは特許を受けてをり維新政
府治下の最初のスポーツ大會は歴
大に開かれる筈である

俱樂部蹴球第一日

開業俱樂部蹴球リーグ第一日は十
五日東大に於て成城對アラン、K
FSE對アストラ、横濱YCA
Cに於てYCAC對YKF、青山
師範に於て全ブラックス對豊島俱
の四試合をそれぞれ、舉行優勝候補
のYCAOはYKFの僅め惨敗を

| | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|
| 豊島 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| YKF | 6 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| SK | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| EF | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 成城 | 1 | 3 | 8 | 1 | 0 | 1 |
| アラン | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| アストラ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| YCAC | 5 | 2 | 3 | 0 | 1 | 1 |
| 豊島 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 全ブラ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

慶大蹴球敗る

横濱外人
對慶大の蹴球戦は十五日午後三時
半から横濱根岸外人球場で行はれ
たが慶大敗る

東京蹴球團敗る

東京
蹴球團對埼玉蹴球團の對抗蹴球戦
は十五日午後二時から青山師範場
で山田君審判の下に舉行7
で埼玉蹴球團が快勝した

埼玉蹴球團 7 4 3 0 1 1 東京蹴球團

喜んで躍進日本の新年を壽ぎ
申上げます、思へば運命を出て
入管し、本年を以て早くも三回

戦線 の線戦 カンマッポス



北支に渡る芳夫
.....ヤジ-ネマ部球蹴大早.....

目の正月を軍隊で迎へます、而
も今年には日の丸を纏ふ北支戦線
で初日の出を拜めたのも日本男

子の本望です

開けは内地では、愛國行進
曲、日の丸行進曲の唱歌はグ
ラウンドに飜して、國民精神
總動員體育向上週間が開催せ
られた由、亦各種競技も一段



尉少夫芳邊

と活氣を帯び發利たる若人の
姿を新聞で見るとつては、戦線
に在る吾々にとつては、全國
民を擧げて此の聖戰の長期作
戰に順應して若人が頑健なる
肉體と神聖なる運動精神の鍛
練に勤むことは心強く頼もし

く感じてゐます
頑健なる肉體と運動精神

此の二つを養分ながら學校時代
鍛へたのも自分が太過無く御奉
公出来得た原因と信じてゐます
頑健な肉體——生來余り丈夫で
無かつた自分もスポーツ(蹴球)

泥濘に母校想ふ 鍛へた肉體と精神

而もウインタースポーツだ
けに北支の寒氣も更に感ぜず
音を思ひ出し愈々切つてをり
ます、又よく泥濘の中を進む
時、あの母校のひどいグラウ
ンドで泥だらけに苦しかつた
練習の音を思ひ出し今頃は同
じ様に後輩がやつてゐると想

勝を完する精神と緊密なる闘
争があると思ひます
吾々の當時の母校は他チー
ムに較べて長い間霸權から遠
ざかつてゐたが、猛訓練と一
致團結し所謂「力の蹴球」に
依つて制覇せんと「精神力」
「精神力」と絶えず精神力を鍛
練し幸ひ在學中三ヶ年連續優
勝出来ました、未だに苦しい
事、又困難な場合に「エーイ
！精神力だ！」と頑張つて
ゐます
時々見る新聞で母校が今年も
負けたことを知り思はず「精神
力を磨いたか、戦地にゐる積り
でやれ」と新聞紙に憤慨して他
の者に笑はれたが戦線に對して
戦には全力を盡して敗れたとあ
るので、克くやつてくれたと慰
めてゐます

東西兩代表決る(對抗蹴球)

第八回東西對抗蹴球戦は来る二月
五日午後二時から神宮競技場で舉
行されるが兩軍メンバーは廿六日
左の通り發表された

- 關東 △監督手島志朗△主將川本(早大)△副主將吉田(慶大)△マナー津田(慶大)
- 關西 △監督大谷二△主將木下(神商大)△マナー津田(慶大)
- 關東 △監督大谷二△主將木下(神商大)△マナー津田(慶大)
- 關西 △監督大谷二△主將木下(神商大)△マナー津田(慶大)



S 14-1-25

第九回東西OB對抗蹴球戦は
来る二月十一日南甲子園で舉行豫
定の所都合により十二日午後二時
から南甲子園で行はれる

關東俱樂部蹴球

關東俱樂部蹴球リーグ第三日は二
十二日午前十一時から東大、日吉
台、聖ジョセフの三球場で四試合
を舉行、豊島サッカー、YKF、
東京蹴球團、オールドブラックスが
それ々々快勝した

| | | | | |
|-------|----|---|---|-------|
| 豊島 | 13 | 7 | 1 | アラン |
| YKF | 4 | 2 | 0 | 1 青陵會 |
| 東京蹴 | 4 | 0 | 0 | 0 SK |
| 球團 | 4 | 0 | 0 | 0 EF |
| ラックス | 4 | 3 | 1 | 1 友會 |
| オールド | 4 | 1 | 0 | 0 友會 |
| ブラックス | 4 | 1 | 0 | 0 友會 |

成城對MTRはMTRの重權によ
り成城勝つ

二十五日の運動

蹴球 選抜軍 8 6 0 1 1 明大
S 14-1-26

二十一日の運動

蹴球 選抜軍 3 0 明大
S 14-1-23

S 14-1-27

顔觸は關東優る

關學中心に連絡を頼む關西軍

五日の東西選抜對抗蹴球豫想

東西選抜對抗蹴球試合は五日神宮蹴球場で舉行される、昨年本甲子園で行はれた三階級蹴球試合における東西の差は關東は3-10に對して關西は3-1となつておるとも、關西は關東の無敵蹴比して關西は一徹點を擧げてはゐるが、その時の試合情況から推察してこのスコアをもつて、關西の軍心をつける點にはい

かない、寧ろ兩軍の顔觸から見て、内蔵力の點において關東の方が幾分の強味を認めねばならないやうである。さて關東側の攻撃面は左側に加藤、川本右側に播磨、二宮のコンビを配して、更に岡部を起用するが、成程は若功川本を起用し、朝日招待大會の關東大戦に活躍した直木を、更に起用するか、厲心してゐるやうであるが、加藤、二宮のタウチブレは鋭い

突進力をもつてゐる上に川本、播磨の球捌きは相當うまいから、關西はベックスとしては油断が出来ない、關西の日本下は試合経験を富みかつちりと關東の攻撃を阻み得ることであらうが、三田の足部負傷の缺場は頼みで、殊に且B兩軍は随分弱されてゐるだけに、田邊、岩田がどう動くかは、攻守兩面に大きく影響すべく、その出来上合の如何によつて、田邊、岩井の守備陣もあつて來よう。

關西の攻撃面はO田中が病缺を豫想されてゐるので、中央突進力は幾分減殺されるとは否めないが、O右近は相変わらず元氣でO小町にも期待が持てるから、田島、岡町の喧インナーが無駄な働きをしなかつたらと、關東のGK津田、R首田、大山、且B關、菊池、中島(高島)らの行くベックスは守備に堅實さを持つてゐるとはいへ、その攻撃はあながち無理とは思はれない。

アブチームの關東より不安はない、關東がもし個々の技術を十分に發揮するならば、關東側の勝味があるが、今までの成績から見ると精神力が試合の上で大きく反映してゐるから、この試合も關西軍の強弱如何がものをいふことを見逃し得ない。(三階二部)

關東俱樂部蹴球第五日

關東クラブ蹴球リーグ第五日青酸對KFSEの試合は廿八日午後二時半から日吉に於て行はれ、2對2で引分けとなる。

海 敵 2-2-0-2 KFS

【審判官本、線審高橋、栗垣三吾青酸先陣で開始】

- 原 村山野田川田合岐田
- 谷原
- 小 木暮藤相長尾米志徳
- GK FB HB FW
- 川村邊田中山田磯崎川邊
- 角木渡和田西濱加藤谷接
- (KFSE)

廿八日の運動

全關西 1-0 神戸外人

部では廿八日午後六時半から早稲田高田教會支店で卒業生特別會兼業生交際會兼納會を開催、十四年度主席並に役員を左の如く決定した。

△主席 不破昭△マネジャー 西松文男△委員 西村、莊田、渡邊、宮川、高橋



S 14.1.29

關東俱樂部蹴球第五日

關東俱樂部蹴球リーグ第五日は二十九日東大、青學兩球場で舉行

青學會 2-1-1-1 アス トラ

菊 玉 4-3-1-1 MTR

KFS 1-10-0-0 YKT

青學會 7-3-4-0 國學學友會

二十九日の運動

關東 6-2-0-0 關東 O

青學 8-4-4-3 横 專

早大 5-3-3-0 横 外人 第一軍

S 14.1.30

全蹴球試合を芬蘭で

昨年十月ロンドンで行はれた國際蹴球協會總會席上でヘルシンキの蹴市長エリク・フォン・フレンケル氏の申出に依り一九四〇年の蹴球競技は全部フィンランドで舉行する事に決定された。

一、二回戦はタンペレ、ツルタヴィイプリ、ヴァアサ等の芝生蹴球場を持つ大都市で行はれる事になり、試合は勿論ヘルシンキで舉行され準決勝と決勝はオリンピックスタジアムを使用する豫定である。



掲示板

◇来る五日(日)神宮球場で行はれる東西選抜對抗蹴球戦の前賣券は三日からブレikai、三者堂、美津濃で發賣、指席一圓、普通席五十錢である。

スポーツ界今年の課題

蹴球

審判員の養成急務

試合軽視の弊も矯正

レフエリー難

習者にも千慮の一失でレフエリーも細心の注意を拂ひながら通る場合なしとしない、然しレフエリーの過失となるものは見落し、見直しの場合が多い、レフエリーはいふ迄もなくラインスマンもルールに精通し一家の見識を持つものでなければならぬのであるが現在では公平なる第三者といふ點にのみ重きを置いて、――審査の任務はボールがアウトオブプレイとなる時及びコーナーキック、ゴールキック或はスローインを爲すべき時を決定しその他主審が本規則に

より試合を進行せしむる事を補佐するに在り――といふ條文に適合したものにはピク・ゲームとして一般の視察を集める場合に限られてゐるの點がある

多くの試合はタッチアウトを制定し得る偶像が右し左して旗を振つてゐる、ラインスマンに人を得て三者一體の審判陣を布けば過大も未然に防ぎ得るのであるがレフエリーの養成訓練はなされてもラインスマンの指導養成は殆ど顧みられてゐない、ラインスマンの指導養成は次期レフエリーの養成であるがこれが不十分である爲に今日

の如くレフエリー難を招くも不思議はあるまい

ラインスマン選定

ラインスマンの選定はレフエリーに任せられてゐるがこのよい思ひ付きも時に人を得ない事がある、ライナーの熱意に副ふべき熱意の乏しいラインスマンを見受ける事がある、これは人の性格の然りしめるものであるがレフエリーもラインスマンも適性といふものが尊重されなければならぬ

現在において名レフエリーとしてまた優れたラインスマンとして圓熟せる達人かを數へ得るが一日

試合の行はれるとき、第三者の審判としてまた承認し得る人として求めるのに事欠く場合が多い、後継者、人材育成は緊急を要するものがある、この際、視察を廣くして一かどのプレイヤーで見識を持つ適性の人を求め訓練育成する事は發展向上の外側的重要事である筈である、これと共にレフエリーを尊重しラインスマンを輕視するの弊を矯める事が必要であると思ふ、この他審判の階級が洗練されたチーム同士の場合に於ては審判者が振り向けられ未熟なチームの試合においてはこれまた未熟な技術の審判が擧り當てられてゐる風に見受けられる

未熟なチームの試合は種占台といつた觀があるのはこのまじい事ではない、寧ろ斯かる試合には指導の意義を含める事が必要であり斯くあつてこそ全面的の向上發展が期し得られる、プレイヤーが信頼を拂ひ一切を委ねてプレイをなし得るところのレフエリーとこれを補佐するラインスマンを振り當て得るやうに審判統制委員會はシーズン・オフにあつて改善のため萬全の対策を講ずる要があると思ふ

関東俱樂部蹴球

第七日の成績
関東俱樂部蹴球リーグ戦第七日は五日東大球場で行はれたがMTR 埼玉蹴球團、青誠會がそれと快勝した、なほ全ブラックス對アラソンの試合はアラソンの棄權し全ブラックスが不戦勝となつた

| | | | | | |
|-------|---|---|---|---|------|
| MTR | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 埼玉蹴球團 | 4 | 1 | 3 | 1 | 0 |
| 青誠會 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| | | | | | 2 |
| | | | | | CYOA |

YKT快勝す

関東俱樂部蹴球リーグ戦第七日の東京蹴球團對YKT(武蔵高校)戦は四日午後三時十分から東大球場で高橋(主)塚部、吉田(線)三君審判の下にYKT先攻で舉行、4-0でYKTの快勝するところとなつた

| | | | | | |
|-----|---|---|---|---|-------|
| YKT | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | | | | 0 |
| | | | | | 東京蹴球團 |

東西OB蹴球 兩軍選手決る

十二月甲子園兩軍選手決る、動場で舉行される東西OB對抗蹴球試合に出場する兩軍選手は次の通り決定

△関東 (GK) 大村(東大) (F) 宮本(東大) (東大) 竹内(三) (東大) (H) 田村(東大) 岩波(常道) 大(高) 山(東大) 岡野(早大) 福(早大) (FW) 粉川(三) (東大) 松丸(大) (監督) 前田(京大)

△関西 (GK) 中村(關學大) (F) 後藤(關學大) 乙(慶大) (H) 赤川(京大) 清水(關學大) 森(明星) 柳田(東大) (FW) 右近(慶大) 大谷(神商大) 市橋(慶大) 川西(關學大) 津田(關大) 大橋(關大) (監督) 前田(京大)

△東北 (GK) 主將竹腰重丸(東大) 手島志郎(東大) 川本泰三(早大) 長岡三郎(京大) 塚部徳三(慶大)



スーユニツポス外海

イド全は戦闘争球蹴盃一マンヤチ 戦球蹴盃一マンヤチ たいは行に大盛で集を手選數多の人十六千六でせかわを氣人のツツピラで場技競シリルべたれら彩に雪白日八月一る去は戦勝決のこピラで一三局結れは行に間のと軍トルフククラブとシーイウ・ド【戦勝決同は眞意トツカ】とし得獲を盃一マンヤチがシーイウ・ド

24.2.5

好連絡の關東勝つ

3-2

接戦の東西對抗蹴球



關西軍東のゴールに迫る (前直る成ルーゴ分四十二半前)

第八回全關東對全關西對抗蹴球戦は曇天微風的好コンディションに恵まれた五日午後二時五十分明治神宮野球場において高山英(主)塚部福島(副)三君監督の下に日本青年館陣に陣した全關東軍の先陣で開始され關東勝ち五勝四敗となった全關東3(2-1)2全關西

◇先攻型を奪げ、再びリードした全關西軍は後半30分小野の好セ

調を利用して攻め目を求めたあたりにある。

◇右近の活躍に全關東軍のゴール正面に緊張された機曾は大谷三田の僅れたキックで脅かしはしたが結局は0-0の調和進出に缺けるところあつて止んでゐる。好調の波に乗り切りながら観衆の氣力が乏しくつたと思ふ

尤もこの裏には全關東軍の守備層が堅實であつたといふ事實はあるにはあつたがこれを押し切る意氣と誘引戦法の試みが全くなかつた

關東軍がこれに應じてゴールを奪つて僅々二分の間において再び拮抗の對峙となつたあたりその得点が胸のすくやうなものはなかつたにしても花も實もあるものとして味方に足るものであつた

◇後半全關西軍が15分迄我調の中に赤線とされたがよく蹴して攻撃の隙をとらへたところ選抜チーム乍ら蹴球の隙を傳へに足るものといひ得よう

要するに試合は最高峰を行くに足る内容豊かなものであり箱蹴全朝鮮を迎へての敗戦記録は拭ふべくもないが不振不調の汚名を解消して余りあるものがあつた

◇巨細に検討すれば全關西軍は田中病んで起用し得ず大谷を充用したのは既に智水の陣を布けるものでチーム力の低調を招いてゐたといふものと三點で喰ひ止め得たのはGK岡本の早抜の技倆に負ふところが大きい。全關東軍のW線がその秀でた足技に物を言はせようとするのを阻んだ木下の果敢のタックル等々を挙げ得るやうにバックスは忠實なマークによつてよく潰してはゐたがこれは否定し得ない岡本の快闘にあつた。見

| | | |
|-------|--------------|-------------|
| 【東 關】 | 早慶帝慶帝慶慶帝早 | 出早 |
| 【西 關】 | 立西田木三右岡大田小 | 谷小 |
| 【東 關】 | 出山山息池(巨藤部本茂) | 津吉大高菊 二播阿川加 |
| GK | FB | HB |
| FW | OK | FK |
| 10 | 4 | 13 |
| 8 | 10 | 24 |

※次々ページの二段につづく (試合経過)

シーソーゲーム

東西OB対抗蹴球戦豫想

第九回東西OB対抗蹴球戦は来る十二日甲子園に於て行はれるが今年には両軍が多数人材を擁してあるはか技術の向上からゲームの内容が一段と引き上げられるものと見られるからかつて見ない好試合が豫想される

關 東軍はG野竹腰を中心に川本、松丸、長岡、粉川の元氣者を揃へてFW線を布きこれを支援するの高山英、岡野、岩波のHB團であるが關西軍がFW線兩翼に市橋、大谷の専門プレイヤーを持つのに比してORに専門家を缺くのは痛手である

關 西側はバックスはCH赤川、FB後藤、乙骨、サイドハーフは若い清水、森と見られるがミッドフィールドでうるさい川本、松丸の両インナーを如何に捌くか此邊に勝敗の鍵が認められてあるやうにも見られる、然し關西の攻撃線は大橋、右近、川西のシニート力は關東に比して遙かに優つてゐる關東の竹内、宮本のFB線は互B線の發達後援の必要に迫られよう



◆大阪電
語 大日本蹴
球協會理事
軍主計少尉
田邊治太郎君は
今般名譽の召
集を受け〇日朝〇〇隊へ入隊する

S14-2-8

西申し合せた様に前線に比して脆弱である
この點からこの試合は得點争ひのシーソーゲームとならうがロングパスの速攻に出る關西、HB線の強力なるフォロイーにまつて部厚の攻撃線を進める關東はいづれにしても五分と見られる

英蹴協會長の後任



蹴球の大本山
英國蹴球協會
會長ウイリヤ
ム・ピックフ
オード氏の死
去により後任としてアスロン伯爵
が満場一致で選ばれ就任した(同
盟)【事實はアスロン伯爵】

S14・2・10

關東俱樂部蹴球第八日

關東俱樂部蹴球リーグ第八日は十一日午後二時から東大球場で舉行

| | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|------|---|---|---|
| YKT | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| SK・F | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | YCAC | | | |
| S・E | 4 | 3 | 1 | 2 | 4 | (横濱) | | | |

S14・2・12

豊島俱と埼玉勝つ

關東俱樂部蹴球第九日
二日午後一時から東大球場で豊島俱対成城俱、埼玉蹴球團對オールブラックスの二試合を舉行、豊島俱快勝し、優勝候補埼玉蹴球團は辛勝した

| | | | | | | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 豊島俱 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 成城俱 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 埼玉蹴球 | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| オールブラックス | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

S14・2・13

※前のページからつづく

(東西対抗蹴球)

試合経過

○前半 全關西は全關東の右に出たキックオフを破つて左のスコアインから左コーナーキックをとつて出たが短く、全關東はB吉田のキックで全關西陣に進む△全關西軍は三分迄に右近の好セリターリング、大谷、三田とついでにシュートしたがゴール正面を衝いて止む△4分全關東はLB大山のロングキックで進み播磨シニートしたがGK福本の正面を衝き、この後全關東が6分、10分の強攻機會を作れば△全關西は12分自陣に於ける全關東のスローインを拾つて猛襲に出で一進一退を續く△全關西は24分OL小野の好セリターリングで全關東の守備線を亂した後續く田島のセリターリングとなりゴールに寄つてゐた右近の強を強めてゴールインとなり全關西先攻點をあげ△この直後全關東は全關西陣右にフリーキックを得高島のキックをGK河本一旦クリヤしたがこれをOL加茂拾つて右に廻し、OR二宮引つかけてゴール成り同點となる△38分全關東はRB大山の前線球を全關西笠井カットし損じたのを加茂拾つてゴールラインに進み出で好後としたが木下の好タックルに全關西危機をのがる△39分、44分と全關東は播磨ロングシニートしたが福本の好防でゴールアウトに止む

○後半 1分全關東は岡部のフリーシニートに攻撃に口火を切つ3分川本ロングシニートしたが全關西LB西田の背面をついて止め6分左に廻つた二宮のセリターリングを播磨シニートしたが岡本の好防となり全關東軍の一方的試合となつて進められたが15分全關西は漸く立直つて左コーナーキック後18分木下の深いパスを右近よく返して小野ヘッドで攻めアウトとなる△21分全關西は右近のセリターリングをGK津田流したが小野拾つてシニートしゴール右柱を強いてゴールインとなり全關西再びリード△25分全關西は左コーナーキック後RB田島の好進出あつたが空しく30分小野の好セリターリングのとき田島好位にあつたが腰折れ好後を獲り△33分全關東は川本ドツチ後捌いた球は二宮岡部から播磨陣で播磨これを左に廻してシニートしゴール成り再び同點となる、全關東はこれを契機として強襲を續け△43分全關西の左攻撃の失敗後播磨三宮、川本の好連絡に中央を割り川本フリーシニートして決勝の一點を加ふ△44分全關西は左コーナーキックを得たが空しく止む

S14・2・6

東西OB蹴球引分

【大阪電】第九回東西OB蹴球引分は十二日午後二時から甲子園南運動場で杉村(主)阿部、潮田(線)三君審判の下に關西の先陣に開始微風あつたがコンディションは先づ良好で關東前半一點を収めたが關西は後半タイムアップ前一點を酬いて同點、遂に引分となり、これで關東二勝三引分四敗に止つた

關東 1 0 1 1 0 1 關西

大宮竹園(高岩)松竹(行川長) GK FB HB FW CK FK GK
 師大學(大學) 9 0 17 0
 天慶(關西)關西(關西)關西(關西) 9 0 17 0
 田(西)水(水)川(川)藤(藤)近(近)谷(谷)
 桑(桑)乙(乙)川(川)清(清)赤(赤)市(市)大(大)右(右)天(天)

開始後九秒六でゴール

倫敦で行はれた蹴球戦に新記録

蹴球競技でも色々と得点の記録はあるが、これは又キック・オフ後僅九秒六と言ふ短い間に得点が生み出されたと言ふので、これを記録として公認しよう、ロンドン

つ子達が驚かしてゐる

問題は最近アストン・ビラとカーリントン・アスレチックとの試合でアストン・ビラがキック・オフから球を左へL I, L Wと蹴し寸時の停球もなく再びC F



S 14-2-17

○元東京文理大蹴球部主将、名古屋愛知一中教諭原藤武氏は、昨年十一月藤白、工兵少尉として原隊で勤務中の所此程病を得難病、陸軍病院で療養したて去る九日戦病死した百十六日母校蹴球部に通知あつた、同氏は關西縣志田中學校から文理大に入りOHとして活躍し、伯林オリンピック大會代表候補として選ばれたこともある名選手

關東俱樂部蹴球

第十日成績

關東俱樂部蹴球リーグ戦第十日、十九日午前十時から東大、青學の二球場で三試合を舉行、成城俱、東京蹴球部、崎玉蹴球部がそれぞれ快勝した、いづれも一方的の試合で國際、アストラ、アランは完封されて得点チャンスなく止んだB組では崎玉があつて二試合を残り、優勝権争いと見られ、A組ではY K T が全試合を完了してあるが、東蹴が今後二試合を物すれば同成績となつて決勝戦が行はれる事にならう

成城俱 7 1 0 0 0 友會

(古原、塚部、伊藤三君審判)

【國 際】

S 14-2-20

スイス イライマダグワマン
 レチマガスマスコンハキサ
 GK FB HB FW CK FK GK
 見本 本池村田極江本藤
 立岡 岡持中柳京中坂洞

【成 城】

M T R 乘權 ラトルブ
 東京蹴 5 2 0 0 0
 球部、大龍、小宮山三君審判

【東 京】

倉本里井水波室口藤原川
 宮宮小平清岩安山遠根粉
 GK FB HB FW CK FK GK
 川原田西津堀村浦村田
 小吉浅村川今小松市中春
 【アストラ】
 崎玉蹴 15 105 0 0 0
 球部、栗田、久木田三君審判

【アラン】

尾木中原本木英田尾本野
 長青田北吉松山山牛松海
 GK FB HB FW CK FK GK
 島久田子浦登東川川田島
 大池池笹松武伊仲小町沖
 【崎 玉】

廿五日の運動

S 14-2-26



戦團球蹴京東対ラトスア
 戦混の前ルーゴラトスア半前

掲示板

○早大蹴球部不敗主将以下三名は新學期に備へて四月五日から十日間、東伏見球場で合宿練習を行ふ事になつた

S 14-2-24

WMW蹴球勝つ WM
 W對YCAC蹴球戦は十九日午前
 十時からYCAC球場で舉行、W
 Mは第一、二軍とも勝つた
 WMW 1 0 1 0 0
 W 1 0 1 0 0
 WMW 4 13 10 1
 W 1 0 1 0 0
 WMW 1 0 1 0 0

S 14-2-20

東關俱樂部蹴球

第十一日成績

關東俱樂部蹴球リーグ第十一日は廿六日正午から東大球場で舉行、MTR、東京蹴球團、埼玉蹴球團がそれ々勝つた

MTR 1 10 0 0 豊島俱
(宮本君審判)

【MTR】

不破田石平 横瀬河米 阿 0 2 24
GK FB HB FW CK FK GK

島口澤川 根山貝木 川原堂 3 4 12
GK FB HB FW CK FK GK

野淵金前 關原須清 小西 0 0 0
【豊島】

埼玉蹴球 4 13 0 0 0 友 國際學
球團 審判木内君

【國際】

ズンイム ダグンシシ 2 6 21 0
イヨレ スンズル
ウヨレ ミズンル
レキチヤ マサンペカヤ

GK FB HB FW CK FK GK
島久 橋子 藤田 東田 木藤 藤 11 2 5 1

沖池高世 齋池伊町 鈴進 進 11 2 5 1
【埼玉】

東京蹴球 棄 種 育 蹴 會

二、十六日の運動

Y O A C 5 2 1 1 3 文 大
Y O A C 3 1 2 1 3 文 大
二軍 4 1 1 1 1 S.S
3 0 0 1 1 S.S
1 1 1 1 1 S.S
0 0 0 0 0 S.S

三銀行の蹴球

リーグ戦日割

日本銀行 勸業銀行 興業銀行
の蹴球部が二十八日聯盟を組織し
毎春リーグ戦を行ふ事になり今春
第一回リーグ戦を勸業球場で行ふ
が日割は左の如く決定した
△4日入場式(3時30分) 勸業
對興銀△12日興銀對日銀△19日
勸業對日銀

S14.3.2

蹴球日本代表 廿六名決る

甲子園で合宿練習

昭和十四年日本代表蹴球選手は行
際、田邊兩監督委員の手許で各種
資料を取揃へ慎重に選考を續けてお
たがこの程二十六代表選手を決定
し、關東會の承認を経たので三日午
後大日本蹴球協會から左の如く發
表された。なほ代表選手は来る二
十五日から四月三日迄甲子園に合
宿し合宿し竹野、濱田、市橋、工
藤、手島、大谷、川本、高山、松丸
の各指導委員指導の下に練習を行
ふ事になつた

【GK】 國本純一(京大) 中垣内
勝久(文大) 津田幸男(慶大)
不破榮一(早大) HB 並木(FB) 菊
池宏(東大) 木下勇(神商大)
金谷植(曹成專出) 關義雄(東
大) 高山英華(東大出) 李裕盛
(成興) 三田英夫(關學大) 大山
政行(東大) 関内大(曹成專)

四日の運動

蹴球(三銀行リーグ第一日)
興 6 3 0 0 勸 銀
3 3 0 0 勸 銀
S14.3.5

傷兵慰問蹴球

學生對OB戦

来る十九日戸山學校で舉行される
體協主催の傷兵慰問體育運動大會
に参加する蹴球競技では在京の學
生第一線選手對俊銳OB軍の試合
を行ふ事となり七日大日本蹴球協
會より出場選手を左の如く發表
した

○學生軍【GK】津田(慶大)、日
本代表) 不破(早大、同) 【F
B】吉田(早大) 大山(東大、
日本代表) 【HB】石川(慶大)
菊池(東大、日本代表) 關(東
大、同) 笠原(慶大) 高島(慶
大) 【FW】二宮(慶大、日本
代表) 播磨(慶大、同) 阿部
(東大、同) 加茂(早大、同)
高橋(早大) 渡邊(早大)
OB軍【GK】大村(東大OB)
【FB】竹内(東大OB) 宮本(青

埼玉B組に優勝

關東俱樂部蹴球第十二日

關東俱樂部蹴球リーグ第十二日は五日午後一時四分から東大球場
で埼玉蹴球團對成城俱の一試合を
舉行する。成城は先取點を擧げて
喰ひ下がつたがタイムアップ一歩
前差にゴールを許して引分け、埼
玉は五罰一引分けでB組に優勝し
A組の勝者(未定)と覇を争ふ事
になつた

成城俱 1 0 1 1 0 1 埼玉

【審判君審判】

○成城はベスト・チームを編成
しかつてWリーグ優勝を争つた
三分の不利な試合のうちにも反
擊機會に厚味ある攻撃に成功し

て一點を先取、後半に入つて埼
玉の猛攻を喰ひ、埼玉FW組の
熱心な攻撃に一方GK野淵の活
躍により先取點を死守してしま
が遂に支へ切れず引分けしてし
つた

○埼玉はその僅れたキッキング
の活用を任せながら小技を弄し
て攻撃を誤り後手を引いて然り
後半の終りは連戦連勝の得點機
を逸し勝てる試合を引分けた。

埼玉は功の上からすれば朝り切
れぬ凡試合に終始してしまつた
成城にもあつたが埼玉はフアウ
ル氣味のプレイが一際目立つて
ゐたのは憤りがある。

野本地 岡村村見 島田 堀
高岡持長 高中 立田 柳 大高
GK FB HB FW CK FK GK
島田久 藤浦 立川 川本 島
大池 齋 齋 伊中 小鈴 神
【埼玉】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 取 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 | 5 |
| ア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 全 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 國 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 蹴 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 球 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 試 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 勝 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 定 | 1 | 1 | 9 | 8 | 6 | 4 | 2 |

S14.3.8

獨、伊チム招聘

蹴協・本年度事業

日滿支大會に蹴球參加

大日本蹴球協會昭和十四年度評議員會は廿一日午前十時から蹴協職員會で開催、十四年度一般方針事業計畫等に就き協議し廿二日これを發表したが

五輪大會参加に關しては協會として未決定ではあるが何時でも參加出来る様常備軍の強化を行ひ本年舉行の日滿支體育大會には從來滿洲と定期戦を行つて居

り本年度は滿洲運征の年なので欣然これに参加、獨伊招聘に關して獨逸には來朝するKDFの中に蹴球チームを入れて來る事を交渉、一方伊太利に對しても來朝に關し目下交渉中であるが日獨伊國際戦は實現可能と見られてゐる

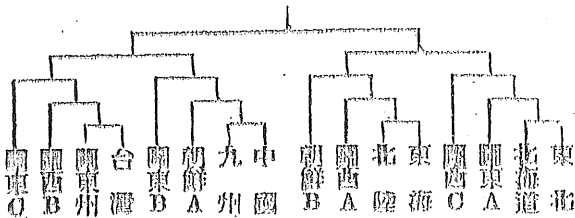
此の他明治神宮體育大會には例年の通り地方對抗手續を奉納、全日本選手權大會遂行方法は別項の

- ◇如く改正し又地方巡回代表選手指掌台帳を行ふ事等を決定した、本年度事業計畫は左の通りである
- ◇全日本選手權大會（6月9日—11日、神宮）
- ◇明治神宮選手權大會（10月1—11月3日、神宮）
- ◇東西學生對抗（10月10日神宮）
- ◇關西朝鮮選抜對抗（12月甲子園）

開催方法を改正

全日本蹴球

大日本蹴球協會主催全日本蹴球選手權大會は本年度から開催方法に大改正が加へられたが遂行方法は關東、關西、朝鮮の三地方協會を除く各地方協會は四月末日迄に當該地方協會選手權大會を開催しその優勝チームを以て五月中旬A東北對北海道、B東海對北陸、C中關對九州、D台灣對關東州（考究中）の對抗試合を各協會管下の主運動場で併行式に行ひ、その勝者が全日本選手權大會に出場權を與へられる事になった、關東、關西、朝鮮は毎年五月中旬迄に全日本選手權大會を遂行し本大會出場チーム關東、關西A、B、C、朝鮮A、B、C、台灣A、B、C、關東A、B、Cとなりこれが組合せは下の通り決定した



千葉、神奈川を破る
關東師範學校蹴球部第一日は十二日午後三時半から保谷球場で第一回戦千葉對神奈川の試合を舉行、千葉は準決勝戦に勝ち進んだ
千葉 2—1—0 神奈川

◇：關東實業團蹴球リーグ戦はA組でYKT（武蔵高校OB）B組に於て埼玉蹴球團がそれぞれ優勝したが来る廿六日午後二時から東京府高球場で争覇戦を行ふ事に決定した

◇：大日本蹴球協會理事濱田謙吉君は于代田生命神戸支部に榮轉したが二十五日午前九時東京驛別荘車で赴任する

- ◇關東、朝鮮選抜對抗（12月24日）
- ◇關西、朝鮮選抜對抗（1月28日）
- ◇東西OB對抗（3月10日甲子園）
- ◇全國專門學校大會（1月1日—5日花園）
- ◇全國高校大會（1月1日—6日 東京）
- ◇全國中等學校選手權大會（8月26日—30日甲子園）

埼玉師優勝

關東師範蹴球

第一回關東師範學校蹴球大會第二日は二十三日午前九時から文理大保谷球場で準決勝及び決勝を舉行

◇準決勝
茨城師 3—0—1—2 山梨師
審判小長谷（主） 飯澤、大島（副）

〔山梨〕
原内（利） 田村（野村） 林田（CE）
桑子（池田） 本田（駒） 大小（窪）
入松（山田） 廣谷（内） 堀村（侯）
坂小（高） 廣谷（吉） 新井（川）

埼玉師 3—2—16—0

△決勝
埼玉師 6—3—1—0—1 茨城師
△決勝戦の埼玉對茨城は埼玉前半風上を利用して攻め入つたがあまりにも強風なため球が足に付かず23分断くCFE近藤の突込みで一點を擧げてから調子付いて27分、31分と何れも突込み戦法成功して三點の開きを見た、後半に入つてからも埼玉よく攻め16分茨城に一點を許したものの前後三點を加へて六對零で快勝した

△茨城に比して埼玉は身體もダツシユもシュートも良く伊藤、近藤、彦久保、池田などの中等級第一線選手を擁して居り勝敗は實力の差といふより他はなかつた

△茨城はチーム全體に基礎技術が缺けて居りGK坂入が一寸巧味を見せただけで強風に妨げられなかつたららむと點差が開いてゐたと思はれる試合であつた

審判竹内（主） 原崎、佐藤（副）
入松（山田） 廣谷（内） 堀村（侯）
坂小（高） 廣谷（吉） 新井（川）

〔埼玉〕
喜（田） 田田（保） 田田（保）
久（池） 池田（池） 伊藤（近） 近藤（彦）

13—3—3



埼玉對茨城決勝—前幸夫師の防壁

埼玉蹴球團優勝

関東俱樂部リーグ戦

関東俱樂部蹴球リーグA組優勝Y
KT對B組優勝埼玉蹴球團の決勝
戦は二十日午後二時五分から府立
高校球場で日本(主)町田、齋藤



【YKT】

| | | | | |
|------|----------|----|----|----|
| 井藤原 | 津田部田 | 1 | 7 | 16 |
| 櫻小笠川 | 大和岡池 | GK | FK | FK |
| 鳥久田 | 樋浦登陸 | HB | FW | |
| 大池田 | 高松武伊鈴小中沖 | 7 | 1 | 8 |

【埼玉】

前半三十八分YKTゴ
ル前に迫る埼玉

十月に蹴球祭 大日本蹴
球協同和十四年度全国選手権
は廿六日午前十時から蹴球工業
館で開演 十月(第一日)蹴球
祭を全国一帯に行ふは全国的
蹴球の開催、全日本選手権第
一次開催、十四年度交付金を決定し
た廿七日発表した

S 14. 3. 28

蹴球代表 合宿練習開始

【大阪電報】蹴球日本を代表する
第一級選手強化のため大日本蹴球
協会で本年度日本代表選手第一
級合宿練習会は雨のため一日
遅れて二十六日から甲子園運動
場で行はれた

この日種々西朝鮮から馳せ参
じた二十五名の選手は午前六時
起床六時半宮城道雄九時から約
一時間半研究會を開演、午後は
二時半から五時頃まで甲子園園
運動場で竹藪、大谷、市橋の各

指導員の熱心な指導の下に一糸
亂れぬ統制の下に元氣な練習を
行ひ夜は七時から約一時間研究
會を開いた

今度の合宿は既に技術的な練習を
目的とする以外に非常時期に對す
る日本代表選手としての精神的方
面の修養にも重点を置いてゐるの
で今迄にない緊張感溢れ引續き四
月三日に行はれる事になつてゐる

S 14. 3. 26

(編)三君審判の下に舉行、YK
Tは主力學生軍不参加のため埼玉
の體力と技術に全く制壓され7對
0の大差で埼玉の優勝となつた

明葉、日立敗退

埼玉 7 2 0 0 YKT
5 1 0 0

は二十六日午前十時から青山補範
球場で第二回残り六試合を舉行
期待された明葉は航技クラブと接
戦の末抽籤で敗れたのはこれまた
優勝候補日光がマツダに零敗を喫
したのと共にこの日の番狂はせで
あり、結局三共、マツダ、航技、第
一生命、東京朝日、慶應病院が準
準決勝に進む事になつた

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|-----|
| マツダ | 2 | 2 | 0 | 0 | 日立 |
| 航技 | 2 | 0 | 0 | 2 | 明葉 |
| 第一生命 | 8 | 3 | 5 | 0 | 監督組 |
| 東京朝日 | 4 | 2 | 2 | 0 | 東京 |
| 東洋 | 9 | 4 | 5 | 0 | 東京 |
| 院際 | 9 | 4 | 5 | 0 | 東京 |

S 14-3-27

神宮競技場開き出場記者團

神宮競技場開きには既報の如く祭
典のほか開場、陸上、ホッケー、
蹴球、ラグビー、主催團體對抗
走が行はれるが蹴球、ラグビー、
総走に出場する東京運動記者倶楽
部では二十四日の幹事會で代表選
手を左の如く決定廿五日發表した

- 蹴球 GK 山田(東朝) FW
- B 工藤(同盟) 友田(同盟)
- HB 岩下(東日)高師(東朝)
- 木村(東朝) FW 細見(東朝)
- 上野(東日) 川本(同盟) 小出
- (東朝)大村(同盟) 補缺加納
- (東朝)高島(同盟) 江馬(東朝)
- 千野(東朝) 山東(同盟) 徳永
- (東朝)

S 14. 3. 29

外苑の春賑か 神宮競技場開き

明治神宮外苑競技場開きは三日午
前九時明治神宮で奉告祭を執行後
競技場に入場式其他の式典を行ひ
十二時十分から陸上、陸上、ホッ
ケー、蹴球、ラグビーの順で競技
場を使用する運動團體及び東京運
動記者倶楽部が出場して競技を舉
行、體操には四谷第四小、國華工
業會社の集團體操及び學生の體操
をを行った

| | | | | | |
|-----|-----|-------|---|---|---|
| 井津村 | 太井内 | 出藤野澤水 | 3 | 1 | 8 |
| GK | FK | FK | 2 | 0 | 7 |

S 14. 4. 3

關東實業團蹴球

……第三回戦成績
關東實業團蹴球第三日は二十日午前十時から青師球場で第三回戦四試合を舉行

| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| 慶應 | 9 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 共 |
| 病院 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 火 |
| 東朝 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 編 |
| 生命 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 見 |
| マツダ | 5 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 航 |
| | | | | | | | 技 |

慶應、マツダ決勝へ

……實業團蹴球第四日
關東實業團蹴球選手権大會第四日は三日午前十一時半から引續き青師球場で準決勝二試合を舉行、第一生命は負傷者多く辛くも出場したがよく慶應病院の猛攻を阻んで4-0に喰止め、東朝は後半逆襲を試みてその隙を衝かれ結局戦前豫想された如く慶應病院とマツダが決勝戦に進む事となつた

| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| 慶應 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 第 |
| 病院 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 一 |
| マツダ | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 東 |
| | | | | | | | 朝 |

S14-4-5

マツダ優勝す

關東實業蹴球

第八回關東實業團蹴球選手権大會第五日の決勝——慶應病院對マツダの試合は九日午後三時から青師球場で塚部(主)二回、栗出(録)三君審判の下に風下のマツダ先蹴により行はれ、マツダの優勝するところとなつた

| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| マツダ | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 病 |
| | | | | | | | 院 |

【マツダ】
 藤津本條木川 岡村住
 伊河山四給吉 林南 長西黒
 GK FB HB FW
 野島村野川 江田中山野川
 佐福室岡石堀臣田古宇徳

九日の運動

| | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|
| 同 盟 球 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 日 |
| | | | | | | 銀 |

S14-4-10

S14-4-20

二十三日の運動

◇蹴球(慶大リーグ第一日)
慶大 4-2 日大 慶

S14-4-24

關東六人制蹴球選手権大會

五十組の盛況

けふ主將會議で組合せ決定

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東六人制蹴球選手権大會は十八日を以て申込を締切つたが、参加は左の如く關東球界の各層を總動員するに至り第一部28、第二、三部各12の總計五十チームの多數に達

した、組合せは既報の如く今二十日本社大會議室で開かれる主將會議に於て決定する

- ◇第一部(大學、高等、俱樂部) 東京蹴球團、同老組、東大OB、文大A、B、豊島俱樂部、國際學友會、日本體操學校A、B、法大、日齒成城高校、早大A、B、W、M、W、上智大、中大、明大A、B、C、慶大、慶大Y、OS、東大A、B、C、東高
- ◇第二部(實業團) 航技模、マツダ、日立製作所A、B、慶應病院、東京火災、千代田生命A、B、日本銀行A、B、第一生命A、B
- ◇第三部(中等學校) 豊島師浦和中、府高等、府九中、青山師A、B、青學中、府八中A、B、市立二中、湘南中、埼玉師

第三回關東六人制蹴球大會

本社後援關東蹴球協會主催第三回關東六人制蹴球選手権大會は来る四月二十三日を第一日として青山師範球場(世田谷區下馬二丁目)に於て開催

づけとして貢獻するところ亦大である
【種別】△第一部(大學、高等、俱樂部)▽第二部(實業團)第三部(中等學校)
【開期】四月二十三日(日)二十七日(木) 慶應社臨時大會(祭日)二十九日(天長節)三十日(日)
【申込締切】四月十八日

【申込場所】東京市芝區新橋三丁目一六番地ビル關東蹴球協會
【参加資格】協會加盟團體に限るが加盟團體は選手チームを參加させても差支なし
【参加料】一チームに付金參圓
【主將會場】四月二十日午後六時本社大會廳室

主催 關東蹴球協會
後援 東京朝日新聞社

けふ申込締切

關東六人制蹴球
本社後援關東蹴球協會主催第三回關東六人制蹴球選手権大會は既報の如く来る二十三日

を第一日として開催されるが参加申込締切は今十八日、申込場所は東京市芝區新橋三丁目一六番地ビル關東蹴球協會にて、尙既報の大會々期中から二十日を除く事にした

全日本蹴球

關東豫選會
球選手権大會關東豫選を五月十三日から行ふ事に決定した、新規定に依り關東代表は三チームとなつたが昨年度全日本選手権保持チーム早大を推薦し残る二チームは豫

選決勝者を當てる事とした
豫選期日は5月13、14、20、21、27、28の六日間、球場は未定であるが申込締切は五月五日である
尚ほ早大チームは五月廿八日東北代表對北海道代表の勝者と仙台或は札幌で第二次豫選を行ふ

S14-4-20

関東六人制蹴球選手権大会豫想

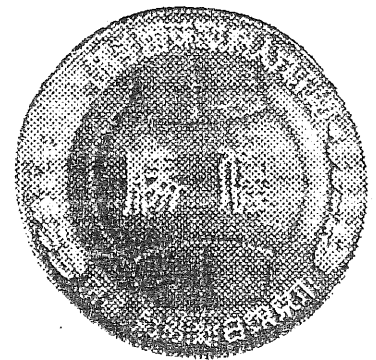
制覇は荆の道

第一部筆頭は早大

本年はこの六人制大会を始めて第三回となつたが、最初の年は凡てで二十二チームの参加であつたのが急増して昨年の第二回は三十九チームの多数に上り、茲に第一部大東、高専、東大、第二部東大、第三部中野の三部制をとらねばならぬ様になり、

本年は第一部二十六チーム、第二部十一チーム、第三部十二チーム、計四十九チーム

の参加を見て、懸念を呈するに至つた、従つてこの多数の中からどのチームが優勝するかといふ懸念は秘の中から寶石を見出すよりも困難である、殊に正統の蹴球である昨年の戦績とメンバーの變動とを考へ合せれば凡の見當もつかうがどこからどういふグループが飛び出すか全くわからない「カウツ



なものがあらう

それに東大が大東、大東、岩倉等のA、東大、横山、吉田等のB、栗田、大谷、石等々のCの三組を出して何れかで優勝を狙へば、明大も清水、片岡、中島弟等のB南、中島、竹内等のAの二組で野

心満々に競ひがたいものがある、文理大も原崎、小林、松浦等のA、横山、多利等のBを出して、

また、東京蹴球部も新戦を揃へ、警備サッカーも歴をさすつて控へてゐる、東大も大東一部の面目にかけて野心をもち、殊に日體は曲

者で、一昨年の味を忘れかねて準勝オサく危りない、東京蹴球部若組ともなれば清水隆、山口勲、

松井、山田、巨本などといふ古強者を集めて色氣たつぷりの所を見せてゐるがまづ優勝には縁遠からう、何はともあれ、この第一部は全く群雄割拠で波瀾万丈、嵐を孕んで恰も戦國時代の觀がある、さして優勝チームはどこであらう

所で 第二部の情勢も亦混氣を豫想され、過設の實業團選手権大会に優勝したマツダが林、長岡、西村、吉川、伊藤などで再び優勝に突進しようとするれば

農學院が徳川、古山、石川、桐島、堀江、岡野等で此處こそ雪辱せんものといふ利を圖いて虎視眈眈としてゐる、だが優勝は決して楽ではない、殊に日立助川から大内の率ある野武士軍が野心満々都軍を蹴散らさうと氣負ひ込んでくるし、獨將第一生命も昨年度優勝の名譽にかけて、優勝権を固守しようとしてゐる、又松丸の率ある千代田生命も、竹内博、毎野の東京火災も機會さへ興へれば制覇の奇利を博せんものといふ用意に暇かりはないやうだ

第三部にあつては何といつても師範チームに指を屈せねばなるまい、先づ警備、警備、警備などといふ目標を掲げて白熱の激戦を展戦することは必然だが、府立八中、湘南中、浦和中なども奇勝を狙つてこれらに挑みかゝることにならう、何れの部に屬さうとも制覇の道は荆に破られたもので易々としたものではない、兎もあれこの二十三、二十五、二十九、三十日の四日間には青山師範に優勝されるこの豪華總巻は觀者の血を躍らせるに十分なものがあらう「小森谷

第一 一回の優勝チームは早大

A組である、第二回の優勝は第一部が早大A、第二部が第一生命、第三部が警備師範といふところである、誰しも勝つと思はれるチームが案外の所で無名のチームにしてやられたり、要するなチームが案外勝ち進んだりして優勝を遂げしがたいだけに全體として見ると既に波瀾万丈で面白い、六人制には若者ははつきりものである、第一部で當然優勝を豫想された早大Aが文理大に敗れたり、その文理大が東京蹴球部にしてやられ、その東京蹴球部が東大Bに下けられて東大Bが決勝戦に臨むなど、又第

二部では日本警備が東京火災や朝日新報Aを蹴散して準決勝に現れ、マツダのAが第一生命に敗れ、却てマツダBが準決勝に進み、そして第一生命が誰も認める千代田生命を打ち取つて優勝し、又第三部では青山師範Aが警備に敗れ、むしろ青山Bが第三部を堂々破つて警備と決勝を争ふに至つたなどその典型的なものである、時局が變つたので先に言及した方が勝ち負けに何れに勝つては思ひかわからないだけにどんなチームでも氣の毒があつて、奇勝を博し得ることになつて面白い、けれどもやはり制覇に望むものが勝ち残ることとなるらしい

今年もこの多数の頭角を現れ、何れのチームが優勝するか定めにくいが見るからではなにかと暗中操縦するものも興味を盡きぬものがある、何といつても優勝権は第一部であつて、古専、東大を破つて暫々しい優勝を奪つてゐることになり、先づ日體の所を指しあげてみよう

關東六人制足球組合 決定

愈々火蓋を切る

本社後援の関東六人制足球組合主催の第三回關東六人制足球選手権大會は第一節二十六チーム、第二節十一チーム（日銀チーム中込成瀬）第三節十二チームを以て日曜の一部を變更して、いよいよ二十三日を第一日とし二十五日、二十九日、三十日の四日間に亘り青山體育場で開催されるが二十日夜本社大會室に於て開かれた主將會議の結果各節の組合せは左の如く決定した。

| 節次 | 日 | 時間 | 対戦相手 |
|----------------|------------|-------|-------|
| 第一節 (大學、高等、模範) | 30日 | (10時) | 慶應大 |
| | 29日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 29日 | (10時) | 東洋大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| 第二節 (日業) | 30日 | (10時) | 第一生命 |
| | 29日 | (10時) | 慶應大 |
| | 29日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 29日 | (10時) | 東洋大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 25日 | (10時) | 慶應大 |
| | 25日 | (10時) | 早稲田大 |
| | 第三節 (中等學校) | 30日 | (10時) |
| 29日 | | (10時) | 慶應大 |
| 29日 | | (10時) | 早稲田大 |
| 29日 | | (10時) | 東洋大 |
| 25日 | | (10時) | 早稲田大 |
| 25日 | | (10時) | 慶應大 |
| 25日 | | (10時) | 早稲田大 |
| 25日 | | (10時) | 慶應大 |
| 25日 | | (10時) | 早稲田大 |
| 25日 | | (10時) | 慶應大 |
| 25日 | | (10時) | 早稲田大 |

後援 関東六人制蹴球大会

【第一日】

第一部 W M W 強し

第二部 マツダ敗る

本社後援関東蹴球協会主催第三回
 関東六人制蹴球選手権大会第一日
 は廿三日午前十時から青柳球場で
 第一、二部の第一回戦を挙行、連
 日の降雨でフィールド。コンディシ
 ムは不良であつたが、選手たちは
 本意をこめて奮闘した。

第一部では東京蹴球団、東大
 O B、明大 B、W M W、東大 B
 成城高、文大 A、明大 A、東大
 A、東高が第二回戦に進む事にな
 がつたが W M W が川本、加藤

の全日本代表選手を擁して一方
 の試合に日體 B を却け、東大 O
 B が之をまた強豪菊池を主力とし
 行陣、高山の超 O B を交へて早
 大 B を撃破したほかは接戦につ
 く接戦に終結した

第二部では慶應病院が優勝を
 擲へて慶應病院の真跡を見せ第一
 生命が三連とはいへ先真の實業
 大会に優勝したマツダを降したの
 は僅とするに足るものであり東京
 火災がこの試合を降したとなつた并
 出の止めの一撃に松丸を主力とし
 優勝を擲つた千代田 B を却けたの
 は決勝戦へ進出の希望を抱かせる
 ものであるといへる

劈頭から好取組

熱戦を豫想される十三試合

六人制蹴球けふ開幕

第二回六人制蹴球選手権大会
 第一日の二十三日は晴雨に拘
 らず青柳球場で左の如く第一
 二部の第一回戦合せて十三試
 合を行ふがこの日の第一部の
 好試合と目されるのは冒頭の
 東京蹴球団對慶大をはじめ東
 大 O B 對早大 B、日體 B 對 W
 M W、文大 A 對豊島、東大
 A 對日體 A などが挙げられる
 傳れた走力の上のせた巧
 みな個人技と作戦の妙は僅
 かな間隙を衝いて熱戦を演

じよう、優秀な体格を誇る
 日體勢を相手にしては W M
 W も東大 A の完璧の技備も
 これを制し得ない事もある
 と思ふ、東京蹴球団、豊島
 俱の俱樂部チームも新鋭を
 揃へてゐる事ではあり慶大
 文大の現役軍も見くびるこ
 とは出来まい

第二部で千代田にとり慶應病
 院は先陣行はれた實業大会
 の優勝戦であり、マツダが若
 さを誇れば第一生命は老朽味
 をたへてソツのないところ
 を見せよう、いづれにしても
 第一日早くも過半数の試合は
 熱戦が豫想される

第一部 東京蹴球團對慶大
 (10時) 東大 O B 對早大 B
 (10時30分) 慶大 Y O S 對
 明大 B (11時) 日體 B 對 W M
 W (11時30分) 東大 B 對國
 際學友會 (0時) 成城高對
 明大 O (2時) 文大 A 對豊
 島サツカ一俱 (2時30分)
 明大 A 對中大 (3時) 東大
 A 對日體 A (3時30分) 東
 大對東京蹴球團老組 (4時)

第二部 第一生命 A 對マ
 ツダ (0時30分) 千代田生命
 A 對慶應病院 (1時) 千代
 田生命 B 對東京火災 (1時
 30分)

| | | | | |
|-------------|------|------|---|------|
| 明大 B 1 | 0100 | 0000 | 0 | 慶大 Y |
| (審判 藤田 明大先) | | | | |
| 慶大 Y 1 | 0100 | 0000 | 0 | 明大 B |
| (審判 藤田 明大先) | | | | |
| 明大 B 1 | 0100 | 0000 | 0 | 慶大 Y |
| (審判 藤田 明大先) | | | | |
| 明大 B 1 | 0100 | 0000 | 0 | 慶大 Y |
| (審判 藤田 明大先) | | | | |
| 明大 B 1 | 0100 | 0000 | 0 | 慶大 Y |
| (審判 藤田 明大先) | | | | |

| | | | | |
|-------------|------|------|---|--------|
| 東大 O B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 早大 B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |

| | | | | |
|-------------|------|------|---|------|
| 東大 A 1 | 0100 | 0000 | 0 | 日體 A |
| (審判 小野 東大先) | | | | |
| 日體 A 1 | 0100 | 0000 | 0 | 東大 A |
| (審判 小野 東大先) | | | | |
| 日體 A 1 | 0100 | 0000 | 0 | 東大 A |
| (審判 小野 東大先) | | | | |
| 日體 A 1 | 0100 | 0000 | 0 | 東大 A |
| (審判 小野 東大先) | | | | |

| | | | | |
|-------------|------|------|---|--------|
| 東大 O B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 早大 B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |
| 早大 B 3 | 2100 | 0000 | 0 | 東大 O B |
| (審判 西川 早大先) | | | | |

※次ページの下記につづく

けふ十二試合

關東六人制蹴球大會第二日

本社發授關東蹴球協會主催第三回關東六人制蹴球選手權大會第二日は今二十五日の如く第一部の第二回戦八試合と第三部(中等學校)四試合が行はれる

第一部は既に第一回戦に於てその實力を示して勝ち残つた八チームと不戦一勝及び相手の棄權によりこの日を待つた全く未知數の八チームである、就中接戦を豫想されるのは朝權を握る早

大Aと東大Oを筆頭とし、布陣をかへて臨む東京蹴球團と東大OBの對戦、東大Bと文大B、文大Aと明大Aの各試合で優れた個人技と六人制の最高戦法を示すものと見られる

第三部は小粒ながら豊島師對青島中、青山師B對浦和中が鏖を削るものと見られてゐる

◇第一部第二回戦

東大對東大OB(0時) 明大B

對WMW(0時30分) 東大B對文大B(1時) 法大對日産(1時30分) 早大A對東大O(2時) 上智對成城高(2時30分) 文大A對明大A(3時) 東大A對東高(3時30分)

◇第二部第一回戦

豊島師對青島中(10時) 青山師B對浦和中(10時30分) 青山師A對高等(11時) 府九中對埼玉師(11時30分)

※前のページのつづき

(關東六人制蹴球大會)

(審判 澤若千代田先誠)

野田島江山川 藤岡村田田

南三福城古徳 佐安山大栗細

G B F

◇第一部 第二回戦
 第一回 0101 0001 1 マツダ
 (審判 藤若千代田先誠)
 藤田 藤田 藤田 藤田
 藤田 藤田 藤田 藤田

【大山大 藤田】
 G B F
 藤田 藤田 藤田 藤田

【四吉 鈴木 長手】
 G B F
 藤田 藤田 藤田 藤田

【東京 藤田】
 G B F
 藤田 藤田 藤田 藤田

【東上 藤田】
 G B F
 藤田 藤田 藤田 藤田



戦接の頃分六半前ダツマ對命生一第

開東六人制蹴球大會

二部で崎師敗退

一部順當に入場する

第二日を迎へた本社後援開東蹴球大會は、開東六人制蹴球選手権大會は二十五日午前十時から青島球場で第三回第一回戦四試合、第一部の第二回戦八試合を舉行、勢天なれ共、雨後の球場は、観衆を合せて好脚球日和であつた。

◇初日を迎へた第三部は豊島師崎師A、Bと府立九中が勝ち残つたが優勝候補と目された崎師が府立九中の爲敗れたのは戦前の態容からすればまさには奮起はせの二つである。府立九中は崎師の不調に乗って後球路を巧みにとつて一點を先取し、崎師は強攻に成功してゴール攻落なり同點としたが九中は巧みに切り換けて二點を加へ制勝した。

崎師は得點圏に入り乍ら不意のパスに自ら攻路を断つた優みがあつた。九中の制勝は大物を仆しただけに第三部に於ける殊勳といふ事が出る。

◇青島中、浦和中は共に反撃の後會を多く持ち下り敗れたが體力の相違といふよりも氣力に於て敗れたといふべきである。これに勝つた豊島師、青島師は豊島師も辛くも逃げ込んだといふところで頑強な準決勝への進出は並大抵の事ではない。

◇青島師Aは府高等の優勝點を巧みに斷つて成功したが流石優勝候補と言つて可い。

◇第一部では東大OB、W、M、Wをほとり素大A、B、早大A、

明大Aと法大、成城高が準々決勝に進む事となつた、この日も期待された三連勝を目指す早大Aに對する東大Cの挑戦も東大Cの意欲にこれに伴はず早大Aの猛襲の前に潰え去つた。東大OB、成城高は法大の抽籤に踏み止まつたのと共に辛くも勝ち残つたといふところである。又法大は絶好のチャンスを選ばず得點先取に失敗し間隙を衝きまくられて止んだが法大と共に戦術上の缺點を反省する要がある。W、M、Wは個人技によつて制勝し東大Bまたその際なきにしもあらずであるが攻守共に厚味を持たせてゐたあたり體力の賜物である。

◇第三部一回戦



◇蹴球(開東大リーグ第二日)
千葉 2 11 0 0 慈恵
S 12.4.30

廿九日の運動

◇第四回全日本蹴球選手権大會
開東予選は五月十三日から開始されるが申込締切は五月八日に變更された。尚主將會議は十日午後七時から開東協會事務所で開催される。

24.2.26

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

| | |
|----------------------|--------------|
| 【青】 須藤大誠 3 | 【青】 五大 勝 4 |
| 【青】 山 2 | 【青】 浦和中 1 |
| 【青】 小長谷 山口、洞谷三吾、浦和先鋒 | 【青】 浦原田井泉 勝 |
| 【青】 田邊田山 勝 | 【青】 浦西生石小惠 勝 |
| 【青】 G B F | 【青】 G B F |

早大、明大に勝つ

早大對明大蹴球戦は二十六日午後三時から東伏見球場で舉行、明大は先取得點を守り切れず後半早大の猛攻を浴びて敗る。

早大 4 4 0 1 1 明大

| | | |
|------|------|----------|
| 弟野中 | 部田内水 | 1 2 15 |
| 池島 | 服山竹治 | OK FK GK |
| 中庄中田 | 服山竹治 | FW |
| GK | FW | 5 1 8 |
| FK | FW | |
| GK | FW | |

粒選り十二試合

けふ六人制蹴球準々決勝

第三回關東六人制蹴球選手権大會
 第三日は今二十九日青山師範球場
 で各部の準々決勝戦十二試合を左
 の組合せで行ふ

◇第一部は既に二度の勝にかけ
 られただけその買方は倍仲して
 るが東大B対法大、東大A對
 成城高はこれ迄の戦績から見

法大、成城高は玉碎の一手だけ
 が残され、これがどの程度に示
 されるか……といふところであ
 る、何といつても東大OB對W
 MW、明大A對東大Aの二試合
 は興味ある大熱戦が展開され
 上う

◇第一部では不戦一勝で初め

苦戦を免れまい
 ◇第一部 東大OB對WMW (2
 時) 東大B對法大 (2時30分)
 早大A對成城 (3時) 明大A對
 東大A (3時30分)

◇第二部 第一生命A對慶應病院
 (10時) 日立對航技 (10時30分)

日立B對日銀 (11時) 第一生
 命B對東京火災 (11時30分)
 ◇第三部 豊島師對八中 (0時)
 青山師對湘南中 (0時30分) 市
 立二中對青山師A (1時) 八中
 B對九中 (1時30分)

明大A、WMW惜敗

本社後援 關東六人制蹴球 第三日

本社後援關東六人制蹴球選手権第三回
 關東六人制蹴球選手権大會第三日
 は廿九日午前十時から第二部實業
 團の準々決勝戦を開き第三部
 第一部とそれと準々決勝戦を行
 った、この日快晴なれ共風強く
 球を蹴されたが最終日を目指して
 激戦が展開された

第一部では東大OB、東大A、
 B、早大Aが勝ち残った、法大

成城高は豫想に反して勝利なる
 プレイで堂々と應戦し敗れても
 悔ないものであった、惜しくも
 法大の機先を制するの作戦は失
 敗に陥したが自らを知つての實
 明の策といふべく成城も勝せず
 強敵早大Aの猛攻を阻んだとこ
 ろ天晴れといふべきである、可
 惜この雨チームが能く流暢に
 喰ひ下ると格身に用ながら個
 個のプレイに豪放さの缺けてゐ
 る事である、有望視されたWM
 Wも傑出したその個人技に物を
 言はせ得なかつたのは體力も物
 をいふであらうが東大OBの一
 一聯のつながらの前に阻したと
 いふべきである、明大Aは七優
 際に打撃られた嫌がある、得點
 價會は東大Aより遙かに多かつ

だがこれは攻撃面の變化を求め
 過ぎたのと複雑さに與られたと
 見て、東大OBが體力の劣
 勢のなかにも常に工夫を凝らし
 ながら攻守の厚味を保つてゐた
 のは他のチームの以て節とする
 に足るものである

◇第一部
 東大 1 10 0 0 WMW
 OB 1 10 0 0 WMW
 (審判小長谷、西川、久保田二君
 W M W先勝)

B) 村池 部腰漢] 松原岡 本茂
 O) 大嶽 阿竹山] 西小末 川加
 東大B 2 0 0 0 法大
 (審判西川、小長谷、久保田三君
 法大先勝)

【東大A 1 11 0 1 明大A
 早大A 2 11 0 1 明大A
 (審判西川、西松、中林三君、東
 大先勝)

【破村田橋邊林] 慶賀田田岡島
 大不西莊高橋中 伊大本原長田
 早大A 1 0 1 0 0 成城
 (審判本堂、石井、今野三君、早
 大先勝)

【慶應 3 12 1 10 1 第一生命
 慶應 3 12 1 10 1 第一生命
 (審判野野、右田、千葉三君慶應
 先勝)

【野島江山川川] 庭田森部家
 慶應福地古石第 大山大塚大
 B) 立乘 種毓 技
 H) 立 5 23 10 1 日銀
 (審判大塚、大塚、大庭三君日立
 先勝)

【本野崎林田田] 口井村橋田島
 日立丸小架鎌日關石中高山大
 G) 立 5 41 0 0 0 第一生命
 東京火災 5 41 0 0 0 第一生命

【豊島師 1 10 0 0 八中A
 (審判信本、中村、粉川三君八
 中先勝)

【保原野田田内] 上藤木子島兼
 東上藤井右竹第浦永二金松千
 G) 師 1 10 0 0 八中A
 (審判信本、中村、粉川三君八
 中先勝)

【青山 1 10 0 0 湘南中
 師 1 10 0 0 湘南中
 (審判鈴木、大谷、田中三君湘南
 先勝)

【田藤田定川松] 川村藤藤利整
 青師 1 10 0 0 湘南中
 G) 師 1 10 0 0 湘南中
 (審判鈴木、大谷、田中三君湘南
 先勝)

【井山田立藤田] 田藤井藤本田
 師 1 10 0 0 湘南中
 G) 師 1 10 0 0 湘南中
 (審判粉川、鈴木、關根三君九中
 先勝)

【田藤澤村浦原] 町平野野木井
 中 1 10 0 0 湘南中
 G) 師 1 10 0 0 湘南中
 (審判粉川、鈴木、關根三君九中
 先勝)

【岡淺黒飯三相] 深松岡水鈴村
 G) 師 1 10 0 0 湘南中
 (審判粉川、鈴木、關根三君九中
 先勝)

本社 後援 關東六人制蹴球大會

最終日

東大OB(一部)優勝

二部は慶應病院、三部は豊島師



東大蹴球部 対 慶應病院

最終日を迎へた本社後援關東蹴球大會。主催第三回關東六人制蹴球大會は二十日午前十時から青山蹴球場で各都府県代表を對し、第一部では早大Aの三連覇を抽籤ながら断つた東大Aが同じ流れの東大OBの攻勢の運行に依り得ず結局東大OBが萬丈の軍を吐き第二部では慶應病院が新軍をなし第三部は再延長を試みてタイムアップ直前に豊島師範が幸運の決勝点を挙げて進軍を成すした。

第一部 進軍

東大O 2-1-0-0 東大B
審判 塚部、西川、松田三君、東大OB先勝

大OB先勝

村(安) 部 藤田 田山部 木(武)
大(安) 阿竹島 岩 小原 有大大
G B F G B F G B F

【東大OB】 東大A
抽籤 0 0000 0000 0 早大A
審判 西川、塚部、芝地三君、早大A先勝

動 龜田 泉 隈屋 破村 田橋 藤林
岩 小原 有大大 不 西庄 高橋中
G B F G B F G B F

【東大A】 早大A
△決勝 早大A 2-0-1-0 東大A
審判 塚部、芝地、松田三君、東大OB先勝

村(安) 部 藤田 泉 隈屋

大(安) 阿竹島 岩 小原 有大大
G B F G B F G B F

【東大OB】 東大A
◇…早大Aは優勢に試合を選び中
林、藤田の得点機会を惜しくも
外れて止み東大Aは苦戦の中に
喰ひさがつて抽籤に残つたが直
木を攻撃主力とする東大Bが先
藤田の前に全く無窮に進入
だのと共に意外の勝ちを誇りせし
めるものであった

◇…決勝は先鋒チームの攻め手解
かに一方的試合の後後半に入つ
たが塚部、阿部の好コンビで先
取点を挙げ更に二点を加へた、
Aはこの後大崩れのクリンシュ
I上で一點を回復した、若さに
物を言はせぬOBの老練はこの
結果をして順當と語はしむるに
足るものであった

◇第二部 準決勝
慶應 1-0-0-0 日立
審判 山口、芝地、吉田三君、慶應
病院先勝

野島 江川川 倉川 林 澤内
國福 堀古石 西芳 小 磯大
G B F G B F G B F

【慶應病院】 日立
審判 鈴木、藤根、關田三君

東京火 3-2-1-0 日立
審判 高山、山口、吉田三君、東
京火先勝

保出 野川 崎内 本輪 野林 田田
上井 井 藤 藤 杉 尾 丸 小 柴 藤
G B F G B F G B F

【東京火】 日立HP
△決勝 日立HP 1-0-0-0 東京火

審判 塚部、崎、松村三君、東京
火先勝

野島 江川川 保出 野川 崎内
國福 堀古石 上井 井 藤 藤
G B F G B F G B F

【慶應病院】 東京火
◇…望された日立は攻撃力劣勢の
爲に戦を敗り日立HPは宮崎、
丸小野、藤田の老巧も體力乏し
く敗退したのは止むを得ない、
決勝は慶應の卓越した攻撃力は
送球路に決力力を欠いて接戦
に終結した、東京にも得点機会
はあつたが慶應はより多い機会
を凡庸に逃したのには實業團らし
い體力の不足といふべきであらう

◇第三部 準決勝
豊島師 2-1-1-0 青山
審判 小長谷、山口、關根三君、
豊島師先勝

【豊島師】 青山師B
本島 澤 澤 藤 田 田 藤 藤 川 定
G B F G B F G B F

東大 藤 藤 小 伊 細 西 濱 清 濱 國
師 山 1-0-0-0 九 中 立
審判 鈴木、藤根、關田三君

府立九中先勝
【青山師A】 府立九中
井田 山 田 藤 立 田 輪 澤 村 補 原
白安 小 太 加 藤 岡 淺 黒 飯 三 相
G B F G B F G B F

△決勝 豊島師 1-0-0-0 青山
審判 小長谷、鈴木、野川三君、
青山師A先勝

【豊島師】 青山師A
本島 澤 澤 藤 藤 井 山 田 立 藤 田
直大 藤 藤 小 伊 白 小 安 加 太
G B F G B F G B F

◇…青山師Bの攻撃力手薄とあつて
は豊島師の決勝戦進出は順當と
いふべく九中が舊腕の未敗退し
たのは惜しまれる、相原の體が
物をいへば青山師Aの勝利は危
いものとも見られた、豊島、青
山の決勝となつたがアロウの
乏しさにより互に好機を逸して
思はぬ一點に勝敗を分つた、勝
敗を分つたとは言へ實力は互角
の全力を傾け盡した試合に敵意
を表したい

第一部 頭腦戰の勝利

六人制

第三部に目立つた新興チーム

球壇總評

關東六人制蹴球選手権大會は回を
重ねて三度、四十九チームの多敵
参加の下に行はれた

第一部

本大會を見て感ずるものは個人技
の擲尤に役立った事はいふ迄もな
くテンポに即應の妙と六人制とし
ての戰術的工夫の跡が鮮然とし
てゐた事である、この代表的のも
のとして東大OBが擧げられる、
第一部の戦を擲へた中にあると體
力的非力を被擲し乍ら稱賛を浴
びたがいさゝかも幸運が伴つてゐ
ない

その制敵の跡を續れば持駒不足
の中にあつても不利を克服して
榮冠を獲得したもので、個々の
力に應じた速さ、常に厚味を加
へる事の工夫、緩急よろしきを
得た至妙の試合進行等體力的勝
利といふべきである

三日の運動

蹴球
成 4 13 0 1 商大専

S14.5.4

四日の運動

蹴球(關東大リーグ)
慶大醫 19 145 98 17 慈 愚

S14.5.5

A Bチームとしては川本
加茂を主力とするW.W.清水を
機軸とする東大、清川を主軸とし
た豊島俱等があるが體力を無視し
た戦術に物をいはずとせよとして
失敗した傾きがある、OB現役職
合の關大OBはチームのバラン
スがとれてゐたが迫力をしく明大
Bの前に降つたのは已むを得ない
高専チームは大學チームに比し
参加少く目體は期待されたもの
であつたが足技もコンピネーシ
ョンの相違に類され二落り、東
高が車陣を苦もなく攻落した
のは體力の上から、當然の事であ
り東大Aに惜敗したのは反響強
く、成城高は試合毎に異色を露
り、日體が血氣にはあつて力が
出し切れずに敗つたのは目立つ
てゐた

大

大 興チームの参加は十四
に及び、三チーム参加した明大は
Aは球技決勝で東大Aのため惜敗
したが竹内、鈴木あたりが機軸の
るプレイをしてゐたならばといふ
感じは深い、B、Cが關大OB、
成城高のため敗れたのは氣力の乏
しさと出足の鈍さにあつた、勝負
敗ればしたものの個人技の優劣と
いふ點からすればそれだけの缺點
が明かにされただけでも慰めらる
べきであらう、東大はA、Bが個人
技をチーム力として刺すところな
く、Cは油の乗つてゐる早大Aの
ため潰されたがこれは致し方ない
ものであつたらう

又大Bは東大Bの前に苦闘して
退き、Aは豊島俱に食ひ下り
れて喘ぎながらもよく耐へ止
り明大Aにとどめを刺されて終
つた、個人技として見るべきもの
はあつたが主軸を缺いてゐ
た、早大Bの若さを窺ひ得なかつ
たのが解せない、早大、法大、
上智が単一チームを送つたのは
制敵の野心的もとになされたとい
ふ思はれないが、いづれも個人技
の研習不足が認められた

早大勝つ

對立大蹴球戰

第二回早立蹴球定期戰は六日午後
三時十五分から東伏見早大球場で
西松君審判から東伏見早大蹴球
0で早大勝つ

早大 20 0 0 立大

S14.5.7

| | |
|-----------------|----------|
| 田谷田島(毛) 西村 邊橋村 | 6 2 8 |
| 島米莊川(末西) 杉妻 渡高中 | 7 2 9 |
| GK FB HB FW | CK FK GK |
| 石橋本谷野 田上藤田(島) | 7 2 9 |
| 白岡岡崎 藤武井廣植今田 | |

第二部

第二部では戦を擲へた豊島病院が
稱賛したのは當然で、その體
力の落ちたのが不思議な位で
ある、第一生命、千代田生命が二
チームを送る事をしなかつたなら
ば豊島病院も易々とは勝ち進めな
かつたであらう

第三部

第三部は八甲と習山陣がチームの
基礎強化に目體を置いて出陣し八
甲は豊島陣、九甲の爲めに惜しい
敗戦となり青山陣はAは決勝に進
出した

七日の運動

蹴球
慈 大 3 1 1 慶大醫科
上智 大 2 1 1 中 大

S14.5.8

んで悲壯なる敗戦となりBは準決
勝で敗れたがそれなく、脚の長短
を明かにする事が出来ただけで
立派な敗戦として自ら慰め得よう
浦和中、湘南中、青學中、府中
等、市立二中は其持味を示さず
に止んだ嫌ひはあるがいづれも
よい素質の選手が動員されてゐ
た、大會の目的からすれば二テ
ーム乃至は三チームの出陣を安
當とする事をこの際附言したい
最も印象深いのは新興チームの
躍で九中OBが體力において劣る
ところがなれば稱賛は至難の事
ではなかつたと悟しされる
戦を擲へ乍ら指玉師が敗れたの
は試合進行の巧拙によるもので
彼備が必ずしも物を言ふもので
はない一例である(山田生)

早大勝つ

對文大蹴球戦

早大對文大蹴球戦は十日午後三時から早大東伏見球場で西松君審判文大先攻で開始、早大は終始優勢に試合を進めて4-1で勝つ

早大 4 | 3 | 1 | 0 | 1 | 文大

【文大】

島野藤 野口澤 井林浦水崎
大原佐 西川敏 安小松松原
GK FB HB FW
OK FK GK

破谷田毛 島岡村 邊橋林
不米進三 川末西杉 櫻井高中

【早大】

立大、農大を破る

立大對農大蹴球戦は十日午後三時から石神井球場で舉行6-0で立大勝つ

立大 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 農大

【農大】

井村正 部坂侯田 櫻林
笠中加 加藤 猪吉 吉富 小

GK FB HB FW
OK FK GK

【立大】

石崎本谷野田上藤田 島

白岡岡崎藤武井齋植今田

3 3 12

蹴球關東代表 全日本蹴球選會組合

は本年度から三チーム出場する事となり一チームは昨年度全日本選手権保持チーム早大が既報の通り推薦されたが残り二チームの豫選會は十三日から東伏見及び青柳球場で舉行、決勝は勝つた二チームを當てる事となり組合せを左の通り決定した

◇13日△一回戦【A】農大BRB 對千葉龍子會(2時)【B】商大對東京蹴球會(3時30分以上東伏見)

◇14日【C】明大對上智大(10時)【D】早大WMW對成城(11時)【E】文大對立大(1時)【F】東大對豊島サッカ(2時30分)

◇21日△準決勝【G】Aの勝者對Bの勝者(10時)【H】Cの勝者對農大YOS(11時30分)【I】Dの勝者對Eの勝者(1時30分)【J】Fの勝者對農大(2時30分以上青柳)

◇28日△決勝Iの勝者對Jの勝者(1時)【G】の勝者對Hの勝者(3時以上青柳)

S 14 . 5 . 12

S 14 - 5 - 13

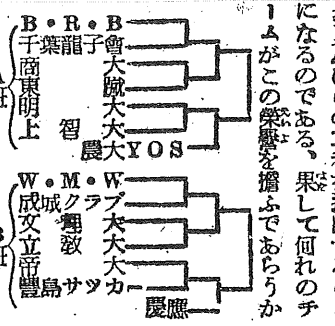
全日本蹴球關東豫選豫想

代表権の獲得は

BRBと帝大か

各チーム質的に充實

全日本蹴球選手権大會關東豫選は十三日から十四、廿一、廿八日の四日間に亘り舉行、昨年度の全日本大會優勝チームとしてこの豫選を経ずして東北北海道第一大会の勝者と對戦する關東代表A早稲田を除く他の諸チームに依つて代表B及びCの二者を選出することになるのである、果して何れのチームがこの榮譽を擔ふであらうか



A 班における優勝候補は役を新設のOBで補強した農大BRBに指を屈せねばなるまい、先に行はれた六人制大會にも顔を見せず密かに日暮台にあつて秘策を練り、猛練習を積んでこの日を期して来たのであるから驚くべき成績を發揮するのはないかと考へられる、併し果して道は垣々であ

B 班に於ては重配を帝大に擧げたい、六人制に優勝したOBを一人も入れないが現役のもつ若さからくる旺盛な闘志が種不安な技術を補つて一方の雄たる資格に何の缺くる所もない従つて第一次戦の豊島サッカも亦第二選手を以て固めた農大も苦

らうか、一方の雄に明大が恐らく上智大、農大YOSを付けて決勝戦に臨むであらう、殊に明大は六人制に於て相當に活躍を示し、元氣旺盛なものがある、十分な野心と闘志を以て對するであらうから樂觀は決して許されない、而もBRBは東大、商大の精鋭何れかと戦はねばならぬ、東大も若手を揃へて商大を破り進出を期すれば商大は亦密かに實力の養成に猛練習を重ねて來てゐるので東大を一蹴してBRBに對しようとする、東大よりも商大の進出はBRBにとつて相當うるさいものがある、併しA班に於ては結局明大とBRBとによつて闘争は争はれ、勝利はBRBに傾くことであらう、だが駒の不足感が何となく暗い影を投ずる

成城クラブには勝つであらうが次の文理大、立教の勝者には稍難色がある、立教對文理大の戦は何れ今秋リーグ戦に優勝争ひをする前哨戦ともいふべく負けられない所であらうが立教に分があるのではなからうか、文理大が出ても面白からうが立教がWMWと對戦する時WMWが果して十分の自信を望み得るか、疑問である、川本、加茂が余程活躍しない限り立教のものになるのではないか、B班においては結局苦しい試合をするWMW、立教、文理大の何れかと帝大とが闘争を争ひ、帝大に凱歌が擧らう【小島谷生】

BRB快勝

全日本蹴球選手権關東豫選第一日は十三日午後二時から東伏見巨大球場でA組一回戦を舉行

◇一回戦 A組

BRB 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 千葉

【審判】西川、村上、片田三君、RB先攻で二時開始

【千葉農大】

橋島原田川井登浦原藤田

高中福山石今安杉藤加原

GK FB HB FW

OK FK GK

8 1 4

東商大 棄權 東京蹴球團

S 14 . 5 . 14

蹴球関東選

第二日成績

全日本蹴球選手権関東選第二日は十四日午前十時から菅師球場でA B両組各一回戦戦いを争った

一回戦A組
明大 6-3 上智大

一回戦B組
成城大 1-0 成城大

【上智】
三神村土渡石辻神辰金赤
GK FB HB FW
OK FK GK
17 28

【成城大】
伊大本丸園百吳中長田大
GK FB HB FW
OK FK GK
4 4 18

【文理大】
立大 3-0 文理大

【立大】
石橋田谷野藤上藤田(島)
GK FB HB FW
OK FK GK
5 1 10

島野野野口村和原浦水正
大栗佐西川中多柳松松原
GK FB HB FW
OK FK GK
7 2 13

東大 5-2 豊島サ
3-1 10-1
ツカI

【東大】
田田山石山部屋木馬橋谷
吉原大力横長大直有大大
GK FB HB FW
OK FK GK
8 5 7

島根口山黒原原澤川川藤
野關開小龍小金清長伊
3 8 20

中部代表は四高

【金澤電話】全日本蹴球選手権大会二次予選は十四日午後一時半から金沢市四高校庭で北陸代表の四高と東海代表JSKの両チームの間に行はれたが四高勝る中部代表と決定した

十四日の運動

◇蹴球(関東大リーグ)
総大 7-0 日醫大
(關西學生トーナメント第二回戦)

神高 1-0 京大
關學 10-0 神高工
大商 2-1 利歌山高商
神商 大 8-1 大高醫
東北 大 2-0 北大

S14.5.15

慶大豫科勝つ 關東大學

豫科蹴球リーグ第一日は十六日午後三時から東伏見球場で舉行
慶大 1-0 明大

十六日の運動

◇蹴球
成 2-0 1-1 工大

S14.5.17

豫科蹴球リーグ戦

關東大學豫科蹴球リーグ第二日(B組)は十七日午後四時から石神井球場で舉行
立大 3-0 拓大

S14.5.18

朝鮮蹴球代表は全善成

【京城電話】全日本蹴球選手権大会朝鮮代表兼朝鮮選手権大会の決勝戦全善成専門對威興蹴球團戦は十五日午後五時全善成先攻で開始し1-0で全善成勝つ

全善成 1-0 威興

S14.5.16

四強残る 蹴球關 東豫選

全日本蹴球選手権東豫選第三日は二十一日午前十時から青柳球場でA、B兩組の準決勝戦四試合を舉行、好晴だが風強くコンディションは上乘とはいへなかつたA組は共に一方的試合で慶大B、R、B、明大の壓倒的勝利となりB組は立大が落した一點を奪還し切れずOB中心の早大W、Wの前で敗走し東大對慶大はまた接戦を演じた末に東大が勝ち残つた

| | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|-------------------------------|---|--|---------------------|
| 【慶大】 澤川堂木野尾井井岡山水 GK FB HB FW 3 3 23 | 【商大】 吉荒二鈴早堀金松尾清 GK FB HB FW 3 3 23 | 【慶大】 田川崎池中原崎崎崎崎 GK FB HB FW 4 3 8 | 【慶大】 津石大尾田室藤播二小渡 明大 8 5 3 1 0 1 YOS大 | 【慶大】 井正村 田坂 武櫻 林 藤 李 成藤 伊 等佐中 吉穂 佐富 小 GK FB HB FW 4 3 23 | 【明大】 勳中秀不 内岡田木水 池島 島島南 竹片山鈴瀧 中田中中 4 3 6 | 【早大】 早大 1 0 1 0 0 W M W | 【立大】 石本崎谷野田上 田仁島 白岡岡崎内武井 植今田 GK FB HB FW 4 2 13 | 【早大】 田田野野原田良納本兄弟 茂茂 GK FB HB FW 4 3 15 | 【早大】 島新矢笹立村蝶加川加加 |
|--|---|--|---|---|---|-------------------------------|---|--|---------------------|

二十一日の運動

| | | | | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 東大 2 1 1 0 0 0 慶大 | 家邊塚水谷田屋部上岐野 | 大渡大酒三堀大服井赤藤 | 田田山石山部泉木谷櫻谷 | 吉原大力橋長地真第大大 |
| OK FK QK | OK FK QK | OK FK QK | OK FK QK | 6 3 6 |

蹴球(東海學生トーナメント) 勝
 濱松高1 3 2 高島工
 (關西學生トーナメント) 勝
 關學3 1 1 0 1 1 神高大
 S 14.5.22



◆「大阪電 話」關西蹴球 協會の昭和十 四、五年度役 員は次の通り 決定發表された

【會長】安宅彌吉【副會長】神田 清雄【參與】玉井、北村、山中 上野、竹田、水谷、佐竹、木村 吉田、尾城【評議員】高田、田 邊、長井、津田、鎌田、杉村、 平木、大谷、赤川、後藤、青木 牧、奥野、清水、藤田、竹村(理 事)高田(主)長井(會計)大 谷、津田、市橋、今川、赤川、 後藤、清水

S 14.5.19

二十日の運動

蹴球 全關西學生トーナメント (準決勝)

| | |
|--------------|----------------|
| 關學 3 0 0 神高商 | 神商 大 1 0 0 大商大 |
| S 14.5.21 | |

街のゴールで磨く

少年のドイツ魂

蹴球熱全國を風靡

信通ツ一ポス逸獨

之直米久 グルブンハ在

ドイツを訪問する人は、街上と野外とを問はず、猫の額ほどでも廣場さへあれば、砂に塗れ泥を蹴立て、ボールを追つかけて廻してゐる少年たちの姿に驚かされるであらう。羨しい。ことには都會のいたるところに子供たちのための遊戯場が出来てゐることで、そして、その子供たちの遊びは殆ど

どきまつた様に蹴球だ！ ゴールの立てゝあるところもあるが、なければ旗を立てたりまたは軍に上を両側におくだけでゴールに代へ、顔中を砂だらけにし膝小僧に血を滲ませた頬べたの眞紅なゴール・キーパーが頑強つてゐる。相手方がシュートをすればこのゴール・キーパーは必死にボールにとびつく。ゴールを割られようものなら世にも深刻な顔で歯をくひしほつて考へ込む。しかしやがて再び「今度こそは」といふ意氣で守りにつく。かくてドイツ人のいはゆる「旺盛な蹴球がかくもドイツ人の間に廣く

る攻撃精神と強固な團結心」が子供のうちから蹴球を通じて培はれて行くのだといふ。ドイツにおけるスポーツは水陸氷雪のいづれを問はずあらゆる競技——不思議に野球だけが唯一の例外とでもいふべく少しも行はれてゐない。そのみか一般の人は名さへも知らぬ——が行はれ、皆それづくに國內的にも國際的にも立派な役割を果してゐるが中でも蹴球がわが國における野球の役割をつとめてゐる。何故に蹴球がかくもドイツ人の間に廣く

愛好されるかといふ事はわからない。しかもこれは大戦後の現象の由である。蹴球熱といふかゲイムの様式がドイツ人の好みに投じたといふことも見逃せまいしまた一つには大戦後の疲弊した國民體位の向上を、切りつめた經濟の中から進めて行くには金のかゝらぬ運動であることも必要であつたらう。いま一つにはすべての目標となるイギリスが世界一の蹴球國であつたこともドイツ魂を蹴球に頼り立てた拍車の一つとなつたとも考へられる。蹴球好きのドイツ青年に尋ねて見たら「まあさうだらう、然し何故にフットボールが好きかときかれたつて、理窟なんかないよ」との答へだつた子供の遊戯場をやつてゐた連中がB・A(突撃隊)やS・B(親衛隊)のユニフォームを着るころになると、この青年達はそれそれクラブに入つてその所屬蹴球場で練習を始める。シーズンが

近づけば、新聞のスポーツ欄はその大半は蹴球記事のために割くし各蹴球場にはファンが蟻集し、土提畔に花が咲く。肉屋の小僧さんが自轉車をおつ放り出したり、酒屋の樽拾ひが空瓶の籠をそつちのけで練習に見入つてゐるといふ風氣には洋の東西に其差を見ない。こちらの新聞は、日曜は夕刊と翌朝刊を休むが、その代り月曜にはスポーツを主とした號外を出さるものが多い。月曜の朝これを見るのはサラリーマンや學生、勞動者たちの樂しみの一つといつてもいい。「筆者久米氏は五二高のハードルの選手」

二十三日の運動

◇蹴球(關東大學豫科リーグ)
早 高 0-1 慶大豫科
S 14.5.24

廿四日の運動

◇蹴球(關東豫科リーグ)
慶大豫 7-3 法大豫
S 14.5.25

先づ十七州に始り

全國爭覇戦に到る

華々しい蹴球繪卷

獨逸スポーツ通信

在ハブンケル 久米直之

フを通じての交際は極めてよく行はれてゐる、われれくに取つて最も羨ましい「地の利」だといへよう、目下のところドイツ人は、**對伊戰**を最も重視してゐる、イタリヤが世界最強の蹴球

シーズン中に殆ど毎週といつていくからヨーロッパのどこかで**國際蹴球試合**が行はれてゐる、従つて、最近の如き實際事情の中にあつても、各國民のスポーツ

國であるし、かつ、防共機軸の特殊關係も手傳つてゐる、従つて三月二十六日の日曜日にイタリヤのフロレンツで行はれた**對伊戰**に三對二で敗れた時の新聞の情氣方はなかつた

ろである、全國を十七州に分ちその各州に最高リーグとして州リーグといふのがあつて各チームがこれに屬する

ドイツ

のスポーツ界が日本とちがふ一番著しい點は、その中心が學生になくして一般にあるといふ點である、如何なるスポーツでも學校以外のクラブが中心をなしてゐて、學生の有能の士もこれに屬してゐる、この州リーグの下に各州にまた數個の小リーグ（これをシユタツフェルと呼んでゐる）があつて、毎年州リーグの最下二チームと各シユタツフェルの優勝クラブ中から勝ち残つた二チームとが入れ代ることになつてゐる、各リーグはクリスマスまでとして前後二回のリーグ戦を行

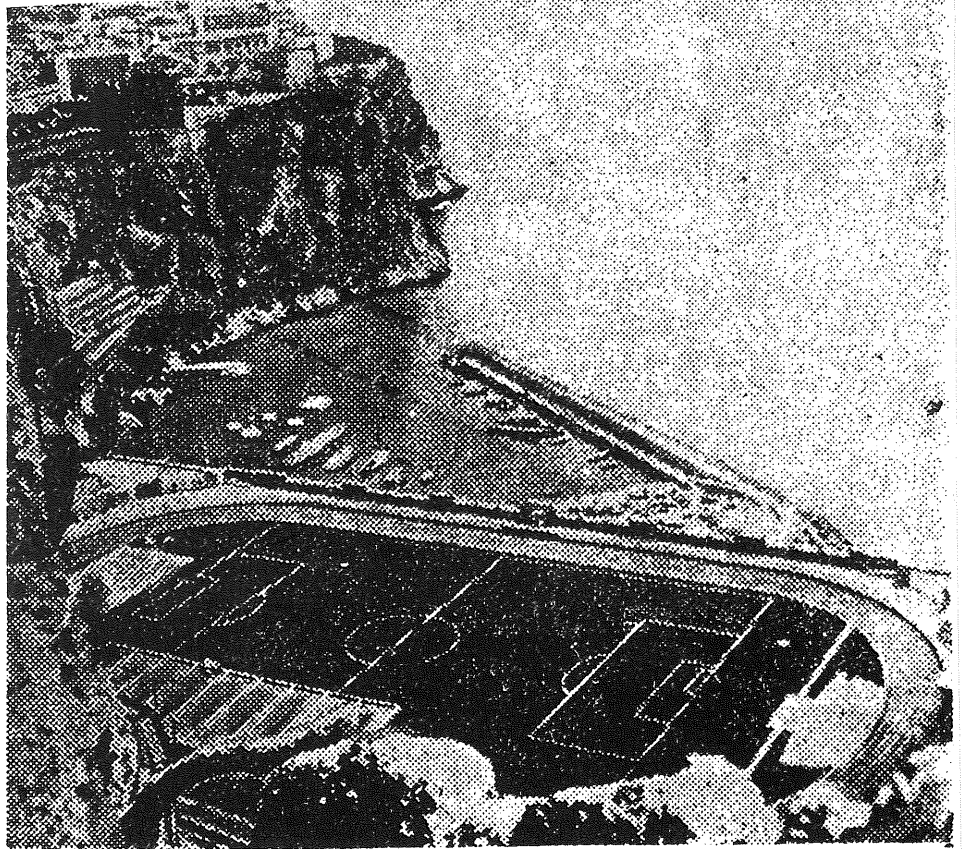
ひ、勝二點、引分一點、負零點として通算し、優勝者を決定する、この州リーグ優勝チームは大體三月中に決定し、四月に入るといふ以上全國爭覇に入ることになる

十七の州優勝者を更に四組に分ち、各組内で四月第一週より毎日隔、祭日に各二回のリーグ戦を行ひ、組の優勝者を選出する、かくて最後にこの四チームをベルリンのオリンピア・スタディオンに集めて、最後の覇者の決せられるのが五月の中旬である、たゞ今は既に州代表が決り去る二日の日曜から組リーグ戦が開始されてゐる、昨年度全國の覇者ニーダーザクセン州リーグのハノーヴァ九六は既に州でVFLオスナブリュックに敗れ去つて代表権を逸した、十七州中昨年につゞいて代表権を取つてゐるのは六チームに過ぎず

他の十一州は新チームと代つてゐる、殊にベルリンを中心とするクルマルク州では今年小リーグから昇進したのブラウバイス・クラブが奮戦よく州代表者となつて異色を見せてゐる

果して

何州の代表者が全國の覇を唱へるか、ハンブルグのHSVか、VFLオスナブリュックか、はたまたヴェストファーレンのシヤルケ04か、或は新加入州オストマルク（舊オストリヤ）のアドミラヴィーンか、この一ヶ月半ドイツ國內の蹴球ファンは血を沸かして見守つてゐる、オストリヤのことが出た序で、ドイツ領擴張がドイツスポーツ界に如何に影響したかといふことに就て纏れるのも興味あることであると思ふし、既にテニスのメンツェルらはズデーテン・ドイツ人として昨冬來盛んにドイツを代表して戦つてゐることは衆知のことだが大分長くなるから、また筆を改めて書くことにし、「ドイツスポーツ通信第一報」の筆を擱くことにする



早大蹴球部仙台へ
 大蹴球部不敵主將以下十五名は全日本蹴球選手権出場の関東地方推薦代表として二十八日仙台で舉行される第一次戦に東北、北海道代表東北帝大と對戦するため二十六日午後十時二十分上野體育場列車で仙台に向つた

S14.5.27

北京蹴球軍勝つ

京廿七日日露同盟日露華三國交際競技大會を目指して精進を續けてゐる北京蹴球チームは廿一日午後六時から北京先農壇運動場で在京最強チームといはれるイタリア軍と國際蹴球戦を舉行、北京蹴球チームは終始試合を優勢にすゝめ3-0でイタリア軍に快勝した

北京 3-0-0 イタリア軍

**最小國モナコに
これは大競技場
地中海に面して建設**

○モナテ・カロロの國立大賭博場で有名な世界の最小國モナコ公國が今度莫大に示すやうな大競技場を建設した、地中海に面した西海岸の大岩壁の上に岩を掘抜いて造つた豪華グラウンドで世界の眼をあたと眩らせてゐるがしかしモナコ國の人口二萬五千人から見ても出場選手の人數を揃へるだけでもちと無理な話だし、さてこの大競技場を如何に使用するつもりか

○こゝで人生最後のさいころを振つておさらばする不運命者の後始末と備供養に困つてゐながらスポーツ人に招きの手が伸びるとなると祝つていゝやら悔んでいゝやら考へさせられる

○冬が十度、夏が二十五度、平均温度十五度といふ好遊樂、避暑地だけにこの競技場は陸上競技には理想的だが肝腎のフットボール試合ではちつと暑過ぎないだらうか

二十七日の運動

成 5-3 成 城
 S14.5.28

**蹴球關東代表
決る**

全日本蹴球選手権大會關東代表選考日は二十八日午後一時から小雨ながら蹴球日和に思まれて青山師範球場で決勝日初に思まれて青山師範球場で決勝二試合を舉行、B組の東大對W.M.W.は接戦に終始して東大が勝ち、A組は最強陣を布いた慶大B.R.B.の一方的試合となつて明大は潰滅し結局東大と慶大B.R.B.が關東代表として来る六月行はれる全日本選手権大會に出場する事となつた

東大と慶大B.R.B.

早大、東北大に勝つ
 「仙台電報」第五回全日本蹴球選手権大會早大對東北大(東北、北海道代表)の第一次戦は二十八日午後三時十五分二高球場で東北大先陣に開始早大勝つ

早大 4-2-0-0 東北大

【早大】
 破谷田宅岡村 島邊橋林
 不米肝三末西 川渡高中
 GK FB
 GF HB FW
 部田 田内岡田岡部藤勝
 色相 島山福本志岡佐爾
 【東北大】
 11 3 5
 2 12 20
 CK FK GK

二十八日の運動

◇蹴球 (關東賽大リーグ最終日)
 千葉大 2-0 慶大 1-0 千葉大
 大3勝の益大 2勝1敗 慶大 1勝2敗 日大 大全敗

S14.5.29

【慶大】
 GK FB HB FW
 津石大尾田笠藤播二小渡
 8 4 12
 CK FK GK

【明大】
 GK FB HB FW
 池不(中) 島田(島) 島田(島) 米山竹輪
 3 4 14
 CK FK GK

【東大】
 GK FB HB FW
 吉原大力 横長大直 菊大大
 6 2 13
 CK FK GK

【W.M.W.】
 GK FB HB FW
 田西野野原田良納兄本注
 6 1 17
 CK FK GK

【A組決勝】
 慶大 10-5-0-0 明大
 B.R.B. 5-1-0-0 大

(小長谷、粉川、宮本三君審判)
 大田川崎池中原輪磨戸畑邊
 津石大尾田笠藤播二小渡

東京府中等低 等學校體 育協會主 辦、府下中等學校低等學年蹴球選手 權大會は四日を第一日として十、 十一の三日間に互り青師球場で行 はれるが組合せは左の如く決定し た。中學校は三年生以下、師範學 校は二年生以下といふ制限で編成 されてゐる

◇第一回戦(A)九中對府高等
(4日10時)◇第二回戦——五中
對豐師(4日11時15分)東高等
對青學中(4日零時45分)成城
對獨協中(4日2時)青師對
A勝者(4日2時30分)

三十一日の運動

◇蹴球 關東豫科リーグ
拓大豫 3 2 1 0 0 0 法大豫
慶大豫 2 0 2 0 0 0 商大豫

S14.6.1

二日の運動

◇蹴球(關東大學豫科リーグ)
早高 3 1 2 1 0 1 1 明大豫

S14.6.3

新制度・全日本蹴球

全日本蹴球選手權大會は従来の體
を破つて新しいシステムの下行
はれる事になつた
二十八日仙台において行はれた
東北、北海道代表東北大と早大
の戦、金澤において行はれた
北關東海代表四高と關西學院大

東大、早大引分け(蹴球)

来る九日から開かれる全日本選手
權大會の關東代表となつた早大と
東大の蹴球戦は三日午後三時から
東大球場で西松君審判の下に東大
先陣で開始、一対一で引分けた、
東大 1 0 1 1 0 1 早大

【早大】 破谷田島(商村) 邊橋林
不米莊川(末西杉鴉渡高中) 3 2 8
GK FB HB FW CK FK GK
田田山石山 部屋木池磯島 3 2 1
吉原大力 横長大直菊大有 1 1

S14.6.4

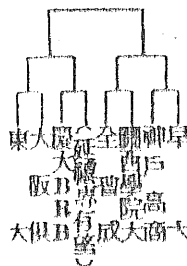
學の試合の如きは新しいシステ
ムによつて早大、關學が選征
て試合したものであり従来の選
手權大會の第一回戦と見做され
るものである
これによると地方の啓蒙、レベル
の向上に裨益するところ極めて大
きく六月九日から三日間に互り東

四日の運動

◇蹴球(東京中等低等學年大會第
一日)
府高 3 1 0 0 府九中
府五中 1 1 0 0 豐島師
東高 3 1 0 0 青學中
獨協中 1 1 0 0 成城師
(關東醫藥科リーグ)
日 齒 6 2 東 樂
東 醫 4 0 東 齒
(關東大學豫科リーグ)
立大 7 2 5 0 0 0 法大
慶大 6 5 1 0 0 0 拓大

S14.6.5

京に於て行はれる選手權大會には
實力に伸した八チームが集まり名
實共に備はる選手權大會といふ事
にもなる。中國九州代表と朝鮮代
表延福專門の試合は豫定されてゐる
ので東京に集まる全代表の決定は
見ないが六月一日迄の戦績を觀べ
ると組合せは次の如くである



早高優勝

關東大學豫科
蹴球リーグA
級最終日は五日午後三時半から東
伏見早大球場で早高對商大豫科の
試合を舉行、早高が八對一で勝ち、
結局A級では早高三戰三勝で優勝
以下慶大豫全敗の成績となつた
二敗、商大豫全敗の成績となつた
早高 8 6 2 0 1 1 商大豫

S14.6.6

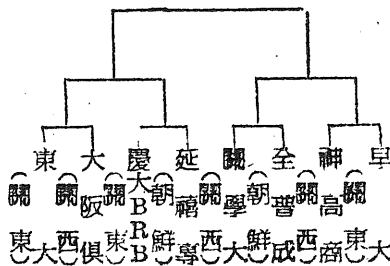
問題は朝鮮二代表

豫断許さぬ普成對關學、延禧對慶大

全日本蹴球大會前記

大日本蹴球協會主催、第五回全日本蹴球選手権大會は九日から三日間明治神宮外苑競技場で舉行される、今大會から地方の密着を意圖し新システムによる試合方法を採用各地方において第一次戦をそれぞれ完了し、難關を突破した強豪八チームによつてここに全日本蹴球界の覇者決定の豪華試合を次の組合せによつて行ふことになつた

早大 對神戸高商の試合は神高商は今年中等球界から多數の



優秀選手を得て大いに張り切つてゐるから早大が若し調子を下さやうなことでもあると思はぬ

苦戦を招かないとも限らぬが、しかし大局から見れば早大の制勝は動かすべくもない

全普成對關學大の試合は物凄い追撃戦に終始するものと豫想される

全普成が好調なスタートを切れば關學は所詮苦戦をまぬがれないからこのところ關學は大いに警戒を要する、關學はどちらかといへば守備よりも攻撃に強いチームであるから得点の可能を認められるが、若しバックスが全普成の執拗

な攻撃につぐ攻撃に見舞はれるならば關學の陣容は憂色に包まれるものと見なければならぬ

つきに行はれる延禧專門對慶大B R Bの試合は全普成對關學大の試合に劣らざる熱戦が繰り出される事であらう、延禧は昨年この大會では全延禧チームとして出場したが、對早大の準決勝戦で同點延長の末幸運に見放されたものであつた、第一次戦においては中國、九州代表の興文俱を6-0のスコアで軽く一蹴し相當堅固な陣容を誇つてゐるから慶大とて安閑たるわけには行かぬであらう、もちろん慶大の攻撃面は相當素晴らしい得点決定力を有してゐるから或ひは延禧の上を行く實力を有するものと見られる、殊に慶大は遊撃の地の利を持つてゐるから總和力を高度に發揮するならば慶大に勝利が微笑みかけることであらう、何れにしても両チーム共に油断の出来ない一戦である

試合日程

- ◇第一日(九日)入場式(正午)
- 早大對神戸高商(0時30分) 全普成對關學大(2時) 全延禧對B R B(3時30分) 大阪俱對東大(5時)
- ◇第二日(十日)敗者戦二試合(0時30分) 準決勝二試合(3時10分)
- ◇第三日(十一日)七、八位決定戦(0時30分) 五、六位決定戦(1時50分) 三、四位決定戦(3時10分) 決勝戦(4時30分)

早大、東大の準決勝戦進出は豫断出来るが全普成對關學、延禧對慶大の二試合の勝者は容易に断定を下し得ない伯仲に置かれてゐる、朝鮮の二代表が若し勝利を握めれば體力および蹴力にものをいはせて全普成か或ひは延禧が決勝戦へと奮進することにならうが、慶大が延禧を降せば慶大に優勝の色が最も濃くなる、だがこの間にあつて伏兵早大、東大の兩大學がどんな役割を演ずるか、これまた注視を怠るわけにはゆかない

大阪

俱對東大の試合は東大に氣力不足との噂が立てられてゐるが、しかし大阪俱は相當練習は足りてゐるとはいふものの東大の現役チームに對しては體力的に引け目を感じずには置かぬであらうから大阪俱としては好調を持せざる限り大阪は東大に有利に傾くものと思はれる、かく見來たるとき

なほこの選手権大會は敗者戦も持つてベスト八の順位も決定することになつてゐるからここに興味がつながれてゐる(三宅一郎)

關東二代表準決勝へ

全日本蹴球選手権【第一日】

第五回全日本蹴球選手権大会第一日午後九時正から神宮體育場で開かれた關東の準決勝のため、西日で入場式を挙げて行われた。

深澤監督の指導に一つは明治神宮、官成の指揮、皇軍将兵の士氣運長久新願、戦術精士の組織を磨りなく終って早大不敵王府から藤樹林の活躍、官成をなして式を閉じた。

S14-6-10

早大 大 6 5 1-0 0 神高商
石井三三

早大 大 6 5 1-0 0 神高商

早大 大 6 5 1-0 0 神高商

◇あらゆる點で一日の長ある早大の勝利は順當であつた。然し早大も前半は重い球をこけるグラウンドに球が動かす。25分左コナーからL渡邊のセンターリングを米谷がクリムゾンシュートするまでイルドで進撃を續けた。

◇後半に入り早大は見違へるやうな元氣で攻勢に出た。6分左コナーから末岡の好パスを米谷へツティングして右隅を破り渡邊の7分ゴール前の混戦から渡邊のシュートきまつて試合を決定的とし更に10分渡邊から中林、高橋と渡り高橋のクリムゾンシュート成り。16分ゴール前混戦から一點を拾ひ。22分米谷がクリムゾンシュートして快勝を博した。神高商のFW線は横の連絡目立つて速くLI壁山は左右に倒つて奮戦したがこれが却つて勝つてゐた。しかも突っ込みが足らず早大バックスの好

【全善成】

早大 GK FB HB FW 4 0 11 0
K K K K K
O F G P P
1 5 1 6 1

井家田 野本島園
中六宮田中那中西松田

脚となる事が多かった。早大の好調は準決勝戦に於ける全善成との善闘が期待される。

全善成 4 3 1-0 0 神高商
石井三三

◇全善成は體力とスピードで關東を破り、前半▲1分キックオフを持ち込んでOL黄のシュート決定。先攻、その後全善成、盛んにチャンスを作つたがシュートに際して球を持ち過ぎて失敗し關東も関野、田島の内インナー・L田邊等の好戦で好戦を得たがゴールゲッターなく得点とならず。

◇後半に入り全善成は體力に物を言はせて終始關東を押し▲11分ゴール前混戦からRI李のシュートで一點を加へ關東は▲14分PEを得たが凡戦に終り▲22分善成又もゴール前混戦からOF金のクリムゾンシュート成つて試合を決し更に▲33分ORも左下隅に好戦してゴールを得快勝した。善成がゴール前で少し球を持ち過ぎる事なくシュート出来れば尚得点の機会があつたであろう。フリーになつてからシュートする事を逃つてゐたのは拙い。關東が不運につきまとはれ乍ら無得点に終つたのは惜しまれるが最後までバックスが死闘を續けたのは賞讃に値する。

【慶大先】

慶大 大 4 3 1-0 0 延門總
B B B B 3 1 0 0 0 延門總

◇雨を比喩に海軍のハッとしてクラ

ワンドコンデイションは良好となり試合はオープンに展開。スピードに好試合が行はれた。前半▲13分慶大RB石川のロングパスを小畑へツティングし、これをCF二百受け、先攻。

◇後半戦直後延門總攻勢に押しなからコントロールなくシュートが射撃で再三好戦を逸す▲22分慶大FWフワーツ小畑、渡邊、篠崎と渡り、篠崎クリムゾンシュートして2-0と引離す▲29分慶大ゴール前にPEを得小畑のキックは、ハイに當つてはね返りゴール前の混戦から二宮のシュート成る、其後延門再三チャンスを送り慶大のタイムアップ直前二宮のロングシュート成り慶大の快勝となる。延門總の敗因はFW線が足遅く即ち興味

◇○Bと現役の對戦であつたが球は終始大阪陣内にあり、東の大勝に歸した。前半▲21分東直木のシュートをG中村捕入が滑つて轉び轉々する球を大池の一点を拾ふ▲26分東大池ゴール中央から軽くひつたればゆるく流れて左隅に入る▲分有馬ゴール前混戦から軽く決て又も一點を加へる。

◇後半▲6分東大屋のセンターリングからゴール前混戦となる。直木決り▲10分大屋からの好送球を大鏡へツティングで決める▲分大屋クリムゾンシュートし高い▲29分有馬▲31分大池とロングシュート成つた。結局若さとFWユニット成つた、結局若さとFWの勝れたコンビネーションを持つ、東大陣の躍進にかかせぬ力を、た大阪直は反撃の機会を逸し勝つて一方的な試合に終つた。(天藤朝)

のある慶大バックスに倒され其の上折角のチャンスをも生かす得るゴールゲッターの居ない事にあつた。

【(内)空成】

延門總 GK FB HB FW 19 2 15
C K K K
O F G K
4 6 14

大田川島 中沢 藤嶋 吉松 旭 橋本 加高田 斎藤 橋本 二小



神高商ルーゴ前の戦接 (午前大早對)

【大阪俱】

神高商 GK FB HB FW 0 3 23 0
C K K K
O F G K
6 4 16 0

吉原大 吉原大 吉原大 吉原大

東大 大 8 5 3-0 0 大阪俱
石井三三

◇東大先鋒、審判高田忠、西川

◇全善成は體力とスピードで關東を破り、前半▲1分キックオフを持ち込んでOL黄のシュート決定。先攻、その後全善成、盛んにチャンスを作つたがシュートに際して球を持ち過ぎて失敗し關東も関野、田島の内インナー・L田邊等の好戦で好戦を得たがゴールゲッターなく得点とならず。

◇後半に入り全善成は體力に物を言はせて終始關東を押し▲11分ゴール前混戦からRI李のシュートで一點を加へ關東は▲14分PEを得たが凡戦に終り▲22分善成又もゴール前混戦からOF金のクリムゾンシュート成つて試合を決し更に▲33分ORも左下隅に好戦してゴールを得快勝した。善成がゴール前で少し球を持ち過ぎる事なくシュート出来れば尚得点の機会があつたであろう。フリーになつてからシュートする事を逃つてゐたのは拙い。關東が不運につきまとはれ乍ら無得点に終つたのは惜しまれるが最後までバックスが死闘を續けたのは賞讃に値する。

早慶決勝戦へ進む

普成、早大に抽籤敗

全日本蹴球
第二日

全日本蹴球連盟主催の全日本蹴球大会第二日は十三日午後三時から明治神宮野球場で、普成と早大の決勝戦が行われ、普成が二対一で勝利した。試合は普成の大不意な一戦を演じて延長戦に入り結局普成が三対一で勝利した。延長戦は午後三時十五分から早大が普成の専門の試合を以て開始し普成を先取すれば早大も得勝機を巧に掴んで同点とし後半兩軍無得点で遂に延長の熱戦を展開し、2-2の同点となり遂に抽籤の結果早大が勝ち、引續いて行われた慶大と早大の決勝戦は、早大の勝利となり、けふの決勝戦は關東代表の早慶兩チームによつて行はれる事となつた、コンデイションは快晴で良好であつた。

普成はバックスは早大FWの出足をガツチリと封じて味方FWの攻撃を擁護し試合開始後から球は殆ど早大陣で動き、10分頃迄に普成は三度CKを得、14分にはOR禹からのパスをCF金ヘツディングしてバーを越し更に20分にはCF金左ホストへあてるなどあり普成優勢に試合を進めた。其後早大は一寸普成陣を襲つたが又も普成の攻撃となり、29分RH李の左へのロングパスをOI禹ダイレクトでゴール前へ返せば球はそのまゝ、ノータッチでゴール、34分早大は右から攻め普成LB朴カットし損じるを中村ひつかけ無難作で得点し同点となつた。

後半戦の初めは早大の末節を中心とする三B線は普成の攻撃をこく讀して普成に近い試合を進めたがFWの線列は、普成が無為に終る裡、8分頃から形勢は又も普成の優勢となり、OL黄のシュート、13分RB朴のロビングはバーに當る等早大は苦戦を續けた。普成は31分黄のゴール前からのシュートあつたが無理な體勢の爲ゴールアウト。その後兩軍共に得点なく延長戦に入る。

普成攻撃の手をゆるめず、早大は14分前線から中線のパスはゴール前で一寸もつれ漏れた球を米谷フリー、シュートしよく決め貴重な得点を挙げた。試合はそのまゝ終るものと見られたがタイムアップ直前普成金(容)のロングシュート見事に決つて、こゝに又も同点となつた。抽籤の結果早大が勝ち残る。

全試合を通じて普成は圧倒的優勢を示し乍らFW線があまりにも個人技術に頼り過ぎた爲廣への聯絡に抜けゴール前では相違なパスを繰返すのみで膠着状態を逸してゐた。早大は普成FWの無聯絡に救はれた形であつたが末節を中心とした三B陣の忠實な演しは殊に價する。

東大先鋒審判小長谷、小林、福島三君。

風上に陣した慶大はRB及びIR陣等のキープから矢張り早に東大を攻め7分IR小畑のシュートで早くも先取点を挙げ、その後依然優勢を續けたがFWの突込み足らず、17分には後陣のシュートはバーの上を直に越える不運などにチャンスを通してはゐたが27分小畑、橋本、二宮と廻して決めるに30分二宮のシュート決り三点を奪つた。

この間東大のチャンスらしいものは19分慶大ゴール20ヤード前線までFWを得たのみで、東大は全く慶大の陣下で置かれる不振であつた。

後半に入つてから慶大は氣を緩めた爲か前半に示したほどの鋭さなく、攻めては東大バックスの好餌となり或はシュート定まらず得点機から見離されてゐた。一方東大はこの隙に乗じて五歩に近い攻撃を見せ18分大谷から捌いた球をOR大原更にセンターリングすれば大谷、大畑揃つて飛込み遂に一点を返した。

その後慶大は24分IL小畑のシュートで更に一点を加へたが兩軍ともに氣力に乏しく凡戦裡にタイムアップとなり結局4-1で慶大の優勝となつた。

實力一段と上位にある慶大の制勝は當然な歸結であつたが慶大が前半二点を占めて大勢を決して終つたためか後半戦の内容は頗る貧弱なものであつた。東大は落境にありながら一点を挽回し劣敗からまぬかれたのはせめてものなぐさめとするに足りようが、しかし各線とこといつて強味を認めることが出来なかつた。(三宅一郎)

敗者戦二試合

| | |
|-----|---|
| 關東大 | 3 |
| 延慶専 | 5 |
| 神高等 | 2 |
| 大阪信 | 0 |

S 14-6-11

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成(容) 永(東) 塚(正) 7 2 9

早大(容) 永(東) 塚(正) 7 2 9

抽籤勝 2 1001 1001 2 全普成

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。

普成先鋒、審判竹内、八田、粉川三君。



早大ゴール前の接戦 對普成前哨

早大ゴール前の接戦 對普成前哨

十日の運動

◇蹴球 關東中等低學年大會

青 師 4—1 府高 轟

△關大主催全國中等大會第一日

(一回戦)

市 岡 中 5—0 京 阪 商

甲 陽 中 1—0 住 吉 中

生 野 中 3—2 岸 和 田 中

神 戶 一 中 3—2 瀧 川 中

S 14.6.11

青山師範連覇 第二回

東京中等低學年蹴球 東京府

中等學校低學年蹴球選手權大會第

三日は十一日午前十時から青師球

場で舉行、青山師範が連續優勝し

た

◇準決勝

青 山 師 1—0 府 五 中

東 高 尋 3—0 獨 協 中

◇決勝

青 山 師 2—0 東 高 尋

十一日の運動

◇蹴球 (醫藥界リーグ)

東 齒 7—0 東 藥

S 14.6.12

慶大選手権を獲得

早大と延長の大接戦

全日本蹴球選手権大会最終日は十日明治神宮競技場で舉行、雨天ではあつたが、グラウンドの状態は良好であつた、試合は午後零時

半から行はれた、早慶の決勝戦は2対2で延長戦に入り両軍必死の攻防に慶大も決勝点をあげて本年度全日本選手権を獲得した、斯くて新制度による順位は慶大、早大、全善成、東大、全延福、關學大、大阪俱、神戸高商の順となつた

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 破川田宅商村谷 橋邊林
 不石野三末西米 高渡中
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

ニートはゴールをオバーし、40分三宮のロング・シュートは不敵の美技にさまたげられる等あつたが慶大の攻撃は頼りた

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

は小畑、二宮と早大ゴール前で球を廻せば二宮二、三歩ドリブルしてロング・シュートを敢て慶大遂に決勝の一点を加へた

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

た、試合全盤に流れた経緯をたどるならば辛勝した慶大が遙かに優勢で勝利は先づ落ちつくところに落ちついたものと見られるがこの苦境をよく持ちこたへた早大バックス殊にCH未岡、LB莊田、GK不破などの好守備は早大善闘の因を作つた殊動者であつた、又攻撃面においては活躍をよく生かして巧みに得点機をつかみバックスの健闘に報いてゐたのも見逃がせない、だが両チームの技術を比較対照

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

全日本蹴球
 評郎 二宅三

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

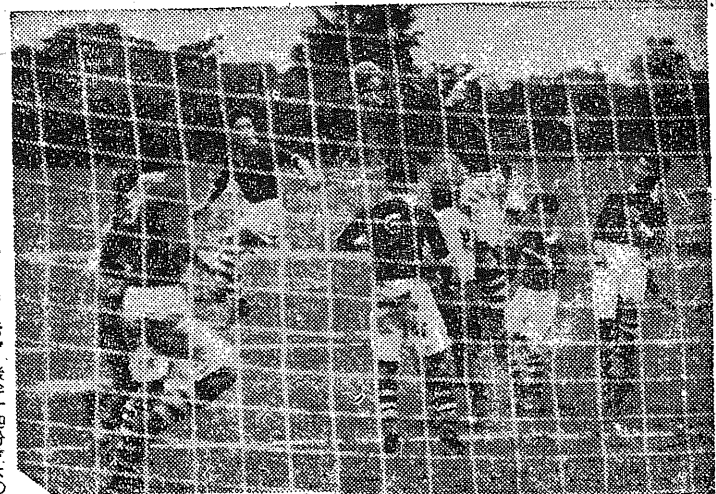
【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0



早慶蹴球争覇戦

後半十四分早大の攻撃に早大ゴールキーパーの防戦の上と優勝した慶大チーム

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

【早大】
 GK FB HB FW
 CK FK GK PK
 14 8 8 0

全日本蹴球選手権總評

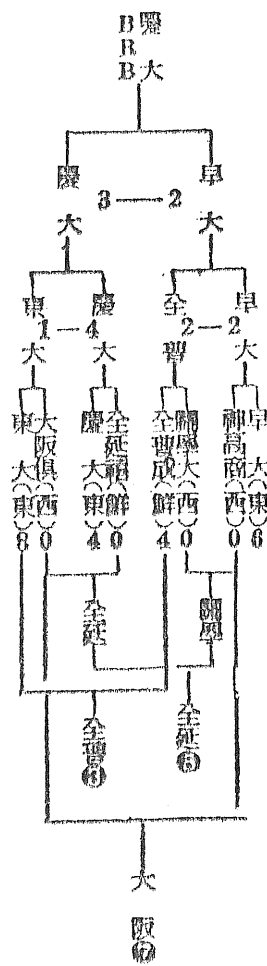
山田千郎

關學氣力に乏し

意氣で闘つた早大

新制度の下に行はれた第五回全日本蹴球選手権大會決勝は地元關東同士の對戦となり、百十分に互る稀行の熱戦が繰り出され、最後の一分に勝敗が決したといふ球史を飾る大試合によつて聲を附けた、大會は地域代表同士の第一次戦を行つた結果關東、西各三代表、朝鮮二代表となつて天下を三分し、球界の総體とその力を明らかにした。昨りが大會の結果からすれば第一回戦に於て關西三代表總退却となり、更に連決勝に於ては四強に墜つた

朝鮮と關東の二代表が落ちて決勝戦は早慶の地元代表により行はれた。この争胡のほかに一方敗者戦を行つて順位を決定したが、これ等の結果を以て直ちに現在の球界を語るは當を失してゐるかも知れない、然し尠くも三中心地方を大觀する事は出来る。



敗者 戦については後述するが、争胡戦はその第一回戦四試合においてこれと取り上げる程の好試合もなく平々凡々と進んで来た。早大は、神戸高商の如く早大が快調に立つてゐたとはいふもの、望山の動きは廣きに失した。慶あつてもこれに動きを合せ得ない未熟は徒らに早大の陣中に委する結果となり、關西に於ける名門關學大が梅園、田島、岡野中村(重)の如き技、力、意を

の相違は一方の試合に勝つては勝つべきものが勝つたといふに過ぎない、それがいづれも申合せた様に無得點試合に終つて往々に實力の相違を露したに過ぎなかつた。

關學 は按でなく力でなく意氣の乏しさに於て敗れたといふ感が深い、歴史的球史のため、かつは梅園、岡野、田島等の學生生活最後のシーズンといふ意味において不振の關西蹴球界再興といふ點からしても、慶大を倒してやまないものである、早大が連戦の熱闘を空しうしたとはいへ、實力以上の力を以て終始したその心意氣を稱讃として、抑鬱鬱するならば來る秋の光明を認め得ると信するものである。

B組農大一位 關東大學

關東大學蹴球部 豫科蹴球リーグ戦B組最終日は十四日午後三時から元住吉農大グラウンドで農大豫科對立大豫科の試合を舉行。農大豫科は2-1で勝ち、全勝成績を以てB組の一位となり、A組の全勝一位の早大と二十二日決勝を行ふこととなつた。

農大豫 2-1 立大豫

十四日の運動

蹴球
東大 4-1-00 6 成績
二軍 3-1-00 6 成績
S 14.6.15

全日本蹴球選手権總評

山田千郎

(下)

早慶血の決戦

新制度大會先づ成功

四強に残つた慶東三代表は、大東リーグの上位三校であり、しかも早慶が争つた線上に立つて争つた一事を以てして、今秋のリーグ戦は早くも期待されるものがある。

早大 は慶大の猛攻を浴びたが、用上ろしきを得た末岡、主将不勝と昨田の活躍によつて前半ゴールを死守し得た、しかも後半戦されるもの、嫌らしい反撃を原せて堂々と先取點を挙げ、この慶大も正攻法に物を言はせて

1-1となりタイム・アップ直前、審判の決定でチャンスが不確に食ひとめられる。この回の得點機を逃へ慶大の攻撃らしいものもあつたか途

に延長戦となつた

早大は反撃また効を奏し、速に出陣をたゞして再び2-1とリードした。このあたり逆襲効果の味ふべきものといふを得よう。慶大にして見ればあらゆる攻め手を用ひて攻めあぐんだ形であり、常時攻勢の體勢から守勢に轉する際の間に備ふる事の不足は研究の要がある。

攻め

慶大は延長前半に於て2-2の同點に挽回したが、斯かる結果は慶大攻め手の新味之しさといふよりも早大バックスの全力全投を傾けた血みどろの奮闘にまつたものと言へる。
3B陣を布いた早大は最もイタ

にいつてゐたといふ事が出来よ

前日の決勝戦に於て僅に一分を優すところを勝利を獲に上らずとも、慶大は早大は決勝戦に於ても由延長となる一分間に二宮のドリブル・シュートによつて、慶大に逃げ込まれてしまつた。

最後の一分をどうにも支へ切れなかつたわけである。決勝戦の場合には二宮にタックルを試みるものなく、攻撃線の力は溢き果てたと思われ、バックスの力は溢き果てたと思われ。

準決勝の九十分、今また決勝の十分と、戦日の長時間に及ぶ戦いであつて見れば、慶大に勝入られたやう

に手を供した最後の一點も、誰の責任ともいふを得ない。

一をその心算義とその健闘に對し、補償が贈られてもよい。それにしても天下の權を網羅したといはれる。

慶大

EW線は二宮の左に、り込む一手のみが目立つただけで、選定の未完成は致し方ないとして、OB陣の魂の抜けたプレイは許さるべくもない。新人に、より補強された守備線ながら力戦の未衰られる血の滲んだ球が能く効果薄となつてゐた、この慶大に早大の旺盛な意氣があつたならその時こそ天下無敵を誇り得るやうに思ふ。

敗者戦を行つて順位を決定したのはリーグ戦によつて順位を決定する程公平ではないが、試みとしては面白いものであり成功であつた。神戸高商が大坂俱に敗れるといふに至つて末位となり、關西から晉場した三代表は六、七、八の下位、朝鮮代表が三、五位で關東代表は一、二、四位を獲得した。全晋成は慶大に採

みつかつたであらうし吾等もまた希望するところであつたがこの順位は先づ公平順理といふ事が出来る。

この新制度の可否を今更いよのではないが四強を獲したところであり、リーグ戦を行つたならば、慶大の強さを懸念される事はあるがより實質的なものとなつたであらうし

公平

この上ない順位の決定が行はれたと思ふ。三、四位決定の一戦を行つてゐる事ではあり、他に早大對東大、慶大對全晋成の二試合で事足りるのである。わも一應は考へて見てもよいと思ふ。大會としては小雨に決された丈だけでコンディションも大體に於て大差なく試合内容も變化に富んでゐたのであつて見ない成功裡に終了を告げた。勳章を獲得せる慶大以下各代表ともにこの大會によつて訓へられる事が多かつたと思ふ。

これを完全に咀嚼する事により一慶大會の意義づけがあり假令敗れても代表としての面目は立つものと思ふ。

十八日の運動

◇蹴球(関西リーグ)

東 4-0 東
日 齒 7-3 東
大倉高商 2-1 伊高商

S 14.6.19

十九日の運動

◇蹴球

早 高 4-13 0-1 豊師

S 14.6.20

全國中等蹴球三 第二十一回全
地方豫選の期日

國中學校蹴球選手權大會は来る八月二十四日から五日簡甲子園用運場で全國十六地方の代表によつて行はれるが東京千葉、關東、山神、關西、地方の期日その他は二十一日關東蹴球協會から左の如く決定發表された、尙同豫選試合組合を抽籤會は七月廿二日午後三時から東日會館で行事となつた

一、參加申込 七月十五日迄に東京市芝区新橋三丁目一六番地駒場ビル内關東蹴球協會宛申込

心算

一、東京千葉地方豫選 「期日」八月六日から十日迄「球場」青山師範又は本郷中球場の豫定

一、關東地方豫選 「期日」八月四、五、六日「球場」水戸高球場

一、山神地方豫選 「期日」七月二十九、三十、三十一日「球場」横濱市(球場未定)

廿一日の運動

東大 1-10 0-0 早高

S 14.6.22

早高制覇

大學豫科蹴球

第五回關東大學豫科蹴球リーグ A、B兩組第一位の早高對慶大豫の試合は二十二日午後三時半から元住吉慶大球場で舉行、四對一で早高の快勝となり三度目の制覇を遂げた

早 高 4-2 2-1 慶大豫

【慶大】

橋村 内坂 部松 林
佐中 李 武 周 成 林
武 櫻 小 成 小
GK FB HB FW
田田野 宅本 田田 谷納
島新矢 三根 村原 片 米加

9 2 12
CK FK GK
5 1 14

S 14.6.23

廿四日の運動

WW 5-2 3-1 豊島サ

S 14.6.25

WMW(早)快勝

對東大LB蹴球

早大WMW對東大LBの蹴球試合は廿五日午後二時から東大球場で審判菊地君、LBの先鋒で舉行、雨でコンディション悪く兩軍選手とも苦悶したが後半早大はLWの加茂三三を擧げて3-0で快勝

田山石山部 櫻木池の櫻馬
吉原大 力 横長竹 直 菊(阿) 大有
GK FB HB FW
坂川野島岡村橋 本邊茂
不石矢川末西高 川渡加

5 2 10
CK FK GK
4 4 13

早大

S 14-6-26

全日本蹴球候補
三十二名を選抜

三國競技の中より出場

大日本蹴球協會では常時選拔を目的とし全日本代表選手候補を決定し常に技能並に精神鍛錬を行ひその強化を計ると共に蹴球界一般に對しては第一線選手の標準及び行き方を示して來たが昭和十四十五年年度候補選手として左記州二名を選抜二十九日發表した、常に備へるを目的としたため必ずしも國際試合を豫定しなかつたのであるが今回は九月日韓華三國交際競技會があるのでその代表選手は更にこの内から合宿中に選ばれることになり、八月六日から十八日までの合宿練習(東京、宿舎此に左の如し)

- ◇GW 不破整(早大) 津田幸男
- ◇(慶大) 岡本純一(京大出)
◇HB並にFB 菊池安(東大出)
大山政行(東大) 加藤嗣夫(慶大) 朴善積(普成出) 金谷植(普成出) 李裕澄(延福出、成興)
末岡國孝(早大) 高島良輔(慶大) 笠原隆(慶大) 関内大(普成) 田邊信彦(關華) 中島秀夫(明大) 玄孝愛(普成出) 朴利鶴(延福)
- ◇FW 金成牙(延福出) 徳輪三郎(慶大) 播磨幸太郎(慶大) 直木和(東大) 阿部榮夫(東大出) 二宮洋一(慶大) 高橋英辰(早大) 川本泰三(早大出) 小畑實(慶大) 渡邊義清(早大) 金喜守(成興) 加茂正五(早大出) 韋恩德(延福出) 渡宗鶴(早大) 小野禮年(京大出)

◇早大WMW蹴球俱樂部上級監督以下十七名は二十九日午後十一時東京驛發列車で朝鮮遠征の途に就いた



S 14.6.30

WMW敗る

對全延禧蹴球

【京城電話】WMW(早大俱)蹴球團の來鮮第一戰である對全延禧戰は三日京城グラウンドで舉行、WMWは優勢氣味で5-1で惨敗全延禧5-1 WMW

S 14.7.4

高専校の蹴球大會

【仙台電話】本社は後援第一回北日本高専蹴球大會は十四日東北市大球場で第一回戦を舉行

| | | | | | |
|----|---|----|----|---|-----|
| 東北 | 2 | 20 | 10 | 1 | 山形校 |
| 學院 | 2 | 20 | 00 | 0 | 高弘校 |
| 醫學 | 2 | 20 | 00 | 0 | 高弘校 |
| 高工 | 2 | 20 | 10 | 1 | 北大豫 |
| 高生 | 2 | 20 | 00 | 0 | 高商 |
| 商大 | 3 | 12 | 00 | 0 | 高商 |

S 14.7.18

北日本高専蹴球第二日

【仙台電話】本社は後援第一回北日本高専蹴球大會第二日戦は前日に引續き十五日午前十一時から東北大グラウンドで舉行

| | | | | | |
|----|---|------|------|---|-----|
| 東北 | 4 | 22 | 00 | 0 | 二高 |
| 學院 | 4 | 22 | 00 | 0 | 二高 |
| 醫學 | 5 | 23 | 10 | 1 | 高桐工 |
| 高工 | 5 | 23 | 00 | 0 | 高桐工 |
| 商大 | 3 | 2100 | 0000 | 0 | 陽和 |
| 醫學 | 5 | 14 | 00 | 0 | 陽和 |
| 東大 | 5 | 14 | 00 | 0 | 陽和 |

S 14.7.16

北日本高専蹴球第三日

【仙台電話】本社は後援第一回北日本高専蹴球大會第三日の準決勝は十六日午後一時から東北大球場で舉行、仙台高上、東京醫學が勝つ

| | | | | | |
|------|---|----|----|---|-----|
| 仙台高上 | 1 | 10 | 00 | 0 | 東北北 |
| 東京醫學 | 4 | 31 | 01 | 1 | 商大專 |

S 14.7.17

東醫初の制覇

【仙台電話】本社は後援第十回北日本高専蹴球大會東京醫學對仙台高工の決勝戦は東北大グラウンドで十七日午後二時東醫學先陣で開始延長戦となり東醫學前半一點を挙げそのまゝ押切り初の制覇を遂げた

| | | | | | |
|-------------|---|------|------|---|----------|
| 東醫學 | 2 | 0110 | 0010 | 1 | 仙台高工 |
| 中田葉野間部竹海村山木 | | | | | |
| 田岡千河菅渡小飯河大清 | | | | | |
| GK | | | | | 5 9 14 |
| FB | | | | | CK FK GK |
| HB | | | | | |
| FW | | | | | |
| 木村田野坂塚權友部田 | | | | | 7 5 20 |
| 佐河澤丹早古畑大大阿津 | | | | | |

S 14.7.18



本年度關東蹴球協會評議員二十五名は左の通り決定した

- 野村正二郎、山田午郎、竹腰重丸、朝生要人、小野卓爾、千野正人、松丸貞一、本多秀治、乘富丈夫、福田剛一、西川慎二郎、鈴木朝英、手島志郎、濱田義明、小長谷亮作、安達龍一郎、平木健一、渡邊有之助、金子敏吉郎、萩野保治、加藤橋尾、宇野勝房、佐藤秀三郎、松本鐵太郎、尾崎剛毅

S 14.7.20

中等蹴球東京千葉豫選の組合せ

中等學校蹴球選手權大會東京、千葉豫選は来る八月六日から十日迄東大球場で行はれるが組合せは二十日左の如く決定した

- 第一日(6日)△第一回戦(A) 豐島前對五中(10時) △第二回 野川對山前對明學(11時30分) 九中對一商(1時) 府高等對曉星(2時30分) 佐倉中對本郷中(4時) △第二日(7日) 附中對明倫中(10時) 東葛飾中對青學中(11時30分) 八中對慶普(1時) 東高等對(A) 勝者(2時) 30分 △第三日(8日) 前10時 準決勝 △第四日(9日) 後1時 準決勝 △第五日(10日) 後2時 決勝

S 14.7.23

新に參與制

關東蹴協の陣容決る

關東蹴球協會評議員會は廿三日午後四時から蹴協工業會館に於て開會十三年度の事業會計報告、十四年度の豫算と事業の報告承認後機構の一部改革について討論を重ねた結果新たに參與制を布き、委員制度を確立する事となり朝生要人主事の一身上の都合による引退を承認し陣容を左の如く決定し廿四

S 14.7.28

全國中等蹴球

【横濱電】山神聯隊選第一日(話)第二十一回全國中等蹴球選手權山神聯隊選第一日は二十九日午前九時半から横濱球場で一回戦七試合を舉行、成績左の如し

| | | | | | |
|------|----|---|------|--|--|
| 第一回戦 | | | | | |
| 横濱二中 | 3 | 1 | 甲府商 | | |
| 甲府中 | 7 | 0 | 川崎中 | | |
| 非崎中 | 4 | 1 | 横濱三中 | | |
| 靜岡中 | 5 | 0 | 鎌倉中 | | |
| 小田原中 | 9 | 0 | 淺野中 | | |
| 志太中 | 13 | 1 | 神奈川工 | | |
| 湘南中 | 5 | 1 | 濱松一中 | | |

S 14.7.30

全國中等蹴球 第二十一

山神聯隊選第二日 回全國中等蹴球山神聯隊選第二日は三十日正午横濱專門球場で行はれた

| | | | | | |
|------|---|---|------|--|--|
| 第二回戦 | | | | | |
| 横濱二中 | 4 | 1 | 靜岡中 | | |
| 甲府中 | 5 | 2 | 小田原中 | | |
| 非崎中 | 1 | 0 | 志太中 | | |
| 湘南中 | 6 | 0 | 横濱一中 | | |

S 14.7.31

全國中等蹴球 【京城電】
朝鮮代表決る 中等蹴球
 朝鮮代表最終日は卅一日午後京城
 グラウンドで決勝戦を舉行
 平壤三中 1—0 培材中學

中等蹴球豫選 【横濱電】
山神靜準決勝 十一回全
 國中學校蹴球選手權大會山神靜
 地方豫選第三日は三十一日横濱野
 間球場で準決勝二試合を舉行

横濱 2 11 10 1 甲府中
 二 中 1 1 1 0
 湘南中 2 11 0 0 0 菲崎中

湘南中優勝 【横濱電】
 全國中等蹴球大會山神靜準選最終
 日は一日午後四時から横濱球場で
 舉行、湘南中學が優勝した

湘南中 3 0 3 2 2 中
 S14.8.2



◇：埼玉縣體育主
 事加藤橋夫氏はこ
 の程厚生省體育官
 に榮轉し體力局體
 育課勤務となりそ
 の後任として前關東蹴球協會理事
 の青山師範教諭藤澤野氏が任命さ
 れた
 S14.8.4

中等蹴球開

全國中等蹴
 球選手權開
東隊選第一日 東地方豫選
 第一日は四日水戸高校で舉行
 ◇二回戦
 水戸商 1—0 茨城工
 浦和中 6—0 水戸中
 S14.8.5



◇：早大蹴球部先輩名取武若は名
 譽の應召に氣負ひ立ち〇〇〇日〇
 〇に入隊する事になつた
 S14.8.6

蹴球代表合宿開始

九日に三國競技選手を發表

S14-8-7
 日本代表蹴球選手候補者の合同合
 宿練習は盛夏蹴球、日蘭華交藤競
 技代表選抜の目的をもつて六日
 本青年館に集合、關東、關西、朝
 鮮の各地から集まつた二十六名の
 候補者は竹腰指導委員長指揮の下に
 第一日の軽い補助運動を行つたが
 爾後二週間は本都東大又は外苑蹴
 技場で猛練習を行ひ、日蘭華代表
 は合宿参加選手中より銚衛九日選

中等蹴球東京豫選

大毎主催全國中等學校蹴球大會東
 京千葉豫選第二日は七日午前十一
 時半から東大球場で第二回戦残り
 三試合を舉行

青山中 4 13 0 0 東 藤
 八 中 4 3 1 0 1 慶 豐
 豐島師 4 4 0 0 0 東 高 尋

蹴球代表 蹴球日本代表選
 手候補合宿練習
紅白試合 第二日目の七日
 は午後四時から東大球場で愈々本
 格的練習を開始した、竹腰指導委
 員長の笛により二十五名の選手が
 一通り練習を行つた後五時から紅
 白兩組に分れて一時間に亘り試合
 を行つたが、日蘭華蹴技代表選手
 銚衛のセレクション・マッチと云
 う意味も含まれた各選手共張切
 つて好試合を展開、結局一対一の
 引分に終つた

S14-8-8
 白組 1 10 10 1 紅組

全國中等蹴球

大毎、東
 日主催全
 國中學校
東京千葉豫選 國中學校
 蹴球大會東京千葉豫選第三日は
 八日午前十時から東大球場で準々
 決勝四試合を舉行

青山中 4 3 1 0 0 九 中
 慶星中 6 4 2 1 0 1 佐倉中
 附屬中 3 3 0 0 0 0 青 學 中
 豐島師 1 0 1 0 0 0 八 中

◇：國學院大蹴球部創立に功勞
 あつた先藤岡田政一君と大日本ス
 ケート蹴技聯盟理事小西健一君
 (早大スケート部先輩)は今回名
 譽の應召をした
 S14.8.9

中等蹴球東京豫選

表示することになつた
 全國中等學校蹴球大會東京豫選第
 一日は六日午前十時から東大球場
 で第一、二回戦を舉行

豊島師 2 2 0 0 1 1 五 中
 青山中 20 10 10 0 0 0 明 學 中

豊師、附屬中に敗る

中等蹴球東京千葉豫選
 大毎東日主催全國中等學校蹴球大
 會東京千葉豫選第四日は準決勝二
 試合を舉行、第一試合は青山の一
 方的試合で終つたが第二試合は技
 倆伯仲して熱戦を展開し延長戦に
 入りその後半附中決勝の一點を舉
 げて勝ち、前年の代表校豊島師は
 敗退した

青山中 10 7 3 0 0 慶星中
 附屬中 2 10 10 0 0 1 豊島師

大阪代表は明星商

【大阪電】全國中等蹴球大會大
 阪豫選最終日は六日今宮中學校球
 場で舉行明星商業が選抜代表となる
 明星商業 3—0 住吉中

青師代表権を獲得

中等蹴球東京千葉豫選
 大毎東日主催全國中等學校蹴球大
 會東京千葉豫選最終日は十日午後
 二時から青山師範附中の決勝戦を
 舉行、青山師範が五年振りに代表
 権を獲得した

青山中 3 1 2 0 0 0 附屬中
 (附 中)
 澤山藤田伯川木井橋田繪
 美 木加加柴佐石佐光諸金蘭
 GK FB HB FW
 井藤田藤田立川山定田
 白鷺安西加細橋滑小國太
 (青 山)
 1 5 10 0
 OK FK GK
 OF GK PK
 7 1 1 1

S14.8.11

日滿華 競技會 我蹴球代表決る

大日本蹴球協會では九月東京で開行される日滿華競技會の派遣代表に藤野野矢監督の指揮下で、藤野中であつたが、且つ合宿中の日本代表選手候補者中より左の十七名を選擇決定し九月午後發艦表した。

監督 藤野野矢(東京大)
「選手」 〇GK 岡本純一(京大)
川 津田幸男(慶大) 〇FW
〇FW 竹腰重九(東大出)

關東蹴協役員決る

改選後の第一回關東蹴球協理會は十一日同協會事務所で開催、新制度役員は左の如く決定した。

〇委員長 西川慎二(鹿野) 〇副委員長 阿部昭二(指導) 芝地一(大東) 福島玄一(高専) 鈴木長英(中等) 宮本能冬(小) 大森一郎(實業團) 長岡三郎(俱樂部) 徳川博武(醫事) 竹内健三(審判) 〇評議員 藤澤時、洞水隆三

蹴球代表一部變更

日滿華三國交際競技出場のため渡瀨を前に最後の仕上げ練習を行つて居る我が蹴球代表隊では一行中のFW金澤守、HB岡田大爾選手が練習中の負傷で出場不能となつたためこれが選手降任を承認すると共に新たにFWに藤野中Bには玄孝をそれと選手として起用する事に決定した。

S14.8.19

我蹴球代表決る

藤野中(東大出) 大山政行(東大) 李衛(延福山) 〇FW 高島良輔(慶大) 関内大(實業) 末岡昭幸(早大) 金澤徹(聖成山) 菅原隆(慶大) 〇FW 金成野(延福山) 藤木和(東大) 川本三(早大出) 二宮洋一(慶大) 小畑賢(慶大) 藤澤重九(東大) 金澤守(慶大)

明大蹴球勝つ

【仙台電】明大對全仙台蹴球戦は十六日午後三時半から東北大グラウンドで舉行、明大勝つ

明大 4 2 1 0 1 全仙台



躍出した

〇早大蹴球部 〇B松竹則彦様式會社社員吉澤孝太郎君(横濱二中出身)は今般名譽の

S14.8.17

全國中等蹴球

【大阪電】大毎主催第二十一回全國中等蹴球大會朝鮮代表

十一回全國中等蹴球大會朝鮮代表 培材中學は今般學校の都合により本大會出場を棄權することとなりこの旨二十二日主催者側に申出あつた。従つて第一回戦に之と對戦することとなつてゐた青山師範(東京千葉代表)は不戦一勝となつた

S14.8.28

手榴の成績を參考とし合宿最初の練習試合を見て決定した。今回は純然たるビッグアップチームで個人的に優秀な選手を網羅した。毎年の合宿で、一緒に

やつて来た連中が、コシビネーションの點はさして心配はない。只内地選手と全然ズレの點が半島選手が今迄になく多敷入つてゐるので、これを如何にこなすか、問題であるがこの二十日までの合宿中に十分觸め上げる積りである

全國中等蹴球 第一日

【大阪電】大毎主催第二十一回全國中等學校蹴球大會第一日は廿四日午前十時半から甲子園南運動場で第一回戦四試合を舉行

| | | | |
|------|----|----|----|
| 一神 | 一廣 | 師範 | 一廣 |
| 中戸 | 中北 | 中島 | 中北 |
| 2 | 3 | 7 | 5 |
| 1001 | 12 | 52 | 2 |
| 0001 | 00 | 00 | 00 |
| 1 | 0 | 0 | 0 |
| 師愛 | 院 | 師富 | 龍本 |
| 範知 | 中 | 北山 | 商 |

S14.8.28

全國中等蹴球(第二日)

【大阪電】大毎主催第二十一回全國中等學校蹴球選手權大會第二日は二十五日正午から甲子園南運動場で第一回戦の残りを行つた。湘南中學對高松中學の試合は高松の技術未熟のため湘南の一方的ゲームに終つた

| | | | |
|-------------|-------------|----------|-----------|
| 湘南中學 | 5 2 1 0 0 | 高松中學 | 0 0 0 0 0 |
| 尾末本重村 | 井 | 0 25 0 | |
| 川三三中丸野山高木 | 安 | 0 25 0 | |
| GK FB HB FW | CK FK GK PK | 10 4 1 0 | |
| 本川島熊村利口勝保登 | 野 | 10 4 1 0 | |
| 奥市長小田保備小安大 | 小 | 10 4 1 0 | |

S14.8.26

青師、埼師敗る

全國中等蹴球

【大阪電】大毎主催第二十一回全國中等學校蹴球選手權大會第三日は二十六日午前十時半から甲子園南運動場で第二回戦四試合を舉行、初出陣の北海道代表札幌師範は第一日熊本商を破りこの日優勝候補神戸一中を向ふに廻してキックアンドラッシュに戦法に物をいはせて遂にこれを攻落した

| | | | |
|----|----|----|----|
| 一廣 | 師範 | 一廣 | 一神 |
| 中島 | 中北 | 中島 | 中北 |
| 7 | 3 | 7 | 3 |
| 34 | 21 | 34 | 21 |
| 00 | 11 | 00 | 11 |
| 0 | 2 | 0 | 2 |
| 一神 | 中北 | 一神 | 中北 |
| 中戸 | 中北 | 中戸 | 中北 |

S14.8.28

| | |
|-------------|-------------|
| 山間澤崎澤田岸子梅隆谷 | 2 3 16 0 |
| 片本高山下奥山縣徳後中 | 2 3 16 0 |
| GK FB HB FW | CK FK GK PK |
| 井田田浦木島藤武川 | 3 8 8 1 |
| 向福岡宮松皆田加則實業 | 3 8 8 1 |

| | | | |
|-------------|-----------|----------|----------|
| 湘南中學 | 4 2 1 0 2 | 青山師範 | 2 3 12 0 |
| 井藤田藤田立川山定田 | 宮 | 0 3 12 0 | |
| 白齊安西加細橋滑小國太 | 宮 | 0 3 12 0 | |
| GK FB HB FW | CT FT GK | 2 3 9 0 | |
| 本川島熊村里口勝保登 | 野 | 2 3 9 0 | |
| 奥市長小田保備小安大 | 小 | 2 3 9 0 | |

S14.8.26

湘南中抽籤負

全國中等蹴球

【大阪電】大毎主催第二十一回全國中等學校蹴球選手權大會第四日は二十七日午後一時から甲子園南運動場で決勝戦を舉行

| | | | | |
|-------------|----|-------------|------|---|
| 一廣 | 中島 | 3 2010 0010 | 1 師範 | 範 |
| 10 10 4 1 | | | | |
| CK FK GK PK | | | | |
| 5 10 23 0 | | | | |

| | | | |
|-------------|-------------|----------|----------|
| 聖峰中學 | 2 0020 0002 | 2 湘南中學 | 0 6 16 1 |
| 本川島熊村利口野保登野 | 野 | 0 6 16 1 | |
| GK FB HB FW | CK FK GK PK | 3 4 19 0 | |
| 奥市長小田保備小安大小 | 野 | 3 4 19 0 | |

S14.8.28

| | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 聖峰中學 | 3 0 0 1 | 1 埼玉師範 | 0 3 12 0 |
| 白齊安西加細橋滑小國太 | 宮 | 0 3 12 0 | |
| GK FB HB FW | CT FT GK | 7 1 12 0 | |
| 本川島熊村里口勝保登 | 野 | 7 1 12 0 | |
| 奥市長小田保備小安大小 | 小 | 7 1 12 0 | |

| | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 聖峰中學 | 3 0 0 1 | 1 埼玉師範 | 0 3 12 0 |
| 白齊安西加細橋滑小國太 | 宮 | 0 3 12 0 | |
| GK FB HB FW | CT FT GK | 7 1 12 0 | |
| 本川島熊村里口勝保登 | 野 | 7 1 12 0 | |
| 奥市長小田保備小安大小 | 小 | 7 1 12 0 | |

S14.8.28

日本軍全勝す

大連の日満競技 第二日

○(大阪電話) 關西蹴球協理 惠慶大OB市橋 時藏氏は今回名 譽の召集を受け



〇〇に入隊する事となつた

三日の運動

蹴球

マツダ 6 42 31 4 千代田

S 14・9・4

日滿華交驩競技大會 第二日

全球技に快勝

豪雨で陸上は順延

【新京にて直承特派員二日發】日滿華交驩競技大會第二日は二日午後二時五十分より 開演運動場で降雨激しく泥濘の懸念コンディションの中に本大會第一の呼物日滿蹴球戦によつて開始さ れた。蹴球が最も普及してゐる土地だけに愛憎しく多数の觀衆が詰めかけ應援の歡聲が耳を聳する ばかりである。觀いて待望の陸上競技は午後四時四十分開始予定のところ豪雨のため協議の結果順延 とした。又蹴球は日滿戦、排球は日滿第二回戦と豫定のプログラムにより進められた

蹴球 日本對中華

日本 3 12 0 0 中華

千葉(主) 小林、友澤(補) 三君 審判で2時50分中華先鋒に開始 期待された日本對中華の蹴球試 合も試合開始前から降り出した 雨はやがて豪雨となり水中で球 を蹴る種試合となつた。しかも ヘイフタイム中に大雨はいよいよ 激しく凡そ一時間の休憩をす るやうな有様であつた。わが代

表軍はこの悪條件にもめげず素 晴らしい元氣で戦ひ、終始敵陣 でゲームを續け、日本のゴール は前半僅か一回シュートを受 けたばかりであり後半は全く一 方的試合であつた。結局日本テ ームは戦法は勿論技術において も遙かに勝れて居る。殊に走力 において一段と光つて居た。た だ前半再三再四ラフのプレーか ら小試合を演じた事はいづれに 非があるにしても醜態と言はな

| | | | | |
|---------|--------|------|------|------|
| 田山池(岡裕) | 本宮本(成) | 7 | 16 | 1 |
| 津大菊(葉木) | 斐川(直金) | CK | FK | GK |
| GK | FB | HB | FW | |
| 豊(清宗) | 水(思) | 李(李) | 李(李) | 李(李) |
| 1 | 7 | 28 | | |

【中 華】

S 14-8-28

| | | | | | |
|---------|--------|------|------|------|------|
| 田山池(岡裕) | 本宮本(成) | 7 | 3 | 3 | 0 |
| 津大菊(葉木) | 斐川(直金) | CK | FK | GK | GK |
| GK | FB | HB | FW | | |
| 張王 | 林(朱) | 林(朱) | 林(朱) | 林(朱) | 林(朱) |
| 1 | 3 | 17 | 0 | | |

【大連廿七日發回照】日滿大連交 驩競技第二日は廿七日午前十時中 央公園運動場テニス・コート臨設競 技場に於て蹴球、排球、蹴球戦を 舉行、何れも全日本軍が快勝した

中等蹴球に廣 島一中が制覇

【大阪電】 主催第二 十二回全中等蹴球選手権大會最終 日は廿八日甲子園運動場に於て 廣島一中(中國代表)對聖陽中學 (京、滋、奈代表)の決勝戦を舉 行、廣島は三對零で快勝、昭和十 一年以來二度目の制覇を遂げた

S 14・8・29

| | | | | |
|---------|--------|------|------|------|
| 田山池(岡裕) | 本宮本(成) | 1 | 10 | 2 |
| 津大菊(葉木) | 斐川(直金) | CK | FK | GK |
| GK | FB | HB | FW | |
| 川(正) | 田(木) | 王(李) | 吉(根) | 朱(金) |
| 3 | 13 | 4 | | |

【中 華】 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽

【中 華】 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽 瀋陽

S 14・9・2

S 14-9-3

日本、全競技に優勝す

日滿華交驛競技大會終る

【東京にて富永特派員三日發】日滿華交驛競技大會三日は漸く連日の雨が降り午前十時から雨雲合戦後場では地上競技を断絶した。フィールドは縮水であるがアシカトックは早くも適度に乾燥し、氣候は日本の十月中旬の如き好適な天候に閉ぢ込められて各選手は孰れも勇躍して奮闘らしい奮闘振りを示して堂々と首位を占めた。地上競技を終つて日滿華交驛が行はれた日本に凱歌が響き日本軍の全競技優勝となつて三日間に亘る競技を全く終了した。

蹴球 日滿戦

日本 6 4 2 0 0 滿洲

(野村(主) 廣瀬、友澤(線) 三君審判で5時50分滿洲先攻)

本 洪 下田村 方 來
川 李木吉田李根 朴朱金 5 1 9 1

GK FB HB FW OKK GK
田池山(裕) 阿谷 畑本 吉 豊成 1 5 2 0

津浦大李末金小川 二金 1 5 2 0

右の結果わが代表軍は二戦二勝して首位となり中華は一勝一敗して第二位、滿洲は二戦二敗で末位となつた

蹴球評 滿洲軍が頗る積極的に戦つたので前半は案外の接戦で日本軍も容易に得點し得なかつたが、後半は地力を現し後半には滿洲チーム奪れて全く日本チームの蹂躪にまかせてしまつた

奉天の日滿華競技 第一日

蹴球 日本對滿洲

【奉天にて富永特派員五日發】日滿華交驛奉天競技會第一日は五日午後三時半から高千穂小學校コートで蹴球日滿及び中華二試合と排日日本代表對滿洲大の試合を舉行、この日奉天は早朝から降雨で地上競技は中止する事になり蹴球も一時取止めと決定したが夕刻に至り雨が小止みとなつたので五時半から國際運動場野球場で日本對滿洲の試合を舉行した

日本 6 2 4 0 0 滿洲

午後5時50分旗ラグビーJ場では買主七水島、加藤(線) 三君審判

【滿洲】 滿洲本田下林藤道野田田

GK FB HB FW OKK GK 2 3 2 4 0

本池山(原) 阿谷 本本 湯 13 0 6 0

阿菊大李末金金直川 櫻

奉天の日滿華競技大會終る

蹴球 中華對滿洲

中華軍 4 0 4 2 0 2 滿洲軍

S 14 . 9 . 7

四日の運動

【蹴球】 師範馬 5 4 1 0 3 3 文理大

S 14 . 9 . 6

蹴球選手権の關東豫選

【蹴球選手権】 第十回明治選手権大會關東地方豫選は来る十六日を第一日とし十七、二十三、二十四の四日間(球場未定)行はれるが申込締切は十三日で芝區新橋三ノ一六駒場ビル内關東協會にて、参加費は一チーム十圓である

S 14 . 9 . 7

鮮華親善競技第一日

【京城電話】鮮華親善綜合競技大會は九日から京城運動場で華々しく開幕された。この日午後三時、華北、朝鮮兩軍選手役員入場式、國旗掲揚、京城進拜に次いで朝鮮體育協會々長並に華北軍團長の挨拶、選手代表の宣誓等あり午後四時蹴球戦によつて大會の火蓋を切り、朝鮮軍は蹴球兩種目に快勝

【蹴球】 全朝鮮 79 4237 45 華北 (全曹成)

全朝鮮 8 4 0 0 0 華北 (延福專)

S 14 . 9 . 10

鮮華親善競技 第二日

【京城電話】鮮華親善綜合競技大會第二日は十日京城運動場で舉行

【蹴球】 朝鮮(曹成專) 4 0 華北

S 14 . 9 . 10



○：慶大ソツ
カ：部先鋒岩
波：常道君(明
業社員)は今
股名譽の躍石

S 14 . 9 . 13

神宮蹴球開

明治神宮國民體育大會
蹴球選手権

東大快勝
開東大快勝は十六日から東大球場で行はれるが十四日主將會議の結果組合せは左の如く決定した

- ◇16日(A)東大對W M W (3時)
- ◇17日(B)東大對A勝者(10時)又
- 大對B R B (11時30分) 東大對
- 早大(1時) 明大對上智大(2時30分)
- ◇23日(1)準決勝二試合(3時)
- ◇24日(1)決勝(3時)

S 14・9・15

東大勝つ

明治神宮大會蹴球開東大快勝第一日の東大對W M Wの蹴球戦は十六日午後三時から東大で審判家部(主)渡邊、石川(總)三君の下に舉行東大延長戦で勝つ

S 14・9・17

十六日の運動

◇蹴球(東京中等リーグ第二日)

| | | | |
|--------|-----|------|------|
| ①府五中1 | 0 1 | 0 1 | 1府八中 |
| ③明 學 2 | 0 2 | 1 10 | 1曉星中 |
| ④山二中4 | 2 2 | 0 1 | 1開成中 |

S 14・9・17

神宮蹴球開東大快勝

明治神宮國民體育大會蹴球開東大快勝は十七日午前十時から東大球場で舉行。東大、慶大B R、早大、明大が夫々快勝した

| | | | |
|-------|-----|-----|------|
| 東大 3 | 2 1 | 1 0 | 1商大 |
| 慶大 2 | 1 1 | 1 0 | 0文大 |
| 早大 4 | 3 1 | 0 0 | 0慈大 |
| 明大 10 | 4 6 | 0 0 | 0上智大 |

十七日の運動

◇蹴球(東京中等學校リーグ)

| | | | |
|------|-----|-----|------|
| ①府八中 | 2 2 | 0 0 | 0府八中 |
| ②早大 | 3 2 | 0 0 | 0獨協中 |
| ③府九中 | 3 2 | 0 0 | 0慶大 |
| ④東大 | 0 1 | 0 0 | 0青學中 |
| ⑤府五中 | 2 1 | 0 0 | 0府五中 |
| ⑥府七中 | 3 3 | 2 1 | 3成城寺 |

S 14・9・18

關東大學蹴球

第一節の日程
一月一日午前八時半から神宮蹴球場で行はれる蹴球選手権を皮切りに開幕するが第一節の日程は左の通り決定した

- △10月1日 慶大對商大(1時55分)
- △10月2日 慶大對早大(3時40分以上神宮)
- △10月3日 慶大對明大(1時)東大對明大(3時以上東大)
- △10月4日 東大對明大(1時神宮)
- △10月5日 慶大對慶大(3時神宮)
- △10月6日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月7日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月8日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月9日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月10日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月11日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月12日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月13日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月14日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月15日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月16日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月17日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月18日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月19日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月20日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月21日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月22日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月23日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月24日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月25日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月26日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月27日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月28日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月29日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月30日 慶大對慶大(2時神宮)
- △10月31日 慶大對慶大(2時神宮)

S 14・9・23

慶大快勝す

神宮蹴球の關東代表となる

神宮蹴球開東大快勝慶大B R B對早大戦は二十四日午後三時から東大球場で舉行。三對二で慶大勝ち關東代表となる

慶大 3 1 2 1 1 2 早大

| | | | |
|-------------|-----|-----|----------|
| 破谷田島岡村 | 杉妻 | 橋邊村 | 4 5 12 |
| 不米莊川末西 | 高渡中 | | OK FK GK |
| GK FB | HB | FW | OK FK GK |
| 田川櫻原中島崎野宮畑邊 | | | 8 8 8 |
| 津石加笠田高橋播一小渡 | | | |

S 14・9・25

對獨蹴球に

「ブダペスト」廿四日發
四回ドイツ對ハンガリー蹴球對抗戦は戦火をよそに本日當地で行ひ、洪軍は七對二といふ大差で快勝

S 14・9・26

二十六日の運動

◇蹴球 東京府中等リーグ
青山師 1 10 0 0 0 府八中

S 14・9・27

早大勝つ

對立大蹴球戦
第五回早大對立大定期蹴球戦は二十七日午後三時から石神井立大球場で審判小山、藤野、下野三君早大先勝に開始3對0で早大勝つ

早大 3 2 1 0 0 0 立大

立大

| | | |
|------------|-----|----------|
| 石 橋田本山上藤田人 | 原 | 1 2 14 1 |
| 白 岡内岡武井瀧橋今 | | OK FK GK |
| GK FB | HB | FW |
| 磯川野宮岡村谷 | 橋邊村 | OK FK GK |
| 不石矢三栗西米 | 高渡中 | 2 4 16 1 |

S 14・9・28



昨秋の覇者慶大の一瞬

今秋の蹴球陣展望

王者慶大連覇成るか

小粒乍ら侮れぬ東大

蹴球界の覇者——慶大は、昨秋の全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。この大会は、全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。

慶大リーグの優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。この大会は、全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。

第一試合は慶大対早大、第二試合は早大対慶大で第一試合の勝利は、早大が、第二試合の勝利は、慶大が、という結果になった。

早大は、昨秋の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。この大会は、全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。

慶大は、昨秋の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。この大会は、全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。

早大は、昨秋の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。この大会は、全日本選手権大会の優勝者として、今年も全日本選手権大会に出場する。

この他、早大、慶大、東大、早稲大、立教大、法政大、明治大、中央大、同志社大、関西大、近畿大、神戸大、岡山大、広島大、山口大、徳島大、高松大、香川大、愛媛大、高知大、福岡大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、沖縄大、などが出場する。

この他、早大、慶大、東大、早稲大、立教大、法政大、明治大、中央大、同志社大、関西大、近畿大、神戸大、岡山大、広島大、山口大、徳島大、高松大、香川大、愛媛大、高知大、福岡大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、沖縄大、などが出場する。

この他、早大、慶大、東大、早稲大、立教大、法政大、明治大、中央大、同志社大、関西大、近畿大、神戸大、岡山大、広島大、山口大、徳島大、高松大、香川大、愛媛大、高知大、福岡大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、沖縄大、などが出場する。

この他、早大、慶大、東大、早稲大、立教大、法政大、明治大、中央大、同志社大、関西大、近畿大、神戸大、岡山大、広島大、山口大、徳島大、高松大、香川大、愛媛大、高知大、福岡大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、沖縄大、などが出場する。

※ 次のページの上げへつづく

處で

各チームの長所を論ずるには、種々の材料が豊富である。なにより、主として「田」を主眼とした攻撃力、GK守田を主眼とした守備力、守備力にチームの強さをかけている。個人の強さを論じてきた二次に目を向けて、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

奔放の早大チーム

早大の試合には、その攻撃力、守備力、そして、チーム力、そして、個人力、そして、合同力、そして、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

早大の試合には、その攻撃力、守備力、そして、チーム力、そして、個人力、そして、合同力、そして、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

東大の試合には、その攻撃力、守備力、そして、チーム力、そして、個人力、そして、合同力、そして、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

東大の試合には、その攻撃力、守備力、そして、チーム力、そして、個人力、そして、合同力、そして、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

東大の試合には、その攻撃力、守備力、そして、チーム力、そして、個人力、そして、合同力、そして、結果を競うチームの合同力に目を向けてみる。東大の完

| 【大南】 | | 【大慶】 | | 【大朝】 | | 【大早】 | | 【大東】 | | 【大慶】 | |
|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| GK 吉 | 守 川 | GK 藤 | 守 正 | GK 渡 | 邊 藤 | GK 不 | 川 石 | GK 吉 | 田 原 | GK 津 | 田 川 |
| HB 藤 | 守 川 | HB 藤 | 守 正 | HB 藤 | 邊 藤 | HB 石 | 川 石 | HB 原 | 田 原 | HB 石 | 田 川 |
| HB 藤 | 守 川 | HB 藤 | 守 正 | HB 藤 | 邊 藤 | HB 石 | 川 石 | HB 原 | 田 原 | HB 石 | 田 川 |
| FW 藤 | 守 川 | FW 藤 | 守 正 | FW 藤 | 邊 藤 | FW 石 | 川 石 | FW 原 | 田 原 | FW 石 | 田 川 |
| FW 藤 | 守 川 | FW 藤 | 守 正 | FW 藤 | 邊 藤 | FW 石 | 川 石 | FW 原 | 田 原 | FW 石 | 田 川 |

各校選手メンバー

蹴球人一千を集め

神宮外苑に蹴球祭

各層の選手を網羅

蹴球祭は神宮外苑に於て十一月五日(日)午後七時より二十時迄の役員選手が中心となり、午後八時半から観衆の一般を以て開き、中等、大学の五試合を行った。關東大蹴球部はトフツを叩つた。關東大蹴球部の試合は最も新進隊大の試合は、關東大の選手を網羅して、各層の選手を網羅する。また、午後九時からは、關東大の選手を網羅する。また、午後九時からは、關東大の選手を網羅する。

健闘の商大疲れ

慶大後半に快勝

前半互角の快試合



左のケツキナーコ大慶分二十四年前
右のケツキナーコ大慶分二十四年前

慶大(7)3-0(1)商大
(ケツキナーコ大慶分二十四年前、
右のケツキナーコ大慶分二十四年前)

前半は互角の試合であったが、後半に入ると、商大の選手が、慶大の選手を、
蹴球祭は神宮外苑に於て十一月五日(日)午後七時より二十時迄の役員選手が中心となり、午後八時半から観衆の一般を以て開き、中等、大学の五試合を行った。關東大蹴球部はトフツを叩つた。關東大蹴球部の試合は最も新進隊大の試合は、關東大の選手を網羅して、各層の選手を網羅する。また、午後九時からは、關東大の選手を網羅する。

後半は、10分慶大は小細海戦から拾つてきた、
蹴球祭は神宮外苑に於て十一月五日(日)午後七時より二十時迄の役員選手が中心となり、午後八時半から観衆の一般を以て開き、中等、大学の五試合を行った。關東大蹴球部はトフツを叩つた。關東大蹴球部の試合は最も新進隊大の試合は、關東大の選手を網羅して、各層の選手を網羅する。また、午後九時からは、關東大の選手を網羅する。

試合経過

前半 商大は五分中実を叩つて、
後半は、10分慶大は小細海戦から拾つてきた、

【商大】

| | |
|-------------|----------|
| 澤井室木野上井山岡水 | 3 2 12 |
| 吉田三輪浦田金片松濱 | CK FK GK |
| GK FW HB FW | 6 5 17 |

田川崎原中島阪田三浦
星石大幸田高志浩二小夜
【慶大】

三十日の運動

- 蹴球 東京府中等リーグ
- 府二中 3-1 早
- 明學中 兼福 府一商
- 市二中 6-2 府七中
- 神宮中等學校神奈川、千葉慶選
- 代表決定戦
- 中野福南中 兼福 申萬節中
- (師範)千葉師 2-1 神奈川師

一日の運動

蹴球(關東大リーグ)

| | | | |
|-----|------|------|----|
| 千葉大 | 5-3 | 10-1 | 法大 |
| 立大 | 15-9 | 6-0 | 中大 |
| 立高 | 2-1 | 1-2 | 成蹊 |
| 浦高 | 4-2 | 2-0 | 一高 |
| 商大 | 2-0 | 0-1 | 東高 |

(東京府中等リーグ)

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 府二中 | 4-3 | 1-0 | 獨協中 |
| 府一中 | 9-6 | 0-0 | 府一商 |

農大夢中の防戦

凡戦裡に早大大勝

早大 7-11 0-0 農大
 (松丸、乙骨、宮川三番審判、早大先導)

◇早大はスモアの上方では快勝した、押し押しされた凡戦裡に九十分間が過ぎ去つて見たら何時の間にか得点が溜つてゐた、試合が開始されて五分農大ゴール前の混戦を早大且三三三がハッディングで一蹴入れた、それから後ハーフ、タイム迄の四十分間は個人競技と體力を働かせる早大エレンはバ

ラハラではあるが一人々の意味で何程かゴールに寄せて行つた然し各メンバーの活動量が余りに不足で及ぼり足りなかつた一方農大は強豪との対戦とあつて一回夢中になつて防戦した農大エレン

が一時固まらなかつた距離は早大チームの二倍半はあつたと云つて良いほど固質なものであつた然し折角守勢から攻撃に轉して

も何等纏まつた攻撃形を待たず唯前へ前へと球を蹴るばかりであつたから農大の時折の攻撃は一向奏効しなかつた、途中卅分四十分頃に農大ゴールポスト

やハニーに定つた早大フオアワーの強シニートが二、三あつただけで前半は終つた

◇後半も同じ様な闘争の試合は低調に進行し早大は四分、八分、

十二分と平凡な得点を重ねて行つた、其頃から農大が氣力を失ひ疲

勞を見せ附めたので早大の攻撃も数分得点を見せ附め卅分、卅一分

駆けつけ妻がクリンシニートで得点するなどの場面が現はれはじめその後も得点を重ねて早大は鬼に

角大勝した 早大に對しては優れた個人技と體力を生かすため田宮果敢な動きとチーム全員の緊密な精神的

戦術的聯絡を遂成する様々み 農大は組織戦術に對する頭を

◇後半 8分早大は左CK後三三三混戦から拾つて得点▲13分右側からの後球を加納シニートして

点を加へ更に▲16分強襲しGK等井の失で二点を加ふ▲25分早

大は右CK後妻のクリンシニート成り5-1と開き續いて妻のハッディングはゴールを割

り▲33分左CKの球を渡邊ハッディングして7-0と大差を作る

【農大】 井正田 股坂武雄 林 4 3 13 佐吉 猪俣 佐賀 小 田川田毛 岡村 谷 橋邊 納 14 3 5 島石 庄三 末西 米 高渡 加

【早大】 日本 1 0 1 1 千代田

◇高野聯盟 横濱 17 9 8 0 0 0 外 語 中 等 學 校 聯 盟 豊 島 師 1 1 0 1 0 1 青 山 師

【豊島】 木島田 澤黒 田 橋 澤 浦 谷 藤 2 8 12 並大 徳 龍 小 濱 高 松 三 大 伊 2 8 12 GK FB HB FW CK FK GK

井 藤 田 田 藤 田 立 松 山 定 田 1 14 6 白 鷺 安 細 加 西 橋 清 小 國 太

京大快勝す

【大阪電】 關西蹴球リーグ 蹴球リーグ第一日の京大對神大の試合は一日午後一時から甲子園南運動場で右近(主)栗田、石井(線)三番審判の下に京大の先攻で開始、試合は積極通り神大は振はず京大の一方的ゲームで9-0の大差を以て京大大勝した

一日の運動

◇蹴球(關東大學リーグ)

| | | | | | | | |
|-------|----|---|---|---|---|---|----|
| ① 千代田 | 5 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 法大 |
| ② 立大 | 16 | 9 | 6 | 0 | 0 | 0 | 中大 |
| ③ 府立高 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 成蹊 |
| ④ 浦高 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 一高 |
| ⑤ 藤高 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 東高 |

(東京府中等リーグ)

| | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|-----|
| ① 府二中 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 獨協中 |
| ② 曙屋中 | 9 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 府二商 |

再び決勝戦

青師と豊師の優勝決定蹴球 東京中等學校蹴球リーグ第一日の優勝を決する青山師對豊師の再試合は明治神宮大會代表豊師決定も兼ね六日午後四時十五分から本郷中球場で小長谷君審判豊師の先攻で舉行1-1の同点となり日没のため改めて決勝戦を行ふ事となつた

【豊島】 木島田 澤黒 田 橋 澤 浦 谷 藤 3 4 7 並大 徳 龍 小 濱 高 松 三 大 伊 3 4 7 GK FB HB FW CK FK GK

【青山】 井 藤 田 田 藤 田 立 松 山 定 田 3 6 9 白 鷺 安 細 加 西 橋 清 小 國 太

七日の運動

◇蹴球(東京府中等リーグ) (五中と八中一勝一引分で同率となり再試合を舉行する)

| | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|-----|
| ① 明學中 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 獨協中 |
| ② 曙屋中 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 早大 |
| ③ 開成中 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 府七中 |
| ④ 市二中 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 成城等 |

(市二中三戦三勝で四部に優勝)

S 14 . 10 . 8

秋酣に百花妍を競ふ

けふ明日のスポーツ戦前記

秋もまだ早い去る九月三日開始の東京大学蹴球リーグ戦によって除幕された首都の秋のスポーツシーズンは以来ウィークカレンダーの一枚毎に多種多様の競技種目と動員される若人の熱気、その盛大さを思はせつつ進んで来たが、愈々仲秋の第一土、日曜を迎へていよいよ研を競はんとするかの闘がある、原陽庭園の蹴球、或は東大グラウンドに展開される蹴球、さては一般對學生の陸上競技、神田Y.W.C.A.體育館の學生蹴球リーグの開幕など、どんな期待が持たれ、又どんな試合の豫想が下されるだらうか?

蹴球 關東大學リーグ

「東商戦」と「慶明戦」

關東大學蹴球リーグは八日東大對商大、慶大對明大の二試合を行ふが、これに依つて一わたり六大學の全貌が披露される。

東大と商大 は明治神宮

大會關東蹴球に於て既に顔を合せ1-0、2-1で東大の勝利に歸してゐる、その後二旬にして再び相會するのであるが、東大の大山、原田の強靱な守備線に對し、商大FW線の手際のない3B線突進が成るならば兎に角、直木大規を主線とする東大FW線の得点力が未だ低調であらうとも勝利の鍵は商大FW線の突入如何にかゝつてゐる。

然し攻撃力の乏しい東大が必ず返り討を食はずとは斷し得ない。

い、商大が食ひ下がらしたら勝敗を余所にして興味ある試合とならう。

慶大對明大 の試合は明

大がどの程度に肉薄するかの一點を懸すのみである明大がロツプでまくし立てるか、HB兩翼の外側から切れ込むかの策をとらぬ限りは慶大ゴールを陥れる事はいふ迄もなく脅かす事さへ考へられぬ、中島兄が手兵を率ゐて單騎突進に出るといふのがまた一線の望みでもある。

既に不利の明大が玉碎を期して出るのは豫想されるところであり、これがどの程度に成功するか、これが慶大の目指す大層得点を左右しよう。

實業團蹴球リーグ

關東實業團蹴球リーグ第二日は八日午前十時から日吉台球場で第一部一試合、第二部二試合を舉行

| | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|
| 第一部 | 東日 | 2 | 0 | 1 | 千代田 |
| 第二部 | 本 | 4 | 13 | 3 | 東 |
| 第三部 | 兵 | 11 | 10 | 1 | 興 |
| 第四部 | 器 | 2 | 11 | 10 | 銀 |

八日の運動

| | | | | | |
|------|----|---|---|---|---|
| ① 浦 | 高 | 1 | 0 | 商 | 船 |
| ② 青學 | 11 | 8 | 3 | 0 | 0 |

S 14. 10. 9

青山師制覇

府中等校蹴球

東京府中等學校蹴球リーグの覇權と神宮大會師制覇の代表權を賭けた青山師對豊島師の試合は去る一日以來既に二度會戦して共に1-1の引分けに終り十日午後三時半から外語球場で小長谷君審判の下にその三度目の決戦を行つた、青山は前半得点を先取しその後二試合にも優る白熱戦を演じたが豊島の挽回成らず青山押し切つて勝つ。

| | | | | | | | | |
|-----|----|----|---|---|-----|---|---|---|
| 青山師 | 1 | 0 | 0 | 0 | 豊島師 | | | |
| 木島田 | 澤 | 黒 | 田 | 橋 | 澤 | 浦 | 合 | 隆 |
| 並 | 大 | 瀧 | 小 | 齊 | 高 | 松 | 三 | 大 |
| GK | F | B | H | B | F | W | | |
| 次 | 藤 | 田 | 田 | 立 | 川 | 山 | 定 | 田 |
| 齋 | 藤 | 安 | 西 | 加 | 細 | 橋 | 滑 | 小 |
| 國 | 太 | | | | | | | |
| 3 | 4 | 12 | | | | | | |
| CK | FK | FK | | | | | | |
| 7 | 8 | 11 | | | | | | |

S 14. 10. 11

蹴球中學代 神宮大會中等蹴球中學
表は府五中 部東京代表
決定の府五中對府八中戦は九日午後三時半から本郷中で舉行されたが府五中が勝ち代表と決定した

府五中 2 0 0 0 府八中

S 14. 10. 10

慶大、明大に快勝

商大は東大と引分

球蹴學大

關東大リーグ慶大、明大、東大、商大の二試合は八日午後一時から東大球場で盛大無風申分ないコンディションの下に行はれた。

慶大は今シーズン第二の試合で玉座を期する明大を振り切つてその脅威の脅威力を遺憾なく示し、強く東大、商大の一戦は商大の反撃強く大接戦を演じた末に遂に引分となつた。

慶大 8-17-11 明大

(菊池、松岡、植木三監督、慶大先勝)

○8対2の大差で終つた試合であるから勝者慶大には多く謝れる必要があるまい、明大は前半の15分間と後半第二点を挽回した真以ては両ウイングから、或はセンターから蹴る攻撃で可成り慶大ゴールを脅してゐた、相當なフットワークを有する明大FWが今一歩パスを早く適時に出す工夫を凝らせば、決定的得点を増すことが出来よう。

難して置いて過時に儀式的なタックルを爲し得る體勢を取らねばならない。

○慶大FWはこの日則半鋭い足を完全に生かして會心のプレイを見せ、全然一方的試合に終るかに見えたが、後半、試合に倦んで一対一の意外な接戦になつたのは觀察には興味があつたが、慶大FWのために取らぬところである。

慶大バックはLD加藤君の快脚があつたが、縦横のパスを交へ相違得点する弊がある、尙改善の余地を存すといふべきである。

試合経過

○前半 △16分小畑のシュートで慶大一点先取△17分二宮、19分渡邊と更に連得得点して3対0と開き、早くも大勢決す△24分慶大五原のハンドで明大片桐PKを決め、3対1となる△29分寄原のパスを二宮取り中央を割つてゴール成る△更に37分、40分、42分二宮得点して7対1と大差を作る。

大ゴールを脅したが其まゝ止む

| | |
|-------------|------------|
| 慶大 | 明大 |
| DF 中田生山片桐鈴木 | DF 15 23 1 |
| GK FB HB FW | OK K K K |
| 田川崎島中原藤原宮畑 | OK F G P |
| 津石大高田等藤澤二小渡 | 4 7 7 0 |

東大 1-0-10 商大

(松丸、長岡、植木三監督、東大先勝)

○前半 △15分東大有馬の左コーナークイックが東大左下隅を破つて同点に置きつける迄は兩軍とも従らに力を用ひるのみで作戦的には何等見るべきものなく平凡な戦況であつた、特に東大FWが如何に南大バックの力圖があつたにせよこれを抜き得なかつた無爲無業は接戦の間に試合を興味なきものとした。

試合経過

○前半 15分東大有馬の左コーナークイックが東大左下隅を破つて同点に置きつける迄は兩軍とも従らに力を用ひるのみで作戦的には何等見るべきものなく平凡な戦況であつた、特に東大FWが如何に南大バックの力圖があつたにせよこれを抜き得なかつた無爲無業は接戦の間に試合を興味なきものとした。

○後半 5分二宮ヘッドインで決め8対1△29分明大OL中島セントダリク慶大ゴール前でG津田と明大FWの競合となり、鈴木ヘッドインで決めて8対2と挽回しその後も慶大優勢に後半の対スゴフ後は兩軍

とも球の動きも大きく東大FW大塚、田木等の好技も見られて見舞へがあつた、商大はバックに比較してFW線が目立つて蹴くOL清水を除いては未だ球が足につかずその上、込みが不足で今一息といふところで折角の好機を逸してゐた、キック面にパスワークの基礎的訓練を積み決定力の培養が緊要である、兩軍とも興へずもがな得点を許し引分に終つたが東大には今一段の頭腦的プレイ研究が要望され商大はFW線の強化を計らねばこれ以上の戦ひは期待出来ないことを指摘したい、とまれ商大の快勝、東大の接戦ともいふべき一戦であつた【天藤明】

○二部 慶大 4-2-2-1 3 商大

勝敗はFW線に

リーグ東大対明大戦豫想

関東大連戦リーグ第一回は東大と明大が二試合を繰り、早大、東大、明大、慶大がそれぞれ一試合で六大会は一わたり今シーズンの形勢を占めることになった。慶大からすれば慶大二戦二勝でトップを切り早大がこれに迫っている。この両チームに對して巴戦戦を描くた

らうと見られた東大はその第一戦において明大のため半層に制せられ暗弱をたどるはしてゐるが十四日二陣に控へたのは明大である。明大は慶大のため突き放されはしたもののよく二ゴールを絡めて攻撃方のト算を示すところがあり、己の方をわきまへたその守備線も一般の想像以上の力を

蔵してゐる、試合の駆け引は東大のそれに比して劣るところあるかも知れないがその地方は侮り難いものがある。

明大FW線は明大の如くヒタヒタと寄せる機敏的の秘密には缺けてゐるが個人技に自信を寄せた一氣呵成の攻撃の意味がある、これに對し東大は大山、原田の好技と

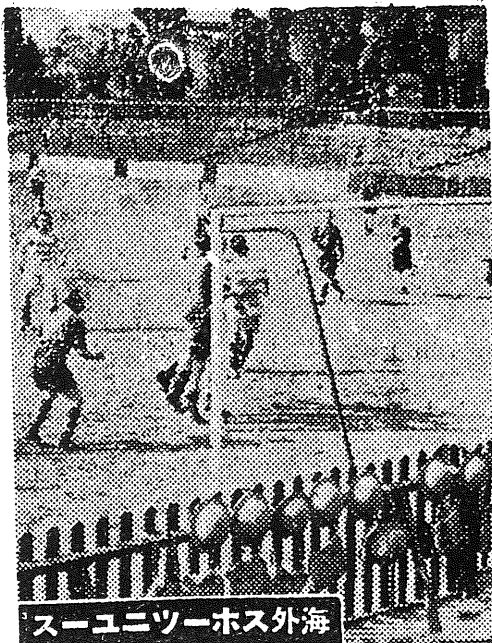
コンビで應へるであらうが、際につけ入るだけの明大FW線の練熟を見くびるわけには行かない。假令この守備に於て成功を期し得られてもFW線の得点力の劣悪は東大が勝ち試合に持ち込むのに危険視されるものがある。

FW線の出来、不出來の如何にかかると明大に比し東大に多少の優勢は認められても危険の赤信號があげられる試合である。

これを明大側からすれば東大の對明大戦を見た目で興も易しと侮り慎重さを缺けば自ら臺八を担ふの愚を曝す結果となる事は瞭々たるものである。

孰れにしても第三位を決定づける戦ともなり興味ある試合とならう

鐵兜、防毒面を傍に英蹴球戦



海外ホスユニツス

ロンドンツ子が大イッ機空襲に脅え切つてゐた九月十六日、ロンドンでは職業チームのクキンス・パーク・レンジャーと陸軍チームの蹴球戦が行はれた。當局も萬一を慮つて觀衆の入場を厳禁したのでスタンドはから空であつたが外柵には陸軍チームの鐵兜と防毒面がツラリと並んで戦時風景を現出した。【写真は同蹴球試合】

宣戦布告前日にも

近頃のニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙がロンドン電として報ずるところに依れば、九月二日英佛が對獨宣戦布告をなした前日、二日の土曜日に蹴球好きの英人達は全歐を離れ、歸郷してロ

ンドンで行はれたイングランド蹴球リーグの諸試合戦に我も我もと繰出し觀客の總數は四十萬に達したといはれる、當日は動員その他に依る交通機關の不圓滑のため遠隔地のチームはロンドンへ到着するの困難を感したが、試合は

何れも滞りなく行はれた。八月末頃にはイングランド蹴球リーグに屬する八十八のクラブが全部無事に活動出来るかどうか危ぶむ聲が聞かれたが、イングランド蹴球協會は九月一日夕聲明を發表して、國際危機から生じた英國內の現在の事態に對する、本協會は確定された宣戦

合を取止める必要を認めずと述べた。一方海峽を隔てたフランス蹴球協會は同日の試合を全部中止したのは之と面白い對照を爲してゐる。

神宮蹴球地 神宮大會蹴球競技一般の部に出場の十地方代表は各地方協會の手で發選を行つてゐたが、此程決定左の通り發表された

(北海道) 全北海道(東北) 東北學院(關東) 慶應B・R・B(北陸) 四高(東海) 名古屋(關西) 關學大俱(中國) 廣高(九州) 九州醫專(朝鮮) 咸興蹴球團(台灣) 全台灣

S14.10.14

十四日の運動

◇蹴球 高等リーグ 府高3-1 商船 青學3-2 成城

S14.10.15

神宮蹴球東京中等代表は府五中

神宮大會蹴球東京中等代表挑戦試合五中對九中戦は十五日午前十時から青師球場で舉行、接戦の末延長戦を行ひ1-0で府五中が辛勝し代表となつた

府五中 1 1000 0000 0 府九中

十五日の運動

◇蹴球 (關東大學リーグ)

| | | | | | |
|-----------|---|----|---|---|-----|
| ① 拓大 | 2 | 11 | 0 | 0 | 工大 |
| ② 日醫大 | 3 | 0 | 1 | 1 | 國大 |
| (關東高等リーグ) | | | | | |
| ① 一高 | 4 | 3 | 1 | 0 | 成蹊 |
| ② 日齒 | 2 | 0 | 2 | 0 | 東島醫 |

S14.10.16

慶大勝つ

對慶大蹴球

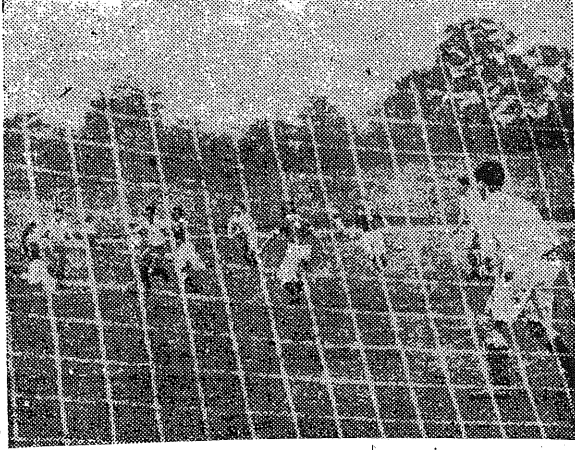
慶大蹴球部、大慶蹴球部と對戦し、大慶蹴球部に對して慶大蹴球部が、よくワンゴールを落し得るか否かにあつたが、前者は慶コンデイションのため二つて得意のストロップ・エンド・ダウンスが利かす慶大パックスの演しに遭つて得意の如くならず、後者は慶大FWの無技、特にアウトサイドの拙技に依り折角のシュートチャンスを生かして得ず、遂に無得點に終り試合の興味はなかつた、前半は20分ゴール前蹴球からOR、後半は左に引つかけこれをOL井上、突込んで一點を先取し更に28分LI小畑ヘッドインで決めたのみで殆ど慶大側で戦はれたにも拘らず二點に終つたのは、泥濘とはいへ慶大FWの拙技といふべく後半や、面目をとり戻して4分小畑、14分、24分、37分と二宮のゴール成つて僅かにその片鱗を示したに過ぎなかつた、慶大はFWに比しパックスの方がキックも大きく正確で本格的な巧味があり、随行的チームの感が深かつた(天啓明)

慶大 6-2-0 慶大

【慶大】
部正 田内 登坂 松田
副部正 吉武 宮本 小佐
GK FB HB FW
田川 崎島 中原 輪 藤 三 畑 上
10 13 2 1

S 14-10-19

【慶大】
この試合の興味は中心は慶大FW



慶大對慶大蹴球戦 前半慶大蹴球の一點を奪つ

神宮大會案内記

(3)

蹴球

蹴球は三十日から十一月二日まで四日間、に亘り一級、中等學校、師範學校の三種別に行はれるが、先づ注目すべきは中等學校並に師範學校選手四百三十名を芝増上寺に、又一般選手百七十名を増上寺附近の寺院に大會中合宿せしめ、今大會を機に我が球界の精銳に對して精神的技術的訓練を行ひ、蹴球日本、の強化を計り時局下の大會をして益々意義深からしめようといふのである、二十八日午後四時の入所式には、會長深尾隆太郎の訓示があり、嚴肅に行はれる。

毎日の行事は朝五時半に起床、六時から國旗掲揚、君が代齊唱、宮城、神宮遙拜、皇軍勇士並に戦役將士への感謝の歌、福、教育勸諭捧讀、海行かば、を合唱し、會長の訓話、蹴球體操、日本體操が行はれる事になつてゐる、朝食後は弁当持参で役員引率の上球場に

集り競技を行はれない者に對しては技術指導員が競技を見ながら指導を行つて専ら技の向上を計り、夜は又會長や名士の講話を聞いたり静坐を行つたり約一週間に亘つて合宿といふよりはむしろ現代式「行」とでもいふべき心身鍛錬が行はれるのである。

◇一般の部 競技は既報の如くチームにより争覇が行はれる、第一日(三十日)は東大球場で午前九時から一回戦を、同十一時四十分から二回戦を行ふ、第二日(三十一日)は同じく東大球場で午後一時から準決勝二試合を舉行、決勝は第三日(一日)の午後三時から神宮蹴球場で行ふことになつてゐる。

優勝候補には關東代表の慶應B R B、朝鮮代表成興蹴球團が第一に掲げられ、右の内何れかに凱歌が擧るものと見て間違ひあるまい、慶應B R Bは慶大現役軍にO Bを加へたものだが、恐らく現

役のみで出場することとならう、巧緻、多角的攻防を誇る慶應B R Bに對して個人技に優秀を示す成興の挑戦は作戦的に見ても興味を呼ばう、ついで關西代表の關學大俱、インターハイの勝者中國代表廣高等の活躍等も期待される。

◇中等學校 是全国を十五地方に分ち豫選の結果不参加の台端及び未定の東北、九州を除き十三地方代表が決定した、Aクラスは夏の大會の覇者廣島一中を筆頭に聖峰中、神戸一中、培材中、中湘南中の五校で廣島一中、培材中が最も有望視される、ついで明星商、愛知商、高松商、東京府五中等が之に迫り富山高、常務科、浦和中、非崎中、北海中等が玉碎的熱戦を展開しよう、第一日(三十日)は午前十時廿分から新丸子の第一生命球場で一回戦、第二日(卅一日)は同じく二回戦を行ひ、第三日(一日)は東大球場で午前九時から準決勝、第四日(二

十九日の運動

◇蹴球(東北學院球場)

青山學院 1-1 東北學院

S 14.10.20

二十一日の運動

◇蹴球

東京蹴球團 5-4 豊島サッカークラブ

S 14.10.22

△關東高學リーグ

①一高 2-1 府高
②東高 2-0 成蹊

日)朝早い午前七時四十五分から神宮蹴球場で決勝戦を舉行する

◇師範學校 十二地方代表が決定、優勝候補は全國大會で準決勝に於て廣島一中に惜敗した札幌師範と青山師範、埼玉師範と見られ京都師範、廣島師範等が虎視眈眈として覇を狙つてゐる、今年には概して中等學校に較べると聊かレベルが低いやうである

第一日(三十日)は午前十一時から一回戦を、第二日(三十一日)は午前十時二十分から何れも王子製紙球場で舉行準決勝は第三日(一日)十一時四十分より東大球場、決勝は第四日(二日)中等學校試合終了後神宮蹴球場で行ふことになつてゐる

S 14-11-20

早大、明大に敗退

關東學生蹴球リーグ

關東大學蹴球リーグ早大對明大戦は廿二日午後二時半から東大球場で高山忠(主) 宮澤、渡邊(線) 三君審判早大先鋒で開始、期待に反し無氣力の兩軍は徹頭徹尾凡戦を演じた末に明大勝星を拾ひ上げ早大は慶大、東大を向ふに於ける争闘に先づ希望を失ふに至つた

明大 2-0 1 早大

◇ピツグリの一角から傳説を馳せる東大が蹴落したのに相次いで今日の試合では優勝候補明大に次くと見られてゐた早大が意外にも明大に敗れてしまつた。しかも明大が今までより進歩を示したわけでもないのである

兩軍共熱のない拙戦また凡戦を續け、誇張的に言へば、二十二人の蹴つた球の七割はパスにならなかつたといふやうな低調ぶりであつた

◇明大の二點、早大の一點何れも見事な組織的攻撃によつて獲得したものでない蹴バックが余りに不手際で自然に入つたものばかりである、戰術的技術的に何等取上げて論ずる價値のない場面の連続であつた

◇勝者明大にあつては、足の負傷が回復した中島をO.D.に與したことが幸ひして、彼がそつなく攻撃、防禦の中軸になつてゐたのが

廿二日の運動

- ◇蹴球 (高専リーグ)
 - ③商大専 7-0 高専
 - ①マツダ 4-0 1 千代田
 - ②日 鋼 6-0 日本鐵兵
 - ③日 銀葉 権淺 野
 - ④日 立 5-2 勸 銀
 - (關西學生リーグ)
 - 關學 6-3 3 0 0 關大

S 14 . 10 . 23

二十八日の運動

- ◇蹴球 (關東高専リーグ)
 - ③商大専 4-2 3 3 高千穂
 - △關西學生秋季リーグ
 - ①神高商 5-2 3 1 0 1 神商大

S 14 . 10 . 29

目立つた、またO.R.山田君は固志ある試合振りをを見せてゐた

◇その他の二十人、特に敗北した早大イレブンには根本的な心構へから出直す必要があらう、その上ルーズな審判であつたことも遺憾を増した『堀江忠勇』

| | | | |
|--------|------|----|----|
| 邊野中秀 | 田内岡勳 | 17 | 14 |
| 渡田 島南 | 山竹中米 | GK | GK |
| GK | HB | FW | FW |
| 坂川田宅岡島 | 橋邊林 | 7 | 8 |
| 不石莊三末川 | 高渡中 | | |
| ①第一節 | 早大 | 2 | 4 |
| 立大 | 0 | 1 | 1 |
| 文大 | 7 | 3 | 0 |
| 法大 | 3 | 0 | 0 |
| ②第二節 | 早大 | 3 | 0 |
| 立大 | 0 | 1 | 1 |
| 文大 | 3 | 0 | 0 |
| 法大 | 3 | 0 | 0 |
| ③第三節 | 早大 | 3 | 0 |
| 立大 | 0 | 1 | 1 |
| 文大 | 3 | 0 | 0 |
| 法大 | 3 | 0 | 0 |

東大、農大に快勝

學生蹴球リーグ戦

關東學生蹴球リーグ東大對農大戦は二十九日午後二時半から東大球場で榎木、青木、小林三君審判で舉行、東大は農大陣を蹴倒し8-0で大勝した

東大 8-0 4 1 0 0 農大

◇農大軍のお粗末極まる攻防に東大軍のんびりと變化之しく何等見るべきところのない試合であつた

農大バックスは東大FWに球が出ると目づりしりと後退し見る見る内にゴール前に押し詰められ果敢なタックル等は殆ど見られなかつた、更に農大FWに至つては折角バックよりの送球があつても東大バックスの濃しに來る前に不備なパスに自らチャンスを逸するといつた有様

で九十分間を通じて僅に二シュートにとどまつたのは如何に拙劣であつたかを物語つてゐる

◇東大FWは農大バックスの消極的戦法に助けられ久しぶりのびのびと戦ひを進め、濃厚な動きを見せよく球を拾つて大膽な射撃を作つてゐたのが注目された

O.R.農田の進撃するらしいものがありにこれに依り東大前衛陣に期待がかけられるといつてよからう

廿九日の運動

- ◇蹴球 (關東高専リーグ)
 - ①浦高 3-0 3 1 0 1 成 隊
 - ②東 齒 6-1 3 高 獸
 - ③明 藥 2-1 1 高千穂
 - ④東 藥 9-0 昭和 醫

S 14 . 10 . 30

| | | | | | | | |
|----|----|---|---|---|---|---|-----|
| 立大 | 12 | 5 | 7 | 1 | 0 | 1 | 慈大 |
| 立大 | Y | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 法大 |
| 工大 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 國大 |
| 拓大 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 日醫大 |



才面明治神宮体育大会

日二第

府立五中敗退す

蹴球

蹴球競技第一日は三十日一設二回戦迄を午前九時から東大球場で、中等學校一回戦は同十時二十分から新丸子第一生命球場で、師範學校一回戦は同十一時四十分から新丸子王子製紙球場で舉行

關學俱 8 5 3 0 0 全台灣
 (菊池、岩助、大谷三君審判關學俱先發)

關學俱

井家田邊信元久野重島園村
 中大岩田中庫和岡中田梅

GK FB HB FW
 邊村東泉 平内 藤

全台灣

渡加不冠小林與宮佐伊
 高第 2 20 1
 威與 4 4 1 1
 球圖 8 4 0 1

(竹内、奥田、横山三君審判、威與先發)

廣高

完 野園石野山川野部
 本 平福橋大關桐西長阿

GK FB HB FW
 趙安玉村 裕 芳 吳車 金

13 0 5 22
 2 3 3 2
 3 3 3 2

慶應 B 8 4 4 0 0 東大北
 R B 4 4 0 0 0
 (高山英、大山、長谷部三君審判慶大先發)

慶大 B R B

家川崎原中島崎藤宮畑丸
 大石大笠田高藤播一小松
 GK FB HB FW
 部川 甲内岡田川部田賣
 色與關愛山福本小岡島志
 (東北帝大)

東北帝大

師範學校第一回戰

札 幌 4 13 0 0 出 栗
 廣島師 3 2 1 0 1 千葉師
 中 華 學 校 第 一 回 戰
 培材中 1 0 1 0 0 五 府 中 立

培材中

(承) 崔 炳 良 林 相 元 姜 張
 李 李 李 李 李 李 李 李
 GK FB HB FW
 橋本中川島崎井崎原松林
 高石田小長江松山田小小
 (府立五中)

2 5 5 1 4
 10 10 10 4 4

明星商 5 14 0 0 0 菲崎中
 1 1 0 0 0

菲崎中

俣村村山平藤水木藤込田
 勝中上秋川内清鈴香中門
 GK FB HB FW
 助本太宅野田藤沢村井崎
 和田 和松和三瀬上伊服野藤實

明星商

湘南中 6 3 3 0 0 高 校 商
 3 3 0 0 0

高 校 商

藤水丸 藤井原村田原林
 佐清一 村橋相三横取大
 GK FB HB FW
 本川島藤村利口勝保登藤
 奥市長小田保藤小安大野
 (湘南中)

湘南中

聖輝中 4 0 1 2 1 2 3 愛知商
 0 1 2 1 2 1 2 3

聖輝中

(向) 堀 俊 石 藤 藤 藤 藤
 李 李 李 李 李 李 李 李
 GK FB HB FW
 越本木上口野田實島島會
 川萩白井植杉山千藤園校
 (愛知商)

愛知商



明治神宮大会

蹴球

蹴球競技は昨日午前十時廿分から中等、師範の第二回戦を王子製紙(第一生命球場)で、一般は午後一時から東大球場で増設回戦を挙行

◇中等第一回戦
 明星 2 20 01 1 培材中
 湘南中 5 23 11 2 聖陽中

◇師範第二回戦
 聖陽 2 11 01 1 青山
 札幌 3 12 01 1 慶賀

◇一般準決勝
 成興 5 41 00 0 西野
 慶應 8 26 10 1 第四高

明治神宮大会

成興に凱歌揚る

慶大つひに無得点

蹴球競技は昨日午前九時から東大と神宮球場で挙行

◇師範準決勝

埼玉 1 01 00 0 京都
 慶應 2 11 00 0 札幌

◇一般決勝

成興 3 21 00 0 慶大
 慶大先鋒 (高山、中垣内、清水三君審判)

大田川(慶大)中島(慶大)百田(近)

【慶大】石加(高橋)二(小右)

GK FB HB FW CK FK GK

成安(李)裕(慶大)吳(車)金(慶大) 8 4 14

◇...巧緻な攻撃力を誇る慶應FWと優秀な個人技に迫力を備へ持つ成興FWが如何に相手方バックスを破り得るかに最も興味がかげられたが慶應は成興バックスの速いアタックとスピーディなカムバックにこれを破き得ず遂に無得点に終つたに反し成興はよく死闘する慶應バックスを突破三點を奪つて凱歌を挙げた

◇...慶應の敗因はその頼みとするFWが常に同一策戦に終始し變化を求めなかつたところに存し成興バックスの如き足の速い而も確實なキックを持つチームに對し常に

縦のパスに依る急展開を行つたので成興バックスの完全な潰しに遭つて好機を備へることが出来なかつた。慶應FWが一度横にゆきより敵バックスをひきつけて置いてから縦のパスを利用すべきではなかつたか
 ◇...結局、緩急自在の戦法を採らず縦への展開のみを行ひ、東都大選手チームに對するとは同視得ないことを感らなかつたところに慶應の悪算があつた(天藤明)

三日の運動

◇蹴球 (関西学生リーグ)
 ①京大 6 2 00 0 關大
 ②和商 3 4 00 0 大商大
 △(實業リーグ)
 ③研 4 1 0 北辰電機

S 14・11・4

四日の運動

◇蹴球
 東高 3 21 00 0 二高
 (關東高リーグ)
 ④外語 9 54 00 0 高上藝

S 14・11・5

五日の運動

◇蹴球 (關東實業リーグ)
 ①第一生命 6 24 00 0 東京朝日
 ②日銀 1 1 0 0 三共
 ③新橋上 3 1 0 0 鶴見製鐵 (關東高リーグ)
 ④一高 4 4 0 0 1 關船
 ⑤東齒 5 1 1 東高農

S 14・11・6

蹴球大會迫る

新興チームも参加して

蹴球界の搖籃としてまた東京蹴球界の爲育成し來つた東京蹴球選手會本社後援の第十八回關東小學蹴球大會はいよいよ来る十二日午前十時から世田谷區青山師範學校球場に於いて開催されるが、今年度の参加申込みは新興チーム大泉師範附屬小學校、埼玉縣野玉小學校チームをはじめとして多數参加が豫想される

前、参加申込みは今七日を以て締切るが、第一部は第六學年チーム、第二部は第五學年チーム、または第五學年以下の學童による混合チームで、兩部ともトーナメント式に優勝チームを決定するもので、参加申込みは東京市大森區大森三丁目五九東京蹴球會で受付ける
 因に組合を決定する監督者會議は九日午後四時から本社會議室に於いて開かれる筈である

S 14・11・7

S 14-11-1

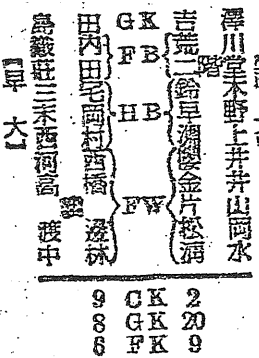
S 14-11-2

早大未だ闘志不足

關東大學 商大の凡戦に樂勝

關東大學 生協球リーグ 早大對商大戦は五日午後二時から神宮競技場で行なわれ、松村、阿部三君を擁護の下に舉行、5-0で早大勝つ

早大 5-0 **商大**
前半 36分早大B I高橋中央線からL I渡邊へのロングパスはノーマークとなり右下隅を破る
40分左コーナーからゴール前混戦のこぼれ球をR H三毛シニ
トし正面を射る
後半 6分O L中林からのパスをL I渡邊右下隅に決め▲30分
ゴール前混戦から右コーナーが
ト際に出た球をO R河西突込んで
入れ▲36分左から廻つた球を
R I高橋からO R河西に渡り河
西フツシユして更に一點を加
へた



關東大學 生協球リーグ 早大對商大戦は五日午後二時から神宮競技場で行なわれ、松村、阿部三君を擁護の下に舉行、5-0で早大勝つ

一應混戦を脱却するかと期待を持たせた、しかし試合が始まつて見たら早大は未だ更生の闘志不足、商大は些か固くなり過ぎて両軍共動きは鈍く、前半三十五分兩軍互に殆ど決定的な得点を取らず、垣垣たる物足らぬプレイが展開された

しかし早大は闘志不足とはいふものの、對商大戦とはメン・ハイも多少奮起し、バックは従来の缺點を改めて厚味のある守備を見せ、F Wはセンター3が多少よく動いて穴を作る機運を見せ、果して三十六分R I高橋のパス、L I渡邊が射つて右へ前出、O Lの得点球を放ち、これで四ヶ角ゴール前の混戦に一點を加へて前半を終つた

後半、商大F Wは相變らず早大の守備を突破する術を知らず、無爲に時折の攻撃の芽を潰されてゐる内、勝に乘じた早大は漸くF Wが活動量を増し、センター3の積極的なポジショナル・プレイで通過の利かぬ敵バックの守備陣形を攪亂し更に三點を増して勝利した。しかし早大のプレイは對商大戦と比べれば勿論良くなつたが、まだ



早大對商大戦 (後半商大ゴールに迫る早大渡邊)

は一にかかつて闘志と粘りにあることを露すべきである。商大は敗れるべくして敗れたが残念なことに余りにも凡戦であつた。試合場に立つてから敵の出陣に應じて臨機應變の處置を

埼玉か東京か? 興味の關東小學蹴球

東京蹴球會主催本社後援の第十八回關東小學蹴球大會は來る十二月十日山手山手球場で開催されるが第一部(六年生)では歴史的歴史を誇る浦和第一をはじめ浦和、埼玉、駒込玉の學界のビッグ3、この一角を確保せんとして起つた城北の海陽第一、瀬江高と城南の馬込高等、いづれも新興チームに打倒の意気高い。傳統的の強味が歴史を守るか、新興チームの野望が成るか、また東京勢が連覇を誇る選手勢から關健選手の宿望を遂げるか興味は深い。

一方第二部(五、六年生)にあつてはこれまで不落を誇る浦和第一と続つて大泉師範附小、海陽第一、千壽第一、千壽第六の新興チームが躍起し學界史に新しい頁を綴り込まうとして意氣込んでゐる。

重圍に陥つた浦和第一がよく木動の地位を守り得るか、新銳の猛襲を効するか、第一部に劣らぬ興味を盛り上げてゐる。九日午後四時から本社會議室に於て参加十一チームの監督者會議を

取り得るやうにといふ注文は負擔過重かも知らぬが、とにかくこれを機會に研究を積んで欲しい(堀江忠勇) 上 智 3-0 日 醫 大

關東俱樂部の蹴球戦組分け

- 部蹴球リーグは來る十九日を第一日として明春二月下旬に至る長期間に亘つて各組毎にリーグ戦を行ひその優勝チームにより改めて決勝リーグ戦を行ふが組分けは抽籤結果左の如し
- 【A】Y O A O、埼玉蹴球部、豊島サワカ、國學院友會、東京俱樂部【B】三友俱樂部、オールブラックス、成城俱樂部【C】F B B、フランシス、網町俱樂部、東京蹴球部、Y K T

S14-11-10

S14-11-11

早大FWに強味

蹴球・早東戦の豫想

◇早大が明大に取れ東大が商大と明分けていさゝかビッグ・スリとして鼎の輕重を問はれはするもの、プレーヤー個々の力とチーム團結の強味からすれば兩軍とも緊陣一番の戦ひに依り相見懸へのある好試合が期待出来る。早大は通敵の對商大戦にはFWに織内、OBに河西を入れて補強工作を行ったが、前者は成功し後者は失敗してゐた。對明大戦に較べるとイレヴンの動きも格段の差を示して大勝したがコンドネーションの圓滑さに密つては未だ上乗とはいへず特にFWアウトサイドが弱く人無き

の勝を築いた。従つて東大ベツクスが、早大インナー3を完全にマークし鋭い潰しに出れば早大の善戦は免れ難い。而し若し東大ベツクスが融通の利かぬぎこちない防禦に終始するならば早大、高橋、渡邊と揃つたインナー3の豪放なボジショナブルプレイに擾亂される惧れが多分にある。

◇一方東大FWが對商大戦の如き單調な攻撃一點張りで進むと末岡を中心とする厚味のある防禦陣を抜き面目を改めた早大ベツクスを抜くことは困難と見られ、これに對して東大FWが如何なる作戦に出るかはその興味深いものがある。要するに對商大戦のみについて見れば商大ベツクスを破つて五點を挙げた早大FWの方が僅かに一點に止んだ東大FWよりは強味があると見るのが至當であらうが果して早大FWが商大ベツクスに對したと同様その威力を發揮出来るか否かは疑問で、FWに多くを期待出来る東大として早大FWを徹底的に潰して味方の得點を守り通さねばならぬまい、何れにしても兩軍闘志の如何によつて凡戦ともなり好試合ともなり得る可能性がある。(実驗明)

けふ舉行

關東小學校蹴球

第十八回關東小學校蹴球大會は、今日十二日午前九時から世田谷區下馬青野球場で舉行するが組合せは次の通り

- ◇第一部 ▽第一回戦(A)浦和第二對馬込尋高(9時40分)(B)油面對兒玉(10時30分) △準決勝梅島第一對瀧江(1時30分) A勝者對B勝者(0時40分)
 - ◇第二部 ▽第一回戦(A)千壽第一對浦和第二(9時) ▽準決勝千壽第六對A勝者(11時20分) 梅島第一對大泉附小(0時)
- 尙第二部決勝は二時二十分開始、第二部は三時から行ふことになつてゐる

きのふの二早東戦

早の雪辱成る

蹴球とラグビー

早大と東大のラグビーと蹴球の二試合はスタヂニールが共々十二日に組まれて朝から晴れた冬の下の、午後一時から神宮球場で引継ぎ行はれた。早大からすれば両試合共前シーズンに引継ぎであったが蹴球は4-11、ラグビーは37-10でいづれも鮮やかに復讐した。

早大 4-22-11 東大
 ◇... 蹴球の戦北を契機として立向った早大は東大の勢頭久し振りに踏まぬのプレイ振りを

見せ九十分間のスタートを切った。Wは練習中負傷したB、I高橋をOに代し、WをE、米谷をCに代した陣組が却つて成功し、従来サインを使つてのオ、Pの攻撃が無かつた早大に左側からの変化ある攻撃を可能ならしめた。その結果早大も二分高橋のセンターリングを米谷へツディングに定め、続いて渡邊フアンに定めて早大は試合を完全にリードした。

【蹴球】

| | |
|------|------|
| 早大 | 東大 |
| GK B | GK K |
| FB E | FB R |
| HB W | HB W |
| FW W | FW G |
| 4 4 | 16 |

【ラグビー】

| | |
|------|------|
| 早大 | 東大 |
| GK B | GK K |
| FB E | FB R |
| HB W | HB W |
| FW W | FW G |
| 4 7 | 24 |

後半十分早大ユール前の接戦
 鈍りそれが前半から危機を見せてみた。I、E、W、H、西は陣から陣を動かさず、試合は動きを止めて、試合は動きを止めて、試合は動きを止めて...



だが後半十八分、十九分引續いて早大の得点があり、これに奮起した東大が早大左側の守備の脆弱を衝いて奥田がタツチライン沿ひに持込みセンターリングするのを笠間シュートで一盪返すに及んで局面は俄然活劇となり、両軍死力を盡しての熱戦を展開、両軍共烈しい攻撃、鋭いパスを見せてビッグ3同士のゲームに相闘して決闘振りを示し、タイアップとなった。

【二部】

| | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 神高商 | 9 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 外開 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【一部】

| | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 關西蹴球リ | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 關學大 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

明大勝つ

對豊大蹴球戦

早大蹴球リーグ明大蹴球戦は十二日午後二時三十分より日吉台球場で豊大、審判部、久保田大、二君明大先陣し、二對策で明大勝つ

【明大】

| | | | |
|----|----|----|----|
| GK | FB | HB | FW |
| CK | FK | CK | FK |
| 10 | 3 | 14 | |

【豊大】

| | | | |
|----|----|----|----|
| GK | FB | HB | FW |
| CK | FK | CK | FK |
| 3 | 8 | 26 | |

大勝つ

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 明大 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 豊大 | 5 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 文理大 | 6 | 5 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 蹴大 | 5 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |

S 14. 11. 13

群を抜く浦和第二

一一一部に優勝

援後社本

関東小學校蹴球大會

東京蹴球主簿本社後援第十八回
 関東小學校蹴球大會は十二日午前
 九時から初冬の好日和に恵まれて
 青山蹴球場で舉行

◇古い歴史を誇る浦和第二は個
 個の技術に一領地を抜き試合の
 進行も極めて巧妙で再び第一、
 二部共に優勝したがこの他のチ
 ームも實力に相違こそあれ堂々
 たる試合振りに學藝蹴球場上の
 跡を窺ふ事が出来た
 ◇遠来の見玉は洗練された技術

を持ち乍ら地の利に恵まれた試
 合進行の缺點を如何ともする
 事が出来なかつたのは惜しまれ
 た、往時油面時代を築いて畢竟
 球界を風靡した油面が近來にな
 い低調を示したのは新チームが
 編成される機運に至つたのと思
 ひ合せれば感慨なしとしない、
 梅島第一は奮運に恵まれて決勝
 戦まで進んだが浦和にしろ、馬
 込尋高にしろ角と互角の實力
 であるが基礎技術は略々完成を
 見ているから今後チームを體型
 づける事に力を盡せば先進浦和
 第二、見玉の儘を履するのも速
 い將來の問題ではない、
 ◇第二部にあつては浦和第二が
 四新與チームを完全に駆倒した
 がこゝにも試合進行の妙があつ
 た、チームとしての洗練の程度
 の相違が今日の結果にあらはれ

第浦 二和 7 5 2 0 0 0 0 第一島

浦和 第二

〔浦和第一〕

本本田本村貫田本倉木林
 杉野宮林木桶町堀名鈴木
 GK FB HB FW
 原邊島木泉藤村田田澤内
 桑渡木青小近島平飯杉寺
 〔梅島第一〕

0 2 19 0
 CK FK GK PK
 10 4 1 1

◇第一回戦

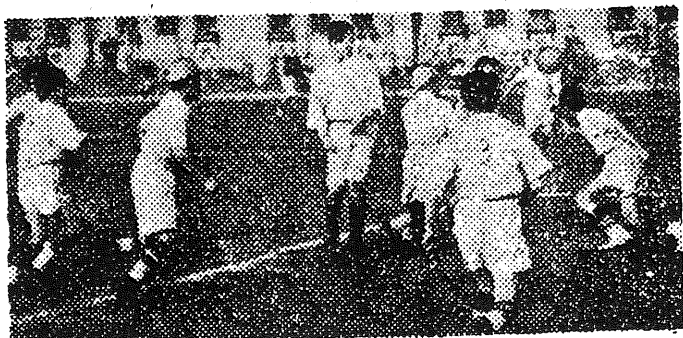
浦和 6 3 3 0 0 0 第一島

浦和 第一

浦和 2 2 0 0 0 0 大泉附小

浦和 6 2 4 0 0 0 千壽第六

たものである。大泉附小は四年
 生を主力としてこれに五年生が四
 名配されてゐるが技術の優秀さ
 も體力の多勢によつて十分示し
 得なかつた
 ◇要するに新興チームが先進浦
 和のため疎略されたとはいへ今
 日の指導熱意と對抗意識の旺盛
 さからすれば次回には堂々の對戦
 が可能であらう



小學校蹴球大會 浦和對梅島
 前十一分梅島ゴールに迫る
 浦和

◇第一回戦

浦和 二和 4 2 2 0 0 0 馬高込

浦和 二和 3 1 2 0 0 0 油面

兒玉 3 1 2 0 0 0 油面

浦和 二和 2 0 2 1 0 0 兒玉

浦和 一島 1 0 1 0 0 0 淵江

浦和 二和 5 4 1 0 0 0 第一島

〔梅島〕

徳加島田木内田太井次野
 伊荒木増高武野丸酒藤水
 GK FB HB FW
 江藤本澤口代澤村澤田負
 徳加島大堀矢島水幸隆鹿
 〔浦和〕

8 2 1
 CK FK GK
 0 8 28

◇蹴球 (関東高専リーグ)

① 東 京 船 高 成 校
 ② 東 京 船 高 成 校
 ③ 東 京 船 高 成 校
 ④ 東 京 船 高 成 校
 ⑤ 東 京 船 高 成 校
 ⑥ 東 京 船 高 成 校
 ⑦ 東 京 船 高 成 校
 ⑧ 東 京 船 高 成 校
 ⑨ 東 京 船 高 成 校
 ⑩ 東 京 船 高 成 校

△ (関東商業リーグ)

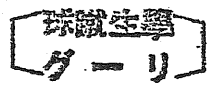
① 横 濱 商 専 4 0 東
 ② 横 濱 商 専 5 2 東
 ③ 横 濱 商 専 6 1 東
 ④ 横 濱 商 専 4 3 東
 ⑤ 横 濱 商 専 5 1 東
 ⑥ 横 濱 商 専 6 0 東
 ⑦ 横 濱 商 専 4 2 東
 ⑧ 横 濱 商 専 5 1 東
 ⑨ 横 濱 商 専 6 0 東
 ⑩ 横 濱 商 専 4 2 東

① 日 本 鐵 兵 立 1 0 日
 ② 日 本 鐵 兵 立 2 1 日
 ③ 日 本 鐵 兵 立 1 0 日
 ④ 日 本 鐵 兵 立 2 1 日
 ⑤ 日 本 鐵 兵 立 1 0 日
 ⑥ 日 本 鐵 兵 立 2 1 日
 ⑦ 日 本 鐵 兵 立 1 0 日
 ⑧ 日 本 鐵 兵 立 2 1 日
 ⑨ 日 本 鐵 兵 立 1 0 日
 ⑩ 日 本 鐵 兵 立 2 1 日

S 14 - 11 - 13

東大、決定力を缺く

よく粘り慶大に敗る



東大が今シーズン最後の華を咲かせる機会として、また慶大にとつては一週間後に控へた天下目目の

早慶戦の前哨戦として、延滞され

た此一戦は果して東大の躍進の

も数にはな

しかしこの間慶大守備陣は機敏

なればマークが可成り乱れる

こと、またタックルが余り生一

本過ぎることといふ、今まで内

藏してめた戦術を暴露した、亦

Wは敵バックのタックルをス

スし、ダウンニングは強襲に打

撃つてあるうちに素晴らしい攻撃

力を見せるが、粘りのあるタッ

クルで身動きをせられると、これ

を切抜けて強襲に攻める余力の

ない弱點を示した



慶大最初の一点 前半十二分慶大のセンターのFKがゴールを叩いたが小畑がゴールキーパーとしてゴールを止めた。右から小畑、岩谷、長谷部、C.K. 守備陣。

慶大 5-3 1-0 東大

早慶戦の前哨戦として、延滞され

た此一戦は果して東大の躍進の

に依り見懸へのある試合となつた

両軍元氣一杯にキック、オフ、

激戦を繰り出して偵察戦が繰り

出すと十二分、慶大のセンター

のFKがG.K.に一点を先取、

小畑のブツシュに一点を先取、

繰り返して十五分高島の長崎は必す

しも受け止められぬものではな

かつたが、岩動防ぎ切れず、東

大は不幸にも初の對軍大戦同様に

傷を負つた重傷を蒙つて一時元氣を失

つたが下見えた

しかし三十分慶大が更に一点

を得た直後、有馬のヘッディング

に重傷な一点を返した頃から東大

は再び躍進するブレイブを見せ

バックは粘りのあるタックルで慶

大をWをよく演じ、長谷部が前線

へメスを送つた

またWも非力を露呈で補つて

断片的ではあるが好進路と鋭い

突込を見せて五分五分の試合を

展開した

後半東大いよいよ反撃に躍び

或は今一點位の優勢にするかと思

はれたが、六分慶大は左からのメ

スをRが決めるといふ得意の

攻撃正面攻撃に依る一點を増し

た、しかし東大の意氣は衰へず慶

大ゴールは幾たび見舞はれた

が、東大陣線の決定力不足に幸

試合経過

前半 12分慶大のセンター
をG.K.がゴールキーパーしたが小畑
突込んで一点先取△15分慶大高
島ゴール部中央からのロング
シュートはG.K.の正面を衝いた
が岩動ミスキップして入る△30
分慶大得意のWをWマスで左右に
ゆすぶり二回のシュート決まる
△35分東大ゴール10米でハッ
ン下した球を有馬ヘッディング
すれば通過きたG.K.をオー
バーして一点を返す

後半 6分慶大小畑のセンター
リングを獲りシュートして右下
隅を破る△27分慶大ゴールラ
イン5米からのスローインの球
がゴール前に轉するを三ツツ
シュートに入れる

十八日の運動

- ① 東 高 4 0 4 0 0 府 立
- ② 青 學 3 0 3 0 1 廣 専
- ③ 成 城 業 種 高 上 藤
- ④ 商 大 専 4 0 0 高 農

S 14 . 11 . 19

關東大學蹴球成績表

| 対戦相手 | 勝 | 敗 | 引 | 得点 | 失点 |
|------|----|---|---|----|----|
| 慶大 | 4 | 0 | 0 | 10 | 4 |
| 早大 | 3 | 0 | 1 | 12 | 2 |
| 明大 | 4 | 2 | 0 | 10 | 2 |
| 南大 | 5 | 2 | 1 | 22 | 5 |
| 東大 | 4 | 3 | 0 | 11 | 6 |
| 合計 | 20 | 5 | 1 | 56 | 19 |

| 選手 | ゴール | アシスト |
|------|-----|------|
| 田川 謙 | 7 | 8 |
| 石川 立 | 8 | 15 |
| G.K. | 6 | 14 |
| F.W. | 18 | 18 |

東大の闘志如何

慶東サッカー豫想

從來シーズン後半に入つて眺ね上つた東大も今季は攻撃力の隘路を缺き商大と引分け早大のため叩き伏せられて往時の面影を全く留めずこの十八日慶大と今季最後の一戦を交へる事になつた、昭和六年シーズンを最後として開東大リーグの王座から離れて既に八季、昨シーズン惜しくも奪還の好機を逸して開谷激戦の後ながら今

季に對するとあるあつて立ち上つたのであるが慶東大戦を見た目には掉尾の此一戦も捨て身の玉砕を期する戦を懸すのみで隙隙は無い。既本を主軸としこれに大谷、菊地等を配する東大の綜合力が大山、原田等のパスを無視した畏懼と論相せぬ限りはその攻撃力は對東大戦以上に増幅し強化されるとは考へ得ない、之に反し守備力は互岩動の不安も海らいで來てゐるから互嶺山の果斷と力石、長谷部の沈着に期待し得るならば大山、原田の強靱と相俟つて慶大が勝る機あり。小畑、二宮等のFW線の猛攻に對し殘すは極めて小さい、然し落ち目の善内策を弄して慶大の攻撃テンポに乗り上げたならば過早大戦以上の闘争を繰返するに難くはない。

慶大、慶大に對し快勝を期してはゐるが明大には二ゴール、慶大には一ゴール奪はれて守備力に懸念のあるを示してゐる、之は慶大守備線の老さと剛力なる現慶大に依り得る事の幸かつたところから觀された御慮不足にある、だが、この東大FW線の陣線を除く處までる動きの弱する事も考へられぬものではない。

勝を獲らねばゴールを取られても奪ひかへす望みのないものはなく引分けの一戦に割きつけるといふ事も強ち無理ではなく早い溜しと強引の試合進行となれば勝ち味薄いといふ豫想を懸へさぬとも限らない。

上座校同士の内鬨的な一戦となるもならぬもそれは東大の闘志一つにかゝつてのよう

農大奮起せば 好試合展開

但し勝味は商大

農大對商大
足球戰豫想

東大に引分け、農大は玉砕した
が明大に快勝して一部優勢を確保
した新選商大と、農大、明大
の好試合展開の可能性があるが、
個人技も持たず、スワークにも
円滑さを欠く農大が、比較
的3B制をよくこなして厚味の
ある守備陣を布いてゐる商大、
ツクスに對して苦戦を免れぬこ
とは必然的で、これを如何にして
破るかに農大、一勝の鍵が秘めら
れて居る。

東大に見られるように、農大と
しては、せめてこの一戦だけは、
我々も勝ちたいところであり、
そして、農大、農大、より早く、
いで、東大と共に第三位に選出、
一部優勢の味を誇りたいところ
であらう、かうした所期の目的に
達して、両軍が必死の闘志を凝ら
るならば、力と力の好試合が展開
されるであらうが、もし願位、
個人技も持たず、スワークにも
円滑さを欠く農大が、比較
的3B制をよくこなして厚味の
ある守備陣を布いてゐる商大、
ツクスに對して苦戦を免れぬこ
とは必然的で、これを如何にして
破るかに農大、一勝の鍵が秘めら
れて居る。

文大優勝一部へ

大學蹴球二部最終日

關東大學蹴球リーグ第二部の最終
日、日大對中大、文大對千葉大の
二試合は二十三日午後零時三十分
から青師球場で舉行、商大と文大
が夫々快勝した、前この日の試合
で文大は第二部に優勝して明年は
一部に返り咲く事となり、中大は
三部に降格することとなつた

◇二部

中大 4 0 0 0
文大 2 1 0 0
審判官(主) 山本、大河内

關東大學蹴球二部最終日

青師、豊師勝つ

關東中等蹴球東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第七回
關東中等學校府縣對抗蹴球選手權
大會東京豫選第二日は廿三日午前
九時半から青師球場で第一回戦二
試合を舉行、青山、豊島両師範が
快勝した

青山師範 10 - 0 東高等
豊島師範 11 - 0 市二中

關東俱樂部蹴球 關東
俱樂部蹴球リーグ、アストラ對三
菱俱の試合は二十三日午後零時三
十分から府高グラウンドで舉行、
アストラが5 - 0 で快勝した、
尚第二試合は國際學友會が棄權し
て豊島サッカーの不戦勝となる

アストラ 5 - 0 三菱俱
豊島サ 棄權 國際學友會

關東俱樂部蹴球 關東俱樂部蹴球

關東俱樂部蹴球リーグ、アストラ對三

菱俱の試合は二十三日午後零時三

十分から府高グラウンドで舉行、

アストラが5 - 0 で快勝した、

尚第二試合は國際學友會が棄權し

て豊島サッカーの不戦勝となる

アストラ 5 - 0 三菱俱

豊島サ 棄權 國際學友會

關東俱樂部蹴球 關東俱樂部蹴球

關東俱樂部蹴球リーグ、アストラ對三

菱俱の試合は二十三日午後零時三

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|----|---|---|---|---|
| × | × | × | × | × | × |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 點 | 10 | 8 | 6 | 4 | 2 |

第二部今季成績

| | | | | |
|-------------|---|---|---|---|
| 島根正浦村永林野敏原 | 9 | 5 | 7 | 1 |
| 大伊佐原松中松小藤原樹 | 0 | 6 | 2 | 3 |
| 野島原田田石村藤林倉 | 0 | 6 | 2 | 3 |
| 河中福山石大藤杉加松千 | 0 | 6 | 2 | 3 |

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 又大 4 | 4 | 0 | 1 | 1 |
| 中大 4 | 0 | 1 | 1 | 1 |

| | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|
| 關東大學蹴球二部最終日 | 7 | 2 | 6 | 0 |
| 關東俱樂部蹴球 關東俱樂部蹴球 | 1 | 6 | 2 | 7 |

覇權を賭けた一戦

構想の早か、巧殺の慶か

早稲球の想像

大正15年11月25日 早稲球の想像
大正15年11月25日 早稲球の想像
大正15年11月25日 早稲球の想像

いかに早稲球の想像... 大正15年11月25日... 早稲球の想像... 大正15年11月25日... 早稲球の想像...

| | | | | | | |
|-------|----|---|---|---|---|---|
| 大正15年 | 早大 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 14年 | 早大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 13年 | 早大 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 12年 | 早大 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 11年 | 早大 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10年 | 早大 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 9年 | 早大 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 8年 | 早大 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 7年 | 早大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 6年 | 早大 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5年 | 早大 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4年 | 早大 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3年 | 早大 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2年 | 早大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 1年 | 早大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 0年 | 早大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像...

大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像...

大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像...

大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像...

大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像... 大正15年11月25日 早稲球の想像...

商大、農大と引分

蹴球 大學

關東大學蹴球リーグ商大農大戦
は二十五日午後二時半から東武東上線
球場で赤羽小山(商)、片田内堀
三君の下に暫行農大戦して1-1
の引分けに終わった

商大1-0 1-0 農大
商大のゴール前にいるにも抑
らさずシュートを決めようとした
ところが失敗があり、むしろ鋭
い突込みを狙つてきたらもう
三、四回はものにしてゐたであ
らう。農大は悪クシンデインソン
の下に各個の強いキック力をよ
く生かして商大の攻撃を防ぎ、
ひたすら守り固めを演じてゐた(実
況)

た、前半商大は41分前井のパス
を受けた金井がドリブルの後シ
ュートを決めて一先先取したが
後半1分農大のロングシュエ
ートで追いつきそのまゝ前井とも
アヤナスに屈せぬながら遂に決
めず引分けに終わった

| | | | |
|----------------|-------|-------|----|
| 大川原 木原 上井 山田 水 | 8 | 6 | 12 |
| GR FB HB FW | OK GR | OK GR | |
| 大正 山田 坂内 | 6 | 3 | 10 |
| GR FB HB FW | OK GR | OK GR | |
| 大2-1-1 上智大 | | | |

關西は關學優勝

【大阪毎日】關西學生蹴球リーグ
第一部第三試合關西六、關學對京
大の二試合は二十六日正午から甲
子園蹴球場で行われ、關西六が二
試合連続で勝利した。二試合連続
勝利は、關西六の選手が、
選手としての

| | | | |
|-----------------|-------|-------|----|
| 高野 4-1-1-0 1 關大 | 6 | 4 | 21 |
| 高野 4-1-1-0 1 關大 | 6 | 4 | 21 |
| GR FB HB FW | OK GR | OK GR | |

| | | | |
|---------------|-------|-------|----|
| 井原 4-2-0-1 京大 | 4 | 11 | 15 |
| GR FB HB FW | OK GR | OK GR | |

同大高野 1-0-0 大
關西六高野は二部には優勝、一部
の選手位入と入選試合を行
つた



戦線も蹴球

—兵逸獨なかやごな—

戦線の緊張が、蹴球の
試合にも波及した。戦
線が緊張した。戦線が
緊張した。戦線が緊張
した。戦線が緊張した。
戦線が緊張した。戦線
が緊張した。戦線が緊
張した。戦線が緊張し
た。戦線が緊張した。
戦線が緊張した。戦線
が緊張した。戦線が緊
張した。戦線が緊張し
た。戦線が緊張した。

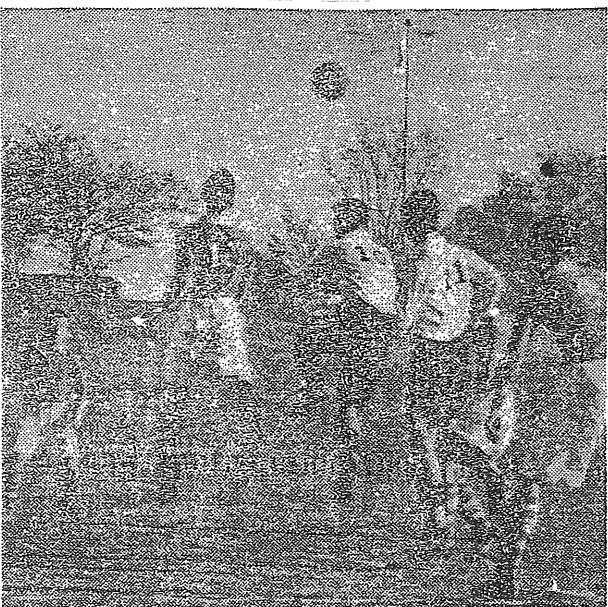
| | | | | |
|----------------|---|---|---|---|
| 關東大學蹴球第一部一位決定戦 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ① 一高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ② 二高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ③ 三高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ④ 四高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑤ 五高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑥ 六高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑦ 七高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑧ 八高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑨ 九高 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| ⑩ 十高 | 1 | 1 | 0 | 1 |

慶大後半に地力發揮

早大を破り二連覇す

關東學生蹴球リーグ

慶大は前半に早大を破り、後半に地力を發揮し、二連覇を達成した。この試合は、両校の主力選手が揃って出場し、非常に熱戦となった。早大は前半に先制ゴールを挙げたが、慶大は後半にその逆襲を遂げ、最終的に2-1で勝利した。この勝利で、慶大はリーグ戦を二連覇し、優勝を果たした。



早大蹴球部が、コナツの大会で優勝。コナツの大会で優勝した早大蹴球部の選手たち。

この試合は、両校の主力選手が揃って出場し、非常に熱戦となった。早大は前半に先制ゴールを挙げたが、慶大は後半にその逆襲を遂げ、最終的に2-1で勝利した。この勝利で、慶大はリーグ戦を二連覇し、優勝を果たした。

この勝利で、慶大はリーグ戦を二連覇し、優勝を果たした。この勝利は、両校の選手たちの努力のたまものと見られる。今後の試合でも、この好成績を維持し、さらなる活躍を期待される。

| 順位 | チーム名 | 試合数 | 勝 | 敗 | 得点 | 失点 |
|----|--------|-----|---|----|----|----|
| 1 | 早稲田大学 | 10 | 6 | 4 | 18 | 12 |
| 2 | 慶応義塾大学 | 10 | 5 | 5 | 15 | 15 |
| 3 | 明治大学 | 10 | 4 | 6 | 12 | 18 |
| 4 | 立教大学 | 10 | 3 | 7 | 10 | 20 |
| 5 | 中央大学 | 10 | 2 | 8 | 8 | 22 |
| 6 | 法政大学 | 10 | 1 | 9 | 5 | 25 |
| 7 | 清泉女子大学 | 10 | 0 | 10 | 2 | 30 |

この試合は、両校の主力選手が揃って出場し、非常に熱戦となった。早大は前半に先制ゴールを挙げたが、慶大は後半にその逆襲を遂げ、最終的に2-1で勝利した。この勝利で、慶大はリーグ戦を二連覇し、優勝を果たした。

| 順位 | チーム名 | 試合数 | 勝 | 敗 | 得点 | 失点 |
|----|--------|-----|---|----|----|----|
| 1 | 早稲田大学 | 10 | 6 | 4 | 18 | 12 |
| 2 | 慶応義塾大学 | 10 | 5 | 5 | 15 | 15 |
| 3 | 明治大学 | 10 | 4 | 6 | 12 | 18 |
| 4 | 立教大学 | 10 | 3 | 7 | 10 | 20 |
| 5 | 中央大学 | 10 | 2 | 8 | 8 | 22 |
| 6 | 法政大学 | 10 | 1 | 9 | 5 | 25 |
| 7 | 清泉女子大学 | 10 | 0 | 10 | 2 | 30 |

| 順位 | チーム名 | 試合数 | 勝 | 敗 | 得点 | 失点 |
|----|--------|-----|---|----|----|----|
| 1 | 早稲田大学 | 10 | 6 | 4 | 18 | 12 |
| 2 | 慶応義塾大学 | 10 | 5 | 5 | 15 | 15 |
| 3 | 明治大学 | 10 | 4 | 6 | 12 | 18 |
| 4 | 立教大学 | 10 | 3 | 7 | 10 | 20 |
| 5 | 中央大学 | 10 | 2 | 8 | 8 | 22 |
| 6 | 法政大学 | 10 | 1 | 9 | 5 | 25 |
| 7 | 清泉女子大学 | 10 | 0 | 10 | 2 | 30 |

青師、豊師 決勝へ

中等蹴球優勝

青師 4-13-00 0 豊師中

豊師 1-10-01 1 豊師

豊師 1-10-00 0 豊師小



立直つた慶大の跡

立直つた慶大 今季隨一のプレー

慶大野球部は、随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

立直つた慶大の跡、今季隨一のプレー。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。

随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。随一の強豪として知られる。今季は、随一のプレーで、随一の成績を挙げた。



「田舎の技術者」の叫び

悲し技術の低調 翻然叩き直せ 農手に自費を叩き

農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。

農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。

農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。

農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。農家は、技術者の叫びを聞き、悲し技術の低調を翻然叩き直せ、農手に自費を叩き、農家の生活を救済せよ、と叫ぶ。

覇権を狙ふ各校

中等蹴球大會迫る

東日本に於ける中等蹴球の覇上
 覇権を目指し年末大戦を闘ふ本誌
 特約記者は、この第七回
 東日本中等蹴球協会の主催の
 中等蹴球大會が、十二月廿三日（土）
 二十四日（日）の両日明治神宮外苑
 運動場で舉行されることとなつた
 東京圏は各地區に亘つて八校
 を擁護し、豊島の火蓋を切り即興の
 優勝青山師範と豊島師範が来る三
 日の決勝に進む事となつてゐる。

しかもこの兩チームの戦は今年
 に入つて四度目といふ稀しい記録
 を止めてゐる。山梨に於ける甲府
 中學と青森中學、埼玉に於ける浦
 和中學と埼玉師範の対立はいづれ
 が代表となつても、湘南に對する
 を休めてゐる湘南中學と共に本大
 會の華として期待し得るところの
 ものである。

◇大會時期 第一日（28日）午前
 10時開會式、第一回戦四試合、
 第二日（29日）午前10時開決
 闘、決勝

◇會場 明治神宮外苑運動場（入
 場無料）

◇試合規定（イ）トーナメント式
 に依る（ロ）昭和十三年十四年
 度大日本蹴球協會蹴球規則に依
 る（ハ）試合時間は六十分とす
 一延長戦は二十分とし勝敗を決
 せざる時は抽籤により次回出場
 校を決定、決勝戦は無観衆と
 す、但し審判に於いて延長適當
 と認めたる時は再試合とするこ
 とあるべし

◇資格 關東蹴球協會加盟チーム
 として關東地方各府縣の種選又
 は推薦したるものに限る

◇種選及大會参加選手資格 中學
 校實業學校及師範學校生徒に限
 る、尚師範學校に於ては大正九
 年四月一日以降出生の者に限り
 二部生の出場を認む

青師か、豊師か

中等蹴球東京豫選決勝迫る

本社後援第七回關東中等府縣對抗
 蹴球選手権東京豫選は豫定通り進
 捗し結局豊島師範と青山師範が勝
 ち残り来る三日決勝戦を行ふ事にな
 ったが球場は東京球場で午後二
 時キックオフと決定した

十月一日以來明治神宮大會豫選
 のため既に三回對戦し二度引分
 けといふ稀有の記録を残した末
 に青山師範が辛勝したといふ全
 く互角の對立でこの一戦は非常
 な興味を以て見られてゐる

中等蹴球東 京豫選決勝

本社後援 東中等府縣 對抗東京豫選決勝は既報の如く三日東高球場で行はれるがキックオフは午前十一時と變更決定した

S 14・12・1

三日の運動

蹴球

埼玉蹴球 4 13 11 2 横濱外人
 △(関東實業團リーグ)
 ①日本鋼管 6—0 東京瓦斯
 ②東京火災 1—1 明 東
 ③日立鐵有 2—1 鶴見製鐵
 ④日立 立 3—0 北辰電機
 △關東クラブ・リーグ
 アストラ 2—0 青嶺會
 東 蹴 10—0 アラン
 【大阪電話】神戸俱 3—1 關學
 (一、二部入替試合)
 關 大 3—0 1—2 同高商
 (二、三部入替試合)
 神島上 5—2 3—0 3 大商大

S 14・12・4



◇早大蹴球部光澤ベルリン・オリンピック選手の立原元夫君は来る五日歸隊するが神出區錦町一ノ一九の買家に落着く事になつた

S 14・12・4

蹴球千葉代 表は千葉商

千葉商會 本社後援 東蹴球會
 主催の第七回關東府縣對抗中等學校蹴球選手権大會千葉縣選決勝は三日千葉商大で千葉商會と東高商中との間に行はれたが千葉商會が0—1で勝ち四日千葉代表として決定發表された

S 14・12・5



◇慶大蹴球部 新卒業生の就職は左の通り
 △藤原幸太郎
 一日本空業△小畑實一△大倉商事
 △渡邊吉郎—マツダランプ
 ◇立教大學蹴球部明年度役員は左の如く決定
 △主席井上詔夫△マネジャー宇都宮龍生△サブマネジャー田中望

S 14・12・6



◇【大阪電話】十日神宮蹴球場で行はれる東西學生蹴球對抗戦に出場の關西代表關學大軍高田監督梅園主將以下一行十五名は七日午後十時大阪驛線列車で東上した、尚宿舍は須田町一ノ九高山旅館(電話神田五一〇)と決定した

S 14・12・8

關西蹴球軍 練習を開始

關西蹴球會 神宮蹴球場
 本年度學生東西蹴球對抗に出場の關西代表關學大梅園主將以下十五名は八日午前九時五分東京驛着列車で元氣よく入京直ちに須田町高山旅館に入つたが午後三時から外苑競技場で早くも軽いトレーニングを行つた

田中元一君【大阪電話】關學大蹴球部のO.F.として活躍した田中元一君は氣管炎のため七日午前八時二十分神戸市宜合區布引町二丁目一ノ一の自宅で死去した、本報は目下關學大蹴球部が東西蹴球對抗試合に上京中なのでその訃報を待つて十二日午後三時から四時まで神戸市幸徳寺に葬儀がある

S 14・12・9

九日の運動

◇蹴球
 商大豫科 3—0 青學高
 早 高 10—0 成城高
 △東海學生リーグ決勝
 名古屋高商 3—1 濱松園工

S 14・12・10

蹴球茨城代 表は水戸商

【水戸電報】本社後援 東中等學校 府縣對抗蹴球選手権大會茨城縣選は十日午前十時から水高球場で舉行成績左の如し

水戸商業 5—0 水海道中
 茨城師 3—1 水戸中
 △決勝戦
 水戸 1—0 0 0 茨城

S 14・12・11

十日の運動

◇蹴球
 協 員 3 111 020 2 記者團
 △關東實業團リーグ
 ①東京瓦斯 6—2 東京計器
 ②石川島 4—1 日清生命
 △【神戸電話】
 神戸商大 1—1 高松高商



△東西蹴球對抗戦 代表關西學 院大チーム
 が二年連続を目指して東上する七日の朝、名O.F.田中元一君の逝去は既報したとほりであるが同チームにとつての悲しみはこれにとまらなかつた
 同チームが着京の八日には新人キーパー中井幸雄君の嚴父が不歸の客となつて晴れの試合の十日郷里葬で葬儀がとり行はれたのだ

▽喪章こそ附けぬが短編のキーパー中井君は服喪の悲しみを押し包んで母校の名譽のため勇戦敢戦したが戦利あらず遂に敗れ去つた、試合終つてうな垂れて引あげる中井君の姿

▽先蹴校友はいふ迄もなくこの間の事情を知る者はその胸中を察して拍手を送つたが、これは哀悼の意をふくませたもので真に美しいものであつた

S 14・12・11

東京選手中央陣の精鋭

好F.Wの慶大に凱歌

第十回東西選手権抗球



東京選手中央陣の精鋭

第十一回東西選手権抗球大会は、東京選手中央陣の精鋭が活躍の場をみせた。この大会は、東西選手権の最高峰であり、多くの注目を集めた。大会の結果、東京選手中央陣は、好成績を挙げ、優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

東京選手中央陣の精鋭は、この大会で、その実力を十分に発揮した。彼らは、試合を通じて、安定したパフォーマンスを示し、最終的に優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

東京選手中央陣の精鋭は、この大会で、その実力を十分に発揮した。彼らは、試合を通じて、安定したパフォーマンスを示し、最終的に優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

この大会は、東京選手中央陣の精鋭が活躍の場をみせた。この大会は、東西選手権の最高峰であり、多くの注目を集めた。大会の結果、東京選手中央陣は、好成績を挙げ、優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

東京選手中央陣の精鋭は、この大会で、その実力を十分に発揮した。彼らは、試合を通じて、安定したパフォーマンスを示し、最終的に優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

東京選手中央陣の精鋭は、この大会で、その実力を十分に発揮した。彼らは、試合を通じて、安定したパフォーマンスを示し、最終的に優勝を収めた。これは、彼らの練習とチームワークの賜である。今後の大会でも、彼らの活躍を期待する。

六度出場の葦崎中

関東中學蹴球代表の横顔

本社関東中學蹴球代表の第七回関東中學蹴球大会は、四月二日（神）より、四月三日、四の二日（神）まで、東京府立第一中學校（東京府立第一中學校）に於て行はれる。十日、代表者を抽籤して八府縣代表を決定し、今日色イレブンは北の代表中、野澤を不慮の間に失くしたせながら最後の仕上げに余力がない。

昨年の関東中學蹴球大会は豫選に於て、優勝のためには勝ち負け第一階級を目標として進歩を續ければ第一回以来進歩出場の強豪府立第一中學校を破つて初登場の新進府立第一中學校と勝負ひ立つてゐる。この外進出場の強豪府立第一中學校、湘南中、等は虎視眈眈たるものあり宇都宮中、鹿沼中、水戸中、も主将の一戦を期してゐる。この間に強豪の行方は混沌として来た。

以下各チームの横顔を覗かう

葦崎中學
甲府盆地の一角に葦崎中學をなす。第二回大会に初出場していきなり優勝を奪ひ去つた葦崎中學は、優勝の力にものを言はせて今年も六度目の出場となつた。今春來、練習場は備まつても岩船部長の愛情に満ちあふれた指導とイレブンの

一にも二にも練習主義が實を結んでやうやく攻守に纏まりを見せ、甲府中の追撃を仰いで膝下に射を維持することが出来たといふのが現状である。従つて本大会に制勝した當時の雄姿は無いが何れのチームに對しても威嚇まで抵抗し得る實力は確してゐる。傳統と練習を武器として最後まで王座を断つてぶつつかつて行けば必ず本大会に好記録を確し得ると期待出来るチームである。

イレブンの内最も傑出してゐるのはF會社とG中、主將の川手で従つて攻守共にこれが主軸をなすのは言ふまでもなく川手からのフィードを會社が一度ゆさぶつて長身で蓄用なOR清水

に廻し右からのセンターリングを會社を中心とするインナー3が主要作戦だ、會社は短身だががつちりした體強できび／＼とした動きを見せFW線唯一のゴールケッターでもちるHB線裏は比較的無難だが最も弱點はF線で中村、秋山共に新人でキツクが弱く不確實なのでGH川手が下つて守らねばならぬところ、このチームの悩みがある。派手ではないが思實な動きを示し確實なフィード力を持つ川手の奮闘如何は非中陣の興隆に大きく響いて来る。

| | |
|----|----|
| GK | FW |
| FB | |
| HB | |
| | 補 |

豆戦艦 浦和中学

関東中學蹴球代表の横顔

浦和中学は昨秋六年迄に百戦百勝の
 師範を破りして本大會初出場の榮
 譽を擲つた、強豪埼玉を破つたといへば如何にも強靭無比の大戦艦のやうに聞えるがさにあらず、むしろ油断のならない豆戦艦といつた感じだ

秋の シーズンを控へて精みとする五年生二人が一人は陸士入學、一人は病氣となり遂に四年生二人、一年生一人他は全部三年生といふ少年チームを編成したのであるが却て好結果をもたらしたのである即ちこれら若き球児等は神官隊

選に茨城工業を3-0で宇都宮中を4-1で破つて中等部代表となるや直ちに蹴球協會で行つた練成合宿に入つたのである、こゝで行つた一週間の訓練—聖戦下に最も必要なのは一億一心の團結心だ、これは蹴球に於て十一人一心となつて戦ふ時に養はれて行くのである、イレブンが心を合せて戦ふといふことは聖戦下の聖徒として、亦フットボーラーとして最も意義のあることだ—といふ精神的訓練は

うといふ氣持を醸成、そこへ上級生二人が扱けたのでこれがかへつて、何のこれぐらゐのこと……と勵志を湧かせ氣分的によく纏まつたチームが出来上つたわけであり、氣に馴へて選進しようとの固い決意と希望に輝いてゐる

「豆戦艦浦和」の戦法は正面から堂々の陣を張るのではなく先づ守りを固めて置いてから機に應じて敵の隙を衝かうといふのだ、従つて守備のチームといつてよく今春來の戦績に於て十試合中の六試合は悉く敵をしてノーゴールに終らしめてゐる

守備 陣の特徴はH B 兩翼を
 して敵FWの兩翼を、更にOHを下げて敵OFを又敵インナーは味方インナーがカムバックして夫々マークして置いてFW線を超してあくまでゴールを死守しようといふのである

従つて攻撃は速襲に依る得勝力が最も大きく、OH半田のキープ力を利用して一氣に敵HB線を突破しOF島地にスルー、パスしてゴールを狙ふ中央突破か或はバックスのキック力にも依つて反撃陣アウトサイドにロングパスを送りこの切れ込みによつてチャヤンスを作らうといふのである、バックスには自信がある、と陣部長もいつて居りOH半田の忠實な動きを始めRH橋口の濱し、LB河崎の出足等相當見るべきものがありOK 徳崎も今夏から始めたとは思はれない程の良さを持つて

- OH (3)
- OF (3)
- DF (3)
- MF (3)
- FW (3)
- OH (3)
- OF (3)
- DF (3)
- MF (3)
- FW (3)
- OH (3)
- OF (3)
- DF (3)
- MF (3)
- FW (3)

◇「大阪電話」大日本蹴球協會主催第二回全盛専門學校蹴球大會は来る廿三日から二日間神戸東遊園地、鶴御影前、南甲子園運動場(準決勝に決勝)の三ヶ所で舉行される

玉碎期する藤岡中

関東中學蹴球代表の横顔

【前橋電話】旬日の後に迫つた第七回関東中等校府縣對抗蹴球大會に虎視眈々たる「藤岡代表」藤岡中學は創始以來二十年、縣下唯一の蹴球チームとして昭和八年

以來、連續六回出場の「球史」を把持し常に「埼玉の強豪」本庄中學、熊谷商業を好敵手として猛練習を續け、去る五月部長、和田一也教諭が幹部候補生として入營後

は佐藤義雄教諭が代つて「和田先生のために……」と一層コーチに熱を加へチームの實力は正に創始以來の「黄金時代」を築き、主將旭亮仁君以下十一名の選手は昨年の大會で湘南中學に敗れた雪辱の意氣物らしいものがある。今春來の戦績は

◇四月、對本庄中學3-0 ◇十月、對深谷商業1-0 ◇對熊谷中學2-1と借取を喫してはゐるが

大會の近づくに連れG K吉野君の頑張り目覺ましく、フォアウィツの進境は昨年と格段の差を示し殊にI L菊地、I R松田兩君の存在は特に光彩を放ち體力の劣るヘーフの躍りをカヴァーしてチームの均衡がとれてゐる。部長佐藤義雄教諭談

今大會へは傳統の玉碎戦法で臨み、假令敗るゝとも悔いなき試合をする心算です。わがチームとして残念なのは縣下に好敵手のゐない事で此のため大會まで僅かの期間、蹴球協會からコーチを派遣して貰ひました。強敵は埼玉縣のチームですが南關東の各代表となら相當戦ひ得る自信があります

- (4) (5) (5) (3) (4) (4) (3)
- (4) (5) (5) (3) (4) (4) (3)
- 野井達田 田井田藤池井原
- 吉新安 吉旭 (武松齋樂吉) 吉
- GK FB HB FW 補缺

紛擾の朝鮮蹴球界

代表選出を辭退

選抜部抗戦一試合は中止

大韓蹴球協会の選抜部は、五月五日に東京で開催された第一回選抜大会の結果、日本代表として、選抜部員十名、監督として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

この選出は、選抜部の代表として、日本代表として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

選抜部は、五月五日に東京で開催された第一回選抜大会の結果、日本代表として、選抜部員十名、監督として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

この選出は、選抜部の代表として、日本代表として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

選抜部は、五月五日に東京で開催された第一回選抜大会の結果、日本代表として、選抜部員十名、監督として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

この選出は、選抜部の代表として、日本代表として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

選抜部は、五月五日に東京で開催された第一回選抜大会の結果、日本代表として、選抜部員十名、監督として、藤田新太郎、副監督として、田中清一、技術顧問として、中野誠、副顧問として、松本善次郎、などからなる代表を選出した。...

黄金時代の湘南中

関東中學蹴球代表の横顔

第三回大會以來今年で連続出場五回目的湘南中學は毎回活躍を記録しながらいつも戦線一歩前で破れぬに一度も榮冠を勝ち得るの機に恵まれなかつたのである。足技にかけては優秀な力量を備へてゐながら射を唱へる事が出来ないのは一つに闘志の不足に起因したのであるが、之に注目した香川部長は島田、岩淵の同校先輩と相談り今春來協力してその養成にこれ努めて來た、これが漸く實を結び始めて今年に懸下大會、地方大會はずべて優勝、選手権、神宮兩全國大會には堂々の戦陣を張り何れも準決勝に駒を進め全國四強の内に入る戦績を残したのである。従つて今年こそは關東に唱勝し得るぞ、と蹴球校、湘南の名にかけても調權を握つて見せるゾとものすごい張り切り方だ

全國選手権大會で一回戦には高松商を6-0で破け、二回戦には強豪青師を4-2で破つて一昨年の本大會に12-0で大敗した雪辱を成し準決勝で聖峯中に2-2の後戦の末不運にも抽籤で負けたが、神宮大會では再び一回戦で高松商を6-0で破り、二回戦では聖峯中を5-2で雪辱、準決勝に惜しくも明星商に3-2で敗れたのである。今年戦ふこと數十合僅に一敗を喫したのみであるから本大會に唱勝を豪語するのも敢て首肯出来るものがある

大會に唱勝を豪語するのも敢て首肯出来るものがある
 G K 聖本はフアイトもあり位置、判斷共によい。F W 線では先づO 安原とI L 大塚が中心で安原の豪放自在のプレー殊に鋭いショットには威力があり、パスワークの巧い大塚は攻守共にバランスがとれてインナーとしての好條件を備へてゐる。O R 樋口は球歴は淺いが左足がよく利き左からのセンタリングをぐいと寄せてのシュートは中々確實なところを見せて、何れの試合にもよく點を拾つてゐる。I R 小野(勝)とO L 小野(勝)は兄弟で未だ三年生だが、よい素質を持つてゐる忠實な動きを示してゐる

H B 線は主將でO H 出村の超晉級の活躍を中心に鋭い出足を持ち攻防共によき小熊を右にタツクルに長ずる保利を左に揃へて殆ど完璧の陣を布いてゐるが、湘中の唯一の悩みはB 線でL B 長島は球歴もあり老練さを持つてゐるがR B 市川と共にキツクが弱く比較的速い出足によつて潰しに専念する一方で前線へのフイド力に足りない

全般的に見るとF W 線は足業に特色を持ちたしかに洗練さがあるが迫力に足りない機がある。従つてロングパス或は縦パスは殆ど使はずショートパスに依つて鮮かな攻撃振りを見せてゐる。この爲に一方的に敵陣で戦ふ試合となつと殺外得點が減少され、むしろ中盤戦から急速度の展開を示す戦況に於て好成績を擧げてゐるのが注目される。湘中が去年よりぐんとよい成績を示してゐるのは勿論闘志の養成にも依るがH B 線の強化に與るところ多く此ラインにはワイーク・ポイントのないのが強味で特に好フオローが目立つてゐる。鬼に角今年の湘中は黄金時代といつてもよく、關東制覇をもつて今年度の同校歴史を飾らんとしてゐる

本川島 熊村 利口 野保 登野 川 澤 老 屋
 奥市馬 小田 保 小安 大 小 早 戸 海 士
 GK FB HB FW 補缺
 武雄 正 恒 隆 正 純 義

籠球に華北大勝

「北京十四日發同盟」臨時政府成立二周年慶祝の華北對華中籠球、蹴球試合は十四日午後三時半から先農壇グラウンドで舉行

| | | | | | |
|-----|-------|------|-----|----|--------|
| △籠球 | 華北 69 | 3633 | 118 | 19 | 華中 |
| △蹴球 | 華中 1 | 10 | 01 | 1 | 體北 京 專 |

8.14.12.15

優勝候補の豊島師

關東中等校蹴球代表の横顔

昭和十一年第四回大會に制覇して以來青山師範のため姿を消してゐた豊島師範は遂に青師の二連覇を阻んで三年振りになり返り咲いた、奇しくも第五回大會に豊師三連覇を打碎いた青師に逆の立場から雪辱したわけである

今年に春の六人制大會には二回延長の末1-0で青師を破つて優勝したが夏の全國大會豫選では準決勝で延長の末2-1で附屬中のため憾を吞み更に神宮豫選を兼ねた秋のリーグ戦では青山師範と1-1、1-1と二度引分けた末遂に三回戦で1-0で敗れここに再び代表権を失つてしまふといふ不運續きであつた

この結果、陣容立直しを企圖した鈴木部長は東大OB菊池君をコーチに迎へると共にそのボザシヨンプチに大改造を斷行して挽回を冀したのである

即ちGKの並木をHB右翼に起用し、その後へ新人須崎を入れ、ゴールを守らしめて先づパツクスを固めて不安ならしめて中等學校としては超格級のOH小黒をして攻撃陣に参加せしめる一方、FW線も五年間OLを

勤める伊藤を除いて全部位置を變へ足の早い三浦をCFからORに、IRには強引の龍澤をRHから持つて来て据ゑCFには優れた足業を持つ松澤をIRから更にILにはORから高橋(若)を持つて來るといふ激變ぶり、これに依り専らコンビネーションの圓滑を狙ひ得點力の増幅を圖つたのである

かくして豊師はベックのチームからフオアワーズのチームへと轉じ之が或程度まで成功をして來たといふのが現状で過去の本大會豫選には幸運の一矢を拾ひあげ宿敵青師を1-0で破り、今年はじめの代表権を獲得したわけである、たしかにFW線左サイドのコシビは同校攻撃陣最大の武器で對青師戦に於ても高橋から伊藤とシヨイトパスで廻して持ち込み伊藤のセンターリングは麗々好機を生み青山陣を脅かしてゐた、豊師はどちらかといへば足業の巧なチームで體力にもをいはず豪放なプレー振りをする所謂「師範タイプ」ではなくむしろ「中等校型」といつた感じのするチームである

中盤戦における戦ひぶりはさすがに巧いが、惜しむらくはゴール前混戦となると今一息といふところで潰されてゐる、青山師との戦では常に兩軍ともあせつてシニイト出來ず入るべきところを無爲にしてゐるが他チームとの對戦となれば氣分的に樂に戦へるのでチャンスを生かして得るとは思ふが今一段とシニイト力、突込み等ゴール陥落術の養成に努めれば依然として優勝候補の第一に擧げられ、榮ある戦績を期待することが出來よう

- GK 須大徳(小)
- FB 須大徳(小)
- HB 須大徳(小)
- FW 須大徳(小)

補缺

技と粘りの千葉師

関東中等校蹴球代表の横顔

『千葉師範』傳統を誇る千葉師範は三日の縣下選抜で明倫中學の猛攻に懸想外の苦戦を重ねつゝも同點に喰ひ止め抽籤勝の幸運を引き當て、代表権を獲得し第二回以來七度選出場の輝く榮譽を擲つた明倫中に倒されたと言ふので母校やファンの中には今年も弱いではないかとの危惧の念を懐く者もあるがさにあらず、スポーツ校長として有名な太田校長が新任以來の激闘と部長松井重男、監督橋本功兩激闘の奮闘、學攻科在學中の先輩百瀬清一氏の熱心な指導は選手一同を奮起させイレブンが更生の勇氣に燃え立ち希望を抱いての猛練習にめきめきと腕を上げて来た

松井激闘や百瀬清一もこの調子で行けば先輩を遙に凌ぎ今回事は曾つてない成績を残し得るぞと、その活躍に多大の期待をかけてゐるのも肯ける

チームのピカ一は何といつてもI R藤井で超中等級の技を持ち確實なシュナイターであるのでゴール前に球を持ち込めば必ずや好シュナイターを見せてくれるであらう。藤井の活躍如何によつて同チームの横

駆力が大きく左右されると見られる、續いてH B級本澤、澤谷の老練さが買はれ、そのキツクとフオロ1に見るべきものがある、全體的に見ると守備よりはむしろ攻撃のチームでバックスからのロビングをF W級が足の速いH B兩翼の好フオロを得て突つ込む戦法は可成りの成功を収めて居りアウトサイドよりは藤井、吉田、石井のインナー3の活躍による中央突破に期待がかけられてゐる、唯キーペ1加藤が新人で試合馴れしてゐない所に一脈の不安がある危機には比較的強いが時々ブレイを行ふのが缺點である

小粒で力より技のチームで、今春來の戦績は五月明倫中を3-1で破り縣下の選手権を握り明治神宮選抜には歴代表として神奈川師範を2-1で降し神宮大會では優勝校廣島師範と第一回戦で顔合せ前半戦を押し後半は敵陣で戦ひながらも前線にバックスの確を衝かれて3-1でその軍門に降つてゐる

今度の選抜では明倫中に2-2の抽籤勝、決勝で東海師範中を6-0で軽く一蹴、七連勝を成就した

- | | | |
|-----|-------|-----|
| GK | 加藤 武 | (1) |
| FB | 小林 和夫 | (2) |
| | 深山 静雄 | (5) |
| HB | 小池 重夫 | (4) |
| | 本澤 英夫 | (5) |
| F/W | 小澤 清一 | (3) |
| | 藤井 隆夫 | (4) |
| 補 | 石井 大清 | (2) |
| | 植草 健二 | (2) |
| 補 | 須藤 重義 | (3) |
| | 浅井 龍義 | (3) |

参加廿七校

全國高校蹴球

東京、京都兩帝大主催第十七回全國高等學校蹴球大會は恒例に依り十五年元旦から本郷東大球場で六日間に亘り舉行されるが参加校は十五日の申込締切を以て左の廿七校と決定した、尚組合せは卅一日午前九時から主將會議の席上抽籤によつて決定しこの日午後二時から入場式を行ふ

- 一高、二高、四高、五高、六高
- 七高、八高、北大嶽、弘前、山形、水戸、浦和、東高、府立、

- 成城、成蹊、武蔵、群馬、松本
- 新潟、廣島、松江、松山、佐賀
- 城大嶽、富山、早高

十六日の運動

○蹴球
神戸商大 3-0 神戸外人



記者團の仇討蹴球協會
役員軍と新聞記者團の蹴球
戦は1-1

の引分け試合の後を受けて去る十日東西対抗蹴球戦の當日行はれたが、2-2再び引分けの運命(?)となつたところ鼻息の荒い記者團、無勝負の蹴三千六百年に持ち越すテはなにとばかり延長戦を主張して遂にこの主張を通つたが試合は決勝の一蹴を拾ひ上げて協會軍の勝となつたものである

▽光輝ある三千六百年を迎へるのにこの態では繼ぎが思いとばかり、改めて一戦を挑むことになり第2回申込みも終り二十四日神戸競技場で關東中等學校蹴球大會が行はれるが準決勝戦が終つて決勝戦が行はれるまでの空いた時間を狙ひ落して仇討の一戦といふわけ、エンボラを存せざるやうなわけには参るまいからまたぞろ波り打ち...

關東俱樂部蹴球戦

關東蹴球俱樂部リーグは十七日東大球場で東京俱對埼玉蹴球、東京蹴球對YKT、網町俱對ブラの三試合を文青蹴球場で成城俱對三愛俱戦を舉行、成績左の如し

東京 2-0-1 埼玉
俱樂部 20-0-1 蹴球團
島田田子浦立藤木川川田

大池吉田松武近鈴小中町
GK FB HB FW
内江菅原池腰部(本) (健正)

【東京】
中野乙立菊竹阿ル川加加
蹴球團 5-4-1-1 YKT

【東武】
倉里本水藤波立窪川口根
GK FB HB FW
井藤野 岡田原川田木田

【YKT】
櫻小中 笹徳吉山池並和
網町俱 7-4-3-0-1 アラン

【アラン】
木田中(晃)(幸) 尾野村木
八太田(山中北山長海西松)

【網町俱】
本宮(山田川(弟) 兄) 田
橋二渡内奥黒加渡 加濱

成城俱 8-5-3-0-0 三愛

【成城】
野村田本 崎岡堀口杉村
濱河山岡 百長大辰高外

【三愛】
村木野原島木田原村澤
西鈴奥佐花青新高松倉

關東實業團 蹴球リーグ

七日第一生命、勸銀兩球場で舉行

○二部 興銀6-0 東京ガス

○三部 東京火災1-1 三共製薬

○五部 勸銀2-2 北辰電機、航空技研3-1 日立本社

○各部順位△一部 ①第一生命三勝一引分②マツダ二勝二引分③東朝、日本光學一勝二敗一引分④千代田生命三敗一引分△二部

①日本鋼管四勝②日本鐵兵三勝一敗③東京ガス、興銀、東京計器一勝三敗△三部 ①東京火災二勝二引分②三共製薬、日銀二勝一敗一引分③明葉一勝一敗二引分④淺野セメント全敗△四部

①新潟鐵工蒲田四勝②日立鐵有

三勝一敗③梶見製鐵二勝二敗④石川島造船一勝三敗⑤日清生命全敗△五部 ①航研三勝一引分

②日立本社三勝一敗③勸銀、北辰電機一勝二敗一引分④日曹製綱三敗一引分

十七日の運動

○蹴球

横浜外 4-3-1-0 1 大

人二軍 3-1-1-0 1 大

神戸電話 三商大リーグ第一

日

神商大 6-0-0-1 1 大商大

ダイクホース宇中

關東中等校蹴球代表の横顔

S14-12-18

【宇都宮電話】黒雲風にもまれ抜いて雲の青芽の如く動く伸びつゝある宇都宮中學が今大會に出場を獲得するまで他校に見やうな難伏何年と云ふ言葉はあて成らない。研鑽するには磨くべき相手もなく極めて短い練習期間と云ふ条件のもとに自ら栃木縣の蹴球界を開拓し指導して來たいほどの路のみが廣く長く残されてゐるのみである。然し昨年の第六回大會に決勝戦で敗れた埼玉龍と第一回

戦に見え自ら優勝候補と任ずる同校の心臓を寒からしめたことは未だ世人の記憶に新しい。

前半戦に0-0後半戦に0-2敗れたりとは云へ將又未熟なりとは云へこれが烈々たる野州魂の火と散り華と散じた結果なのである。

六名の卒業生を送つた本年の新編成チームは新人四名の起用と一層の練習に著るしい進歩と一層の

おぼろげを加へてゐるが、去る九月浦和中學と對戦した練習試合で四對一の苦杯を喫し、これが一つの試験となり新しい面目を興へる契機となつた。

尤も此の試合では力と頼むFWが殆ど體勢弱い病後であつた爲め氣力を盛るかへず事が出来ず終始相手をおしつゝも遂に軍門に降らざるを得なかつたが、五尺九寸と云ふG五角(新人)の體態は守備範圍を一層ひろし多少目測を誤る場合もあるが身體もよく動くやうになり相當

の期待をかけることが出来る。

FB植竹、石井は何れも新人ではあるといへ小學校時代からの選手であるため若さに加ふるに落ちついた球さばきは超級級の觀を驚かしめるものがある。OR増淵の足はやはり小學校時代の躍きを見せる將來のピカ一的存在であり、OL大橋の俊足とともに一番期待がかけられ兩アウトサイドの活躍はFW獲得點力の源泉である。

うちのチームはゴールは少い、コーナーが非常に多い、缺點はきめ手が悪くゴール前の突つ込みが足りないのだ、試合慣れしてゐない若さの爲めと思ふがBの活躍がもつと欲しいものだ。

と橋本部長はこの點の練習に指導の中心を置いてゐる。過半数は前年大會の出場選手であり加ふるに新人の駿足FB、FWの躍みはやはり本年のダイクホース的存在といへよう。

- (5))))))))))))))))
 - (3))))))))))))))))
 - (3))))))))))))))))
 - (4))))))))))))))))
 - (3))))))))))))))))
 - (5))))))))))))))))
 - (5))))))))))))))))
- 角 (植石) (川) (増山) (島) (最大)
- GK (植石)
- FB (川)
- HB (増山)
- FW (島)

玉碎期する水商

關東中等校蹴球代表の横顔

【水戸電】本大會に於て英城師範を1-0水海道中學を5-0で卻け勝つた水戸商業は第二回大會を初陣として今回の第二回目的の出場で同校蹴球部が第十二年目を迎へその歴史に輝かしい躍進の一頁を加へたのである

今年の戦績は夏の全國大會優勝で準決勝に英城工業を1-0で破つたが決勝では3-0で埼玉師範に負けて恨を呑み、又神宮優勝では一回戦に水戸中と0-0で抽籤勝ちの幸運を引き當てたが二回戦で英城工業のため2-0で雪辱されて余り芳しいものではなかつた

時にその責任や重負であるチームの個々を檢討するにこれといふ傑出したプレイヤーは居ないが、又大きなウイークポイントもなく稍攻守共に纏りを見せてゐるといつたチームで従つて攻撃もFW線のパスから比較的足の速くてキックも確實なOL坂場に出してこのセンターリングを突込んで決めようといふべく基礎的戦法である、然し未だチーム全般の動きに鋭さはなく敵バックスの速い潰しに遇つた場合、或は又敵FW線の急速展開に出會はした際に混乱に陥る虞れなしとはいへ、これは持前の闘志と體力に依る執拗な動きによつて補はねばならぬ

要するに水戸師の善闘は水戸商らしくともいへば、インテンシブな戦つてチームの闘争力を發揮すると共に各自のポジションにおいては忠實な動きを示すことによつて期待出来る、然らば有用な球動きや自らの力量に相應しからぬ作戦を弄するべきでないに對して玉碎期して戦へば相當の戦果を収めることが出来ると思はれる

- 山崎 敏 (GK)
- 山崎 敏 (FB)
- 山崎 敏 (HB)
- 山崎 敏 (FW)

瑞西軍に凱歌

對伊軍蹴球戦

去る十一月十二日スイスのチューリッヒで冬のメイン・スポーツとしてイタリアとスイスの蹴球戦が行はれ世界の覇者を以て任ずるイタリア軍は3-1を以てスイス勢の前に降り大番狂はせとして球兒の話題の中心となつてゐる

イタリアは一九三六年ベルリン・オリンピック以來國際競技には土つかずといふ輝かしい記録をとどめ、一方スイスも本年は無敗を記録この一戦こそはいはば天下分け目の一戦であつたが前半は1-1の同点、風雲を孕んだ後半18分スイスはO.L.G.・アエビの馳のやうなドリブル・ダツシユにイタリア軍の防禦陣を衝き切つて一点を加へ、閉戦前二分スイス軍はまたもG.アエビの快技で一点を奪ひ勝利を決定づけてしまつた、斯て世界無敵を誇つたイタリアもスイスのため敗れ、四年の長きを誇る無敗記録にピリオドを打つた

S 14. 12. 19

組合せ決る

掉尾飾る中等蹴球

S14-12-20

本年度蹴球掉尾飾る關東蹴球協會主催本社後援の第七回關東府縣對抗中等學校蹴球選手権大會は、いよいよ二十三日、四の兩日、東京外苑競技場において舉行される。選ばれた關東入球選手百余名の競争等によつて、優勝一年間の總決戦が行われ、果ある覇權目指し、烈風を奮いての奮闘、斯るたる戦ひが展開されるが、これに先立つて大會の萬全を期すべく、小長谷役員長以下各委員は十八日午後七時から本社會議室に最後の委員會を開催

大會準備打合せの外組合せ抽籤を行つた結果左の如く待望の組合せを決定した

向二十一日午後四時から本社會議室に去府會議を開き役員長の注意があつてから交纏を行つた

| | | | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 湘南中 業 | 水戸商 業 | 宇都宮中 學 | 浦和中 學 | 藤岡中 學 | 千葉中 學 | 豊島中 學 | 垂崎中 學 |
| 2時15分 | 2時15分 | 11時15分 | 11時15分 | 11時45分 | 11時45分 | 10時30分 | 10時30分 |

【大阪電話】大
全國專門 日本蹴球協會主
蹴球大會 催の第二回全國
專門學校蹴球選手権大會は廿六日
ら廿四日間、神戶東遊園地（雨天の
場合は蒲田影節及び甲子園兩選
動場）で開催されるが試合組合せ
は千三百後決定のはず

S 14 · 12 · 20

豊師、湘南争覇か

関東中等校蹴球豫想

紀元二千六百年の新しき飛騨を前に今年球界最後を飾る行事、関東蹴球協会主催、本社後援第七回関東府県対抗中等学校蹴球選手権大会は、いよいよ二十三日、四日の両日明治神宮競技場で舉行されるが、既報の如く組合せも決定し榮ある代表校は夫々郷土の興望を擔つて月余にわたる猛練習を終り全く戦備成つて何れも制覇を狙つて虎視眈々たるものがある。

第二回大会に非論中學が覇業を遂げた以外は常に地元東京代表の制覇するところとなつて居り今年も地元代表よくこの榮光を維持するが將又府外代表よく對敵奮闘の宿望を遂げるかこの點に興味の中心がかけられる。

各門地玉師を軍門に降して初出場の新鋭浦和中、これに蹴球を授けとして將に黄金時代を誇る湘南中、この二校の躍進に依り青山師範に代つて三年振りに登場の地元代表豊島師範も今回こそは容易には制覇困難といふ情勢となつて來た。

今年こそ府外代表制覇獲得の絶好の機會である。先づ第一回戦第一試合を承る甲州の非論中學對豊島師範戦は非中バックスが如何にしてコンビネーションを誇る豊師FW線を破るかにかゝる。

足元の達者な豊師FWの中盤における巧みなゆきよりに非中バックスが釣られて動作戦に引き込まれるならば豊師のシュートインクレンジ突入は易々たるもので相當ゴールを得るであらうが川手を中心とする非中バックスが鋭い潰しに出て捨身のタックルを試みるならば未だシュート力に不安を感ずる豊師FW陣をしてその中盤戦における奮戦を無爲に歸せしめることが出來得點の差は僅少となるであらう。

第二試合千葉師と藤岡中は試合経験に富む千葉師に積分があるが、藤岡中が玉碎を期して喰ひ下がる。今年の千葉師は攻撃陣にこれといふ特色なり決め手を持つてゐないので意外苦戦となる可能性がある。好戦となるか否かは藤岡中の闘志如何にかゝつてゐる。

第三試合宇都宮中對浦和中は今夏既に一度戦ひを交へ4-1で浦中の快勝となつてゐるが、その後何れも進況を見せてゐるから兩軍力戦奮闘の好試合が期待出來る。宇中バックスが比較的消極的戦法を採つてゐる浦中FW線を完全にマークして徹頭徹尾潰しに出てそのFW線のスペースを切斷するに成功すれば宇中善闘の記録が残されよう。

第四試合、湘南中と水戸商業は水戸商の體力と闘志に俟つものがあるが、湘中の儼れたフットワークには苦戦を免れない。かくて

準決、勝には豊師、千葉師、浦和中、湘南中の四強が残るもの

と豫想されるが豊師對千葉師は千葉師に全勝の奮戦を望まなければ豊師に有利であり、豊師の決勝進出は比較的易々たるものがあるが豊師が決勝への余裕を獲すが如き戦ひ振りをするならば千葉師と雖も一矢を酬い得るチャンスはある。

浦和中對湘南中は恐らく準決勝までの最も面白いゲームとなるべく湘用の樋口、小野、安保、大笠、小野(暁)と粒の揃つたFW線と、守備陣型に特徴を有し半田を中心し樋口、河崎等の優秀プレイヤーを揃へて飽くまでゴールを死守せんとする浦中バックスとの攻防戦は大會の華ともいふべく激戦が豫想される。

湘中 は従來、消極的なチームには意外その強力な得點力を發揮出來ない恨があるので浦中の守備に重畳を置いた戦法に堪えられずと浦中の逆襲に遭つて飽氣ない得點を拾はれる虞がある。兩軍並に奮闘の戦法は共に達者な足業を生かして戦ふだらうから見逃せない一戦であるが結局積極性がありFWに一日の長ある湘中が決勝に進むことにならう。

かくて決勝は東京對神奈川の戦ひとならうが豊師が中等學校タフの足技のチームでこの點湘南と同型であるので兩軍とも中盤戦において激烈華麗な攻防戦を展開するであらうが、両チームともバックスよりはFWに期待をかけて居り特に高橋、伊藤と左サイドの太く強い連絡に主點を置く豊師、安保、大笠とインナーのコンビに重畳を置く湘中と何れがその持味をよく發揮するか否かによつて勝敗が決定するのではあるまいか。

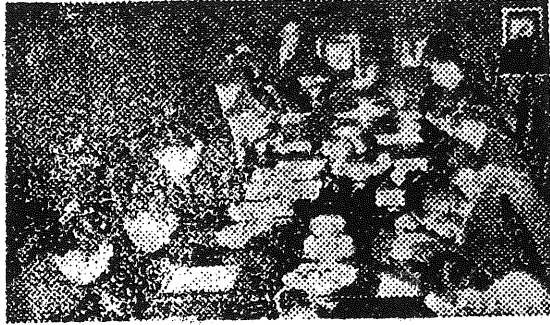
何れにしても本會決勝を飾るに相應しい大試合とならう(天藤明)

けふ火蓋を切る

本社 關東府縣對抗蹴球 後援

本社後援關東蹴球協會主催第七回關東府縣對抗蹴球選手權大會は、今日二十三日から二日間におわたり、關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會の東京府代表と埼玉縣代表は、今日二十三日から二日間におわたり、關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會の東京府代表と埼玉縣代表は、今日二十三日から二日間におわたり、關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會の東京府代表と埼玉縣代表は、今日二十三日から二日間におわたり、

大會を前にして二十二日午後四時



から代表八校の監督者、主席が本

社五階會議室に集まり、戦前の交際

を行ったが席上、小泉合資社長及

び鈴木理事の入場式、野田とフ

レイ等につき注意があり和氣

親交裡に談話した

初日のプログラム

◇開會式次第(集合9時30分)

一、入場 二、國旗掲揚(代表

八校主席)一同君代斉唱

三、明治神宮前に宮城進拜

四、關東府縣對抗蹴球選手權大會

軍將士武運長久祈願 五、開會

の辭 六、大日本蹴球協會長告

辭 七、祝辭 八、優勝旗返還

◇試合(第一回戦)

■浦和中對宇都宮中(1時)

■千葉商對浦和中(11時45分)

■浦和中對宇都宮中(1時)

永戸商對浦和中(2時15分)

文大對早專

蹴球引分け

午後一時半から東大球場で行

われ2-2の引分けとなった

文大 2-2 早專

S 14-12-23

東京代表は豊師

埼玉縣では浦和中初優勝

關東中等蹴球豫選

本社後援、關東蹴球協會主催第七

回關東府縣對抗中等學校蹴球選手

權大會の東京府代表と埼玉縣代表は

三日舉行、東京代表は三年振り

で豊島師範の手に歸し一方埼玉豫

選は浦和中學がはじめて本大會の

代表權を獲得した

◇東京府豫選決勝 午前十一時申

京學校球場で阿部(主)加藤、原

崎(副)二君審判で開始

豊島師 1-0-0 青山師

井藤田田藤田川立山定田

白濱安西加細清橋小國太

GK FB HB FW

崎崎葉木黒田浦澤澤橋藤

須大千並小原三浦松高伊

浦和中 1-0-0 0 埼玉師

◇埼玉豫選決勝 午前十時浦中

球場で藤部君主審で開始

浦和中 1-0-0 0 埼玉師

中 崎原崎口田村川中地 羽

浦 (後援河崎半川石田島 赤

GK FB HB FW

崎(後)藤原出田見田藤島木

浦(前)使河出(後)吉齋勲島森吉逸藤近田鈴

4 2 20 CKFK CKFK

7 1 13

全國專門校 大阪府高野

蹴球組合せ 大日本蹴球

二回全國專門學校蹴球大會は二十

六日から四日間神戸東遊園地、南

甲子園で舉行されるが組合せは廿

三日抽籤の結果次の通り決定した

◇第一回戦(A)同濟社高商對福

島高商(B)早大專對神戸高商

◇第二回戦(A)勝香對(B)勝

香長崎高商對横濱專高松高商對大

阪高商名古屋高商對昭和商

なほ準決勝戦は二十八日決勝戦

は二十九日行はれる

寒風に若人熱闘

豊師、千師、浦中、湘南中勝残る

本社 後援 関東中等蹴球 第一日

關八州を代表する百余名の若人、神宮外苑の寒風吹抜場に集ひて眞紅の大旗を目指して相争ふ。本日は、関東蹴球協會主催の関東中等蹴球選手権大會は二十三日を第一日としてその戦い一つで落した。先づ試合開始に先立つて午前九時三十分から、以後學生大會に相繼いで開演する。本日は、内野協會長の開會の辭、後援者として本社の美土路編輯局長の祝辭、深尾大日本蹴球協會長の祝辭はいづれも若き若きの熱闘をそとものがあり斯くて午前十時三十分正に選手権第一日の一戦となり試合に入つたが何れも師走の寒風を耐へて母校と郷土の榮譽のため激戦の限りを盡して奮闘と力と波の戦ひを展げ、豊師、千師、浦中、湘中の四強が勝ち残り二十四日争奪することになつた。

豊師 21-00 中野
師範 21-00 中野
(審判阿部、大島、小林三君、非田中先頭)

△優勝候補豊師に對して非田中堂々たる戦ひ振りをして近來稀なる



戦接の前ルーゴ中並半後一戦中並對師豊

味のあつた攻め陣形を作り得ず而もゴールブツター官雄が完全にマークされて中央突破に依る唯一の得點経路を断たれて施す術がなかつたところの敗因があり、力の不足がこの上もなく、いられる。

【豊師】
豊師 豊木 田中 浦中 豊師
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
4 8 18 0

【千師】
千師 千師 千師 千師
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
2 3 1 0 0

【浦中】
浦中 浦中 浦中 浦中
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
0 4 3 3 0

【湘南中】
湘南中 湘南中 湘南中 湘南中
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
0 4 2 1 0

好試合を展開遂に非田中玉つきて玉碎の一戦であつた。前半豊師に球を集めその速いドリブルと好セメントリリングに再三好機を生んだがFW右サイドの出足速く又非田中ベツタスの拾

身はバックルに遭つて、膝と左足も打撲され、非田中が好機を生かす中、中央突破を試みたが豊師バックスの出足速くこれに阻まれた。豊師優勢とはいへ、非田中又小気味良い逆襲を繰り返して相繼ぐ武勇振りを見せし試合にスピーディーな活氣のある戦況が續けられた。かくて前半このまま終るかと見られたが七分並木からゴール前のロビングを伊藤左ゴールポスト下に飛び込んでシュート左上隅に決めて、一先取。

後半も同様戦況を續ける内、三分並木の水のロングシュート決つて試合を決定した。豊師がかくまで苦戦したのは勿論非田中の善闘に依ることだが、非田中の善闘に依ることではなく、非田中の前にあつたシュートの力は、はるかに多量ながら伊藤以外は殆んどシュートらしいシュートをなして得なかつたことがその主因をなしてゐる。非田中はFWに迫る力を欠きキープ力がなく従つて厚

僅に數分にして勝敗を決したといへば僅に五點に終つたのは遺憾の一戦といへよう。

【審判山口、飯澤、松永三君、宇都宮中先頭】

△浦中入りで地方のある宇都宮中の迫力はないが足業の達者な浦中の一戦は兩軍ともよくその特徴を發揮して近來の熱戦を展開したが浦中の技に一日の長があり初陣の第一戦をものにした。然し敗れたりといへども宇都宮中の善戦は賞して余りあるものがあり、バックスの好フイードを拵つて越野を中心とするFW線の鋭い寄せには見るべきものがあった。然し惜しむらくは肝腎のところ、兩インナーのフォロイが足らず又ゴール前の動きが鈍く遂に得點に思まれない。前半五分浦中島地のベツタスを森ノコシュートした左上隅を破り、ポイントしたがその後、宇中再三好機に思まれたがこれをもものにし得ず。

△後半に入つてからむしろ宇中優勢に戦を進め、五分越野フイードになりながら持ち過ぎて置かれた等全く惜しまれる戦機であつたこの間、宇中が一點を拵つて、あつた勝敗の懸念は逆附したが、いものがあつた浦中はその持味を遺憾なく發揮してよく勝利を確保したものと、いふべく、控球を巧みに處理しては或はスルーパス

に或はショットパスで攻め込み、何れも速い球捌きによくチャンスを生かして勝因を作つた。宇中はキックもよく足も速くその基本技に於ては隨處の随處、いものがあつた今一段と洗練さを増し、兩インナー及びFB線のフォロイとゴール前の鋭い動きに專念するならば將來を期待出来るチームといへよう。

【湘南中】
湘南中 湘南中 湘南中 湘南中
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
2 0 1 0 0

【水戸商】
水戸商 水戸商 水戸商 水戸商
GK FB HB FW GK FB HB FW
O F K F I P
0 4 2 1 0

湘南中 健闘空し

豊師に大旆輝く

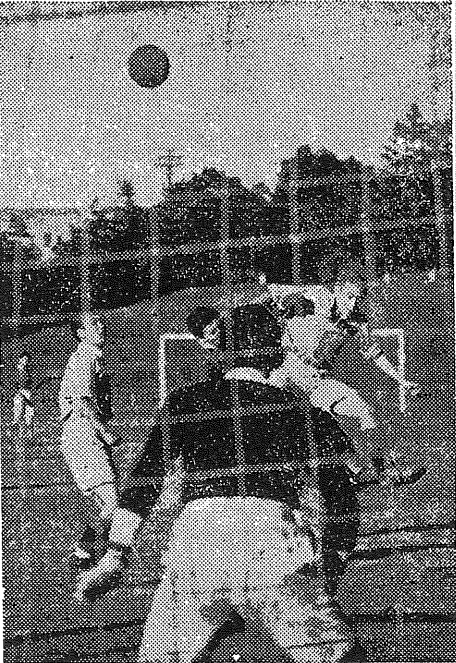
関東中等校蹴球閉幕

本社後援、関東蹴球協会主催、第七回関東府東部対抗中等学校蹴球選手権大会第二日は天気晴れなれど風強き二十四日午前十時から神宮野球場で開行、準決勝第一戦を、豊師對湘南中戦は千葉師後半の追撃戦も遂に成らず、各門守門に凱歌揚り、僅く湘南中が浦和の中戦に強豪湘南の攻撃陣に肉薄して玉砕、こゝに二強退き、東京、神奈川の争闘となつて大旗は久し振りに東京を去るか將又六度地元に残るかにかはられたが両軍とも死力を盡し華やかな攻防戦を展戦したが湘南軍に利あらず豊師は豊師に輝き真紅の優勝旗は四度豊師の獲得するところとなり二日間に亘る意義深き大会の幕を閉じた

◇進決勝

| | | | | |
|-------------------|----|----|----|----|
| 豊島 3 | 12 | 10 | 1 | 千 |
| 師範 | 12 | 10 | 1 | 師範 |
| (審判) 藤島、小林、前川三君、豊 | | | | |
| 師先蔵 | | | | |
| 【豊師】 | GK | FB | HB | FW |
| 【湘南中】 | GK | FB | HB | FW |
| 【浦和】 | 5 | 1 | 17 | |
| 【千加小】 | | | | |

◇攻撃共に均衡のとれた豊島師に凱歌があつたが千葉には惜しい一戦だつた前半一分半にして豊島が編陣のロングシュートで一點を先取優先を制したが千葉師もFW線に速いドリブル、鋭い連撃を示して豊島ゴールを脅かし11分吉田ドリブルで進みゴール前でフリーシュートしたが、右ポストに寄り逸脱同点へのチャンスは失つた、その



師豊分一廿半前戦中南海師師島豊 球蹴等中
く防くよにダンイテへを敵攻の南湘

◇かくて後半に移つたが風上を利した千葉師はそのFW線の鋭い寄せが實を結び一分吉田ゴール前で拾つて左下隅を破り2-1と迫つた、その後両軍ともチャンスをものしし得ず千葉の追撃功を奏するかと思はれたが豊島ベックスの捨身の潰しに實を結はずタイムアップ直前豊島一點を加へ制勝した、千葉の敗因はベックスの腕強に依るものでキックは弱く六十分を通じて好フィードは殆ど見られなかつたその上潰しが生ぬるゝ決定的タックルを欠いてゐた、

後18分豊島右コーナーキックをゴールをカバリーした深山が蹴るとみせかけてこれを中止GKに任せたくめダイレクトで入り2-0と開いた然し千葉は尚も追撃の手をゆるめず22分豊島五キヤードをドリブルで進み吉田に渡せば更に植草に廻し見事な速攻振りをしてフリーシュートになりながらこれを逸したが今大会唯一のプレーで豊島の心臓を塞からしめた

ボックスマの S. 14. 12. 24

けふの組合せ

△進決勝

豊師對千葉師 (10時)

湘中對湘南中 (11時15分)

△決勝 (2時30分)

神宮野球場

【湘南】 1 0 1 0 0 0 中 浦

【湘中】 0 1 0 0 0 0 中 浦

(審判) 清水、關口、關根三君、浦中先蔵

【本川島】 藤村利野保登野

【湘南】 長小田保小安大小

【豊師】 GK FB HB FW

【湘南中】 GK FB HB FW

【浦和】 GK FB HB FW

【千加小】 GK FB HB FW

◇後半に入るや作戦を立て直したが湘南は風下にも拘らずベックスの長球とFW線の強いキープ力に依り常に押しづつて左サイドの大笠、小野(陣)のコンビは見事な球捌きで敵ベックスを切り抜け中央に好球を送つたが惜しむらくはシュート力の不足とOR樋口の足鈍く再三、再四好機を逸してゐた、特に15分右サイドの切れ込みからゴール直前に見事なパスを廻し遂に小野(陣)フリーシュートしたが左に外れて逸した好機等は惜んで余りあるものがあつた

◇然しFW線は體力もなくスピードにも欠け僅かに器用な球捌きに依つて攻撃の機を担ふにすぎないから湘南の如き強力なベ

ックスに出合ふと中盤戦で完全に潰されてシュートの芽はえをみとられてゐた、スピードと體力の養成が急務であらう【天藤明】

△決勝戦

豊島 1 0 1 0 0 0 中 湘

師範 1 0 1 0 0 0 中 湘

【湘南中】

【豊師】

◇要するに湘南の敗因は一対一の競り合ひ、身體のこなし球捌き等々何れも巧味を持つてゐるが、迫力のないことシュートイングレンヂに於ける決定力を缺いたことが第一にあげられる、フットワークの遅りがかへつて仇をなしてゴール前で球を持ち過ぎてシュートの機を遅らせてゐるの癖があつた、巧味はあるが力に缺けてゐる試合ぶりだ

一つは足業に一つは走力に優れ中盤戦に於ける華麗な攻防に比して余りにも得点力を缺いた機を逸す試合であつた【天藤明】



廿四日の運動

協同役員 0-0 記者團

△関東倶楽部リーグ

東京俱 1-1 豊島サッカー

FSB 1-0 YKT

◇第十一回全國富士蹴球大會は明二十六日から三日間東京上七で舉行されるが参加校は廣島、仙台、山梨、横濱、名古屋、滋賀、神戸の七高工である

東京商大勝つ 三商大戦
 球リーグ戦第二日は二十四日午後二時から東大競技場で東京對神戸戦を舉行、風上を得た東京は前半五分七、I松岡ゴール前にあげR・W櫻井突込んで一點を獲得しこれが勝敗を左右して東京の勝利に歸した

東京商大 1 0 1 0 0
 0 0 0 0 0
 0 0 0 0 0
 S 14. 12. 25

三商大リーグ戦

蹴球東京優勝

東京、神戸、大阪三商大蹴球リーグの最終戦東京對大阪は二十五日午後二時から本郷大球場で舉行11對0で東商大が勝利した、これで總成績は東商大が一戦全勝で一位となり以下神戸大阪の順となった
 東京商大 11 4 1 0 0
 7 1 0 0 0
 0 0 0 0 0
 S 14. 12. 26

全國高工蹴球

蹴球大會第一日一回戦は廿六日工大で舉行成績左の通り

一回戦
 仙 台 4 1 2 横 濱
 名古屋 1 1 1 山 梨
 抽 籤 勝 山 梨
 神 戸 2 1 0 濱 松

全國高専蹴球

【大阪電】大日本蹴球協會主催第二回全國専門學校蹴球大會第一日一回戦は二十六日神戸東遊園地で舉行成績左の通り

一回戦
 同 志 社 7 3 4 福 島
 高 商 戸 3 2 1 0 0
 0 0 0 0 0
 高 神 戸 3 2 1 0 0
 0 0 0 0 0
 早 大 等



◇：早大蹴球部
 明年度卒業生の就職先は左の通り決定した
 不破整（日本製鋼）西松文男（大日本麥酒）莊田修平（日本郵船）西村淳（東洋電機）宮川榮一（大連汽船）渡邊義清（川崎汽船）

S 14. 12. 27

全國高工蹴球（第二日）

第十一回全國高工蹴球大會第二日は二十七日午前十一時から大岡山工大球場で準決勝二試合を舉行

準決勝
 仙 台 2 1 1 1 0 1 名古屋
 神 戸 3 2 1 1 0 1 廣 島

全國高専蹴球第二日

【神戸電】大日本蹴球協會主催第二回全國専門學校蹴球大會第二日は二十七日神戸東遊園地で舉行

進々決勝戦
 高 神 戸 4 2 2 0 0 0 同 志 社
 高 廣 門 9 3 6 0 0 0 長 崎
 高 松 商 10 7 3 0 0 0 大 阪
 高 名 古 屋 2 1 1 1 0 1 高 松
 高 神 戸 3 2 1 0 0 0 早 大 等

S 14. 12. 28

神戸優勝

第十一回全國高工蹴球大會最終日は廿八日午後一時から大岡山工大球場で舉行二對一で神戸初優勝す

神 戸 2 1 1 1 0 1 仙 台

専門校蹴球準決勝

【大阪電】大日本蹴球協會主催第二回全國専門學校蹴球大會第三日準決勝戦は二十八日午後一時から甲子園南運動場で舉行

準決勝
 高 松 高 商 4 1 3 0 0 0 名 古 屋
 高 松 高 商 2 0 0 2 0 0 2 神 戸 高 商



◇：大日本蹴球協會創立と共に協理として大正末期の球界に貢献した岸本武夫氏（東大OB）は豫て九ノ内胃腸病院に入院加療中去る廿六日逝去したが告別式は廿九日午後一時から二時迄品川區丸反田六丁目一九一で営まれる

S 14. 12. 29

關東中等蹴球戦の跡

各校技術向上

但しシニエート力貧弱

第七回關東府縣對抗中等學校蹴球選手権大會は二十三、四の兩日とも絶好の天候と、グラウンド・コンディションに恵まれて第一回戦より激戦相つぎその技術向上と未だ精進を見ぬグラウンドとは何れも従來の記録を破つて空前の盛況裡に幕を閉じたのである

關東一の聲譽は四度豊島師範の頭上に輝き東京代表六度制覇となつたが靜かに黙ひの跡を顧みると豊島必ずしも易々たる稱號とはいへぬものがある、垂陰中の闘志激越たる豫想外の奮戦に苦闘しついで千葉師範の鋭い追撃に苦戦更に又湘南中學の必死の反撃に遭つて累卵上を踏む思ひをして漸くこれを切抜け得たのである

一方 湘南中に於ても水戸商工子奮出の防戦に攻めあぐみ、浦和中の逆襲に怯えつゝ辛勝したのである
又浦和中にしても宜々たる宇都宮中正面からの猛襲に奇襲をもつて制勝し得たといふ状態でも、今年ほど實力の接近してゐたことは未だかつて無いといつてよからう
これは一つに關東蹴球協會が全願とし目的として來た、地方チーム

のレベル向上の現れと見てよく慶賀すべき現象である、たゞこゝに一言述べて置きたいことは群馬代表豊岡中學の右七校に比較して余りにもその實力に懸隔のあることである

豊岡中としては今年は或は善闘したといへるかも知れないが、願みれば既に七回連続出場の家である、徒らに八代表の顔を揃へる必要からのみの出場との感を一日も早く消滅することを切に待つてやまない、勿論これは豊岡中のみ買むべきではないが数日のコーチを受けて向上を策する事をやめチームの本質に即した強化策を自ら編んで根本技たるキック力並に強烈なる動きを養成することに努むべきである、經營の點を考慮に入れてのことであらうが、試合を行ふことのみを以て大會出場の責任を完りし得るとし、最も懸念、聖にして重要な開會式出席を放棄するが如き態度は遺憾とするところであることを厳記しなげ

ればならぬ
さて いさゝか横道に外れたが、今大會に於て注目すべきは各チームともシニエート力の貧弱さを聊つてゐたことである、これは中等學校のみならず關東諸大學に於ても最近の著しい傾向であるが各チームともシニエートの三要素の(一)強く(二)正確なキック(三)シニエートのチャンスを得る能力の何れかを欠き七試合中敗者は六試合まで零敗を喫し

勝者といへども千葉師範對豊岡中戦を除いては、豊島師範の千葉師範に對する三點獲得が最高といふ程度でいかにも得點力の薄弱さを示してゐる、浦和中、湘南中F.W線はキック力弱くためにシニエートイングリッシュに入つても前まで迫らんとするのでむざむざ好機を逸してゐる場合が多々あつた、豊島師、千葉師F.W線は、キックが不正確な上にゴ

ル前に於ける浮き球の處理が拙劣で、シニエートのチャンスを得る底力に缺けてゐた、即ちF.W線個人々々のプレーに幅がなく如何なる場合でもシニエートし得るといふ能力に乏しく折角の中盤戦からの鋭い寄せも最後の土壇場で腰が砕けるの感があつた

これに反し中盤戦の攻防は從來に見ざる向上と元氣振りを示し特に湘南中の巧妙なフットワーク身體のこなし、左サイドのコンビネーション等々近來見ざる興味を備へてゐた、豊島師も中盤から兩アウトサイドを使つてのスピーディーな寄せには相當の威力を持ち千葉師の吉田、藤井の緊縮らしいキープ力とダッシュによる個人技を主としての突撃を共に賞してよいと思ふ

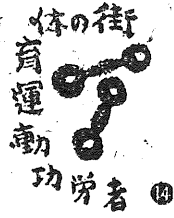
その他豊島師小黒、並木の攻守機を得た動き川手を中心とする非崎中H.B線の活躍、半田、橋口、河崎等を樞軸とする浦和中田村、小黒、長島、市川を擁する湘南ベックスの奮戦、宇都宮中の好キックを生かしての反撃振り、水戸商イレブンの烈々たる動きG.K關山の好判断等々何れも今大會を飾るファイナルプレーであつたといへよう【天籟明】

その他豊島師小黒、並木の攻守機を得た動き川手を中心とする非崎中H.B線の活躍、半田、橋口、河崎等を樞軸とする浦和中田村、小黒、長島、市川を擁する湘南ベックスの奮戦、宇都宮中の好キックを生かしての反撃振り、水戸商イレブンの烈々たる動きG.K關山の好判断等々何れも今大會を飾るファイナルプレーであつたといへよう【天籟明】

その他豊島師小黒、並木の攻守機を得た動き川手を中心とする非崎中H.B線の活躍、半田、橋口、河崎等を樞軸とする浦和中田村、小黒、長島、市川を擁する湘南ベックスの奮戦、宇都宮中の好キックを生かしての反撃振り、水戸商イレブンの烈々たる動きG.K關山の好判断等々何れも今大會を飾るファイナルプレーであつたといへよう【天籟明】

學童蹴球の兒玉

育ての親・淺見さん



卷の玉埼



氏雄好見淺・人恩の球蹴

功勞者は同町體育會會長淺見好雄氏
（右）である。同氏が蹴球に關心を
持ち始めたのは今から十數年前、
同町に同町學校を出て間もない今

「熊谷電話」武蔵野の片隅に、
埼玉縣境に兒玉といふ町があると
いつてもおそらく、埼玉縣の兒玉
町ですか」といふ人は余りなから
うが、學童蹴球の兒玉、といへば
多少なりとスポーツに

「關心」を持つ人々ならば
「蹴球協會が町を擧げての熱心さに
感激し中々ボールを贈つて感謝の
意を表してゐるが全國圖と雖も
他にその例がないだらう、この
「蹴球の兒玉」の産みの郷、
同氏は上田高等學校在學中野球

名は敵となつた白面の一敵員四方
は敵となつた白面の一敵員四方
田先生が來任私費を投じて普及に
努めたがその熱意に感激したのが
淺見氏である

全國專門蹴球
に機專が優勝
會主催第二回全國專門學校蹴球大
會最終日の機專專門對高松高商の
決勝戦は二十九日午後二時半から
甲子園運動場で舉行、3—1
で機專專門が優勝した

| | | |
|-------|------|----------|
| 田井田谷毛 | 手塚本水 | 9 6 14 0 |
| 和藤時松三 | 李 | 9 6 14 0 |
| GK | 川伊森清 | |
| FW | | |
| 田野山元 | 田形南平 | 4 6 12 0 |
| CK | FK | FK |
| CK | FK | FK |

S 14 - 12 - 30

S 14 - 12 - 31

姿である
「學童」の地位がメキク
向上するのを見た町の人達は一層
力を入れ田舎町によくあり勝た
町民同士の暖み合ひなどといふも
のは素つ飛び町は全く明朗化した
百五十圓の體育獎勵金は健康の町
明るい町の糧で町には五、六組の
蹴球チームがある、四方田先生の
時いた種、淺見氏の熱心な指導は
立派な町の體位向上の花を咲かせ
實を結びつゝある
毎年八月を期して行ふ八百屋の
トマトクラブ、床屋のバリーカン
クラブ、飲食店のアルコールク
ラブ、洋服屋のダイヤクラブ、
大工さんのサンガネクラブ、役
場吏員のペンクラブ等々の出場
する職業別野球試合を筆頭に宇
別兒童蹴球試合、宇別兒童野球
試合、宇別町民健走大會、男女
青年を中心とするスキークラ
ブ、男女青年を中心とする陸球

と卓球、籠球の各試合が賑やか
に催されてゐる
運動... 關係のクラブが實
に十餘を算し、定期試合のみで年
卅余回に上つてゐる、同氏の涙ぐ
ましい努力がこゝに導いたが同氏
は他に向つて獎勵するだけでなく
自らもラヂオ體操にも野球試合に
も率先して出場する
長女の久子さん（こはピンギン
慶大に在學中の長男俊郎君（こ）
は元本庄中學時代蹴球選手、本
庄中學在學の三男篤郎君（こ）も
又小學校四年の三男篤郎君（こ）
も全部蹴球の選手といふ範を垂
れるに足るスポーツの家でも
ある
同氏は一週間少くも四、五日學
童の蹴球練習振りを見て感動し聲
援を送つてゐる

第四回朝日招待蹴球大會

一月十四日・甲子園南運動場

わが國蹴球界における主要行
事の一つとして毎年絶大の興
味と關心を持たれて來た本社
主催、第四回朝日招待蹴球大
會は一月十四日阪神池田甲子
園南運動場で舉行することと
なつた、今回の出場校は關東
の早稻田大學、明治大學、お
よび關西の關西學院大學、神
戸高商の東西優秀四チームで

| | | |
|---------|----|-----|
| 組合 | 明大 | 神高商 |
| 早大 | 對 | 關學大 |
| （0時40分） | | |
| （2時40分） | | |

戦においてそれと目覺まし
い躍進振りを見せるとも好續
を収めた新進氣鋭の同士だけ
にこれまた瀟々たる闘志に燃
えて自由奔放の快技を展露す
ることを期待されてゐる